

2019 年度全国通訳案内士試験 第1次筆記試験
＜日本歴史＞直前対策セミナー 追加資料
(2019年6月30日)

ハロー通訳アカデミー
植山源一郎

歴史の四大原則と階級的視点

＜日本歴史＞セミナー(2.0)の資料である「歴史とは何か?」「歴史はなぜ変化するのか?」「日本史の時代区分と各文化の特徴」について、多くの受講生が、「目からウロコが落ちた」と感想を述べておられました。「点と点が線につながる」から、「線が移動して面になり、その面が移動して立体になる」、そのような立体的な歴史観を得られるように、ここでは、もう一步踏み込んで、「歴史とは何か?」を考えてみたいと思います。

●歴史の四大原則

(1) 歴史を動かす主人公は、「国民、人民、一般大衆」であって、「歴史上の有名人物」ではない。

織田信長や徳川家康が権力を持ち、歴史を動かすことができたのも、良いか悪いかは別にして、それを支える多くの人民、一般大衆がいたからです。

(2) 経済的土台(下部構造)が社会形態(上部構造)を規定する。

資本主義の現在の日本で、(憲法を改正したとしても)かつての徳川幕府のような政権を打ち立てることはできません。いわんや、奈良時代や平安時代のような天皇による独裁政治も不可能です。

何故か?

資本主義という経済的土台が、奴隷制、あるいは、封建制社会の土台になりえないからです。

(3) 生産力の発展(増大)が、＜生産関係→生産様式＞に変化をもたらし、古い社会形態との矛盾を原動力として、歴史は変化、発展する。

盤石と思われた徳川幕藩体制も元禄時代(「[峠の群像](#)」堺屋太一)を頂点として、[貨幣経済の発展により引き起こされる様々な社会矛盾](#)により、[成長性のない「お米の経済」](#)は、徐々に、しかし、確実に土台から崩壊していきました。

(4) 原始共産制→奴隷制→封建制→資本主義の歴史の流れは「歴史的必然」である。

日本史に現れる歴史上の有名人物(源頼朝、楠木正成、織田信長、徳川家康、西郷隆盛、大久保利通)が、たとえいなくても、歴史は、奴隷制→封建制→資本主義へと必然的に変化した。

●支配者と被支配者の両方の立場からの視点、さらには、両者の対立(闘争)という視点が重要である。

前回は、主に支配者の視点から歴史を見てみましたが、本当は、被支配者の視点も同様に大切であって、より正確に言えば、あらゆる歴史的事象(事件)は、支配者と被支配者との階級間の対立(闘争)として見なければ、その本質を理解することはできません。

例(その1)

[天智天皇](#)9年(670)庚午(かのえうま)の年に日本最古の全国的規模の戸籍である「[庚午年籍](#)」が作成されることになりました。戸籍は、支配者が人民を支配するための基本台帳ですが、[その主な目的は、徴兵と徴税でした。](#)

646年の[改新の詔](#)によって、制度上は、人民は、「[公地公民](#)」という美名のもとで、[ヤマト王権](#)の直接奴隷となったわけですが、実際は各地方の豪族たちが自分の領地の人民を支配している構図に変わりはなく、[天智天皇](#)は、全国規模での奴隷名簿の作成に乗り出したというわけです。

ここには、[奴隷名簿を作成するヤマト王権と奴隷名簿に登録されて兵役に取られたり、しっかり税を取られる人民との対立構造](#)があります。

ちなみに、現在、世界で、戸籍制度がある国は、日本、韓国、台湾の三カ国のみで、韓国と台湾は、第二次世界大戦中の日本統治下における戸籍制度を戦後もそのまま使っているということで、戸籍制度は、人民支配の道具として非常に優れているということです。

日本政府は、戸籍制度に加えて、2015年10月から「[マイナンバー制度](#)」の運用を開始して国民に対する視点を強めようとしています。くわばら、くわばら。

例(その2)

政府与党は、なぜ、専業主婦の経済的自立を妨害するために、年収103万、106万、130万、150万円の壁を作るのでしょうか。経済的自立を果たせない主婦は、夫への経済的依存度を高めざるをえません。

一方、夫は、企業戦士として75歳まで企業の奴隷として搾取されようとする現実があります。

大企業(大資本)の「政治請負い集団」である政府与党は、大企業(大資本)が、「直接奴隷である夫」と「間接奴隷である妻」をとことん搾取できるような体制作りを熱心に行い、結果、大企業(大資本)が、500兆円を超える内部留保を抱えて笑いが止まらない状態を現出させました。

つまり、これは、**支配者である大企業(大資本)とその被支配者である大多数の賃金労働者との対立構図**と見ることによって、初めて、その本質が見えるということです。

2019年度の注目→<原始・古代>

百舌鳥・古市古墳群(もず・ふるいちこふんぐん)が、2019年に世界遺産に登録されることになり、原始・古代が注目され、古墳時代を中心に出题される可能性が高いので、この時代の重要項目をまとめました。

●「漢書」地理志(かんじょちりし)

- ・「漢書」は中国の前漢の歴史を記した歴史書で、「地理志」の部分に当時の日本についての記述がある。
- ・日本について「**紀元前1世紀ごろ**、倭人(わじん)(日本人のこと)が100余りの小国をつくり、一部の国が朝鮮半島の楽浪(らくろう)郡に使いを送っていた」と書かれている。
- ・原文:楽浪海中に倭人あり、分ちて百余国と為し、歳時をもつて来たりて献見すと云ふ。

●「後漢書」東夷伝(ごかんじょとういでん)

- ・「後漢書」は中国の後漢の歴史を記した歴史書で「東夷伝」の部分に当時の日本についての記述がある。
- ・「**1世紀のなかば**、倭の奴国(なこく、なのくに)の王が漢(後漢)に使いを送り、皇帝から金印を授けられた」と書かれている。
- ・原文:建武中元二年(57年)、倭奴国、貢を奉じて朝賀す。使人自ら大夫と称す。倭国の極南界なり。光武賜うに印綬を以てす。

●「魏志」倭人伝(ぎしわじんてん)

- ・中国の三国時代のことを書いた「三国志」のうち「魏」(ぎ)の歴史を書いたものが「魏志」で、「倭人伝」の部分に当時の日本についての記述がある。
- ・**卑弥呼**や**邪馬台国**について書かれている。
- ・「**239年**から卑弥呼がたびたび魏に使いを送り、魏の皇帝から親魏倭王の称号と、銅鏡100枚などを授けられた」と書かれている。
- ・元々は男子を王として70~80年を経たが、倭国全体で長期間にわたる騒乱が起こった(いわゆる「**倭国大乱**」と考えられている)。そこで、卑弥呼と言う一人の女子を王に共立することによってようやく混乱を鎮めた。
- ・卑弥呼は、**鬼道**に事え衆を惑わした。年長で夫はいなかった。弟が国政を補佐した。王となって以来人と会うことは少なかった。1000人の従者が仕えていたが、居所である宮室には、ただ一人の男子が入って、飲食の給仕や伝言の取次ぎをした。樓観や城柵が厳めしく設けられ、常に兵士が守衛していた。卑弥呼は景初2年(238年)以降、帯方郡を通じて魏に使者を送り、皇帝から「親魏倭王」に任じられた。正始8年(247年)には、**狗奴国**(くぬこく、くなこく)との紛争に際し、帯方郡から塞曹掾史張政が派遣されている。「魏志倭人伝」の記述によれば朝鮮半島の国々とも使者を交換していた。正始8年(247年)頃に卑弥呼が死去すると塚がつくられ、100人が殉葬された。その後男王を立てるが国中が服さず更に殺し合い1000余人が死んだ。再び卑弥呼の宗女(一族 or 宗派の女性)である13歳の**壹與**(いよ、または、とよ)を王に立て国は治まった。先に倭国に派遣された張政は檄文をもって壹與を諭しており、壹與もまた魏に使者を送っている。

●古墳時代

古墳時代(こふんじだい)は、日本の歴史の時代区分の一つである。古墳、特に**前方後円墳**が盛んに造られた時代を意味する。縄文時代、弥生時代に次ぐ考古学上の時期区分である。ほぼ同時代を表している「大和時代」は**日本書紀**や**古事記**による文献上の時代区分である。現在は研究が進んだこともあって、この時代の呼び方は「古墳時代」がより一般的となっている。

古墳時代の時期区分は、古墳の成り立ちとその衰滅をいかに捉えるかによって、僅かな差異が生じる。例えば、**前方後円墳**が造営され始めた年代に関しても、議論が大きく揺れ動いてきた。現在のところ一般的に、古墳時代は**3世紀半ば過ぎから7世紀末頃までの約400年間を指すことが多い**。中でも3世紀半ば過ぎから6世紀末までは、**前方後円墳**が北は東北地方南部から南は九州地方の南部まで造り続けられた時代であり、**前方後円墳**の時代と呼ばれることもある。

前方後円墳が造られなくなった7世紀に入っても、方墳・円墳、八角墳などが造り続けられるが、この時期を古墳時代終末期と呼ぶこともある。

●「空白の4世紀」

西暦266年から413年にかけて中国の歴史文献における倭国の記述がなく詳細を把握できないため、この間は「空白の4世紀」とも呼ばれている。日本国家の成立を考察すれば、倭国のヤマト王権が拡大し、王権が強化統一されていった時代と考えられる。古墳時代終末期に倭国から日本国へ国名を変更した。

●好太王碑の碑文

そもそも**新羅**・**百残**は(**高句麗**)の属民であり、朝貢していた。しかし、倭が辛卯年(391年)に海を渡り**百残**・**加羅**・**新羅**を破り、臣民となしてしまった。

●倭の五王

倭の五王(わのごおう)とは、古代中国の歴史書に登場する倭国の五人の王、**讚**・**珍**・**済**・**興**・**武**をいう。5世紀初頭から末葉まで、およそ1世紀近くに渡って主に南朝の宋(420年-479年)に朝貢した。倭の五王が記紀(古事記と日本書紀)における天皇の誰に該当するかについては諸説ある。

●天皇と倭の五王

最も蓋然性が高いのが**雄略天皇**を「武」とする説である。記紀の記述の内容が5世紀末の朝鮮の史料とよく符合し、実名である「**ワカタケル**」と思しき名が刻まれた鉄剣がやはり5世紀末頃の遺跡で見つかっていることから同時代に在位していた大王である可能性が高く、「武」という名も実名の「**タケル**」を漢訳したものと考えられる。先代の**安康天皇**は雄略の兄であり、先々代の**允恭天皇**は安康・雄略の父であることから、済の子が興でありその弟が武であると記す『宋書』の系譜とも一致する。また、478年に武が奉った上表文では「にわかにかに父兄を喪い」(奄喪父兄)と述べられており、允恭の死後に跡を継いだ安康がわずか3年で暗殺されたという『記紀』の記述とも整合性がある。以上のように「済」・「興」・「武」については研究者の間でおおむね一致を見ているが、「讚」と「珍」については「宋書」と「記紀」の伝承に食い違いがあるため、様々な説がある。

●日本経済新聞朝刊では、2018年9月より、池澤夏樹氏の「ワカタケル」を掲載している。

<作者の言葉>

数年前に『古事記』の現代語訳をして、神話めいた上巻より人間くさい中下巻の方がおもしろいと知った。天皇たちの武勇伝は少なく、争いと色ごとが多い。その中で『日本書紀』に「大悪天皇」と記された二十一代雄略天皇を主人公にして小説を書くこと決めた。

和名をワカタケルというこの人物は、中国の史書や古墳の遺物などで、実在したことがわかっている。暴君であると同時に偉大な国家建設者であった。

以上

2019 年度全国通訳案内士試験 第1次筆記試験
＜日本歴史＞直前対策セミナー 資料
(2019 年 6 月 30日)

ハロー通訳アカデミー
植山源一郎

＜合格への道＞

「彼を知り己を知れば百戦殆からず」と申します。まず、既出問題(最低 3 年分)を見て、**出題傾向、自分の強い分野、弱い分野**を知ることがすべての出発点になります。

- 2018 年度＜日本歴史＞問題(解答付)

<http://hello.ac/2018his.PDF>

- 2017 年度＜日本歴史＞問題(解答付)

<http://hello.ac/2017his.pdf>

- 2016 年度＜日本歴史＞問題(解答付)

<http://hello.ac/2016his.pdf>

次に＜合格体験記＞を読むことにより、合格者の足跡をたどり、合格への道のりを追体験してください。
＜合格体験記＞は合格への道筋を示してくれます。また、勉強に行き詰まったときに＜合格体験記＞を読むと、必ず道が開けます。

- 2018 年度＜合格体験記＞

<https://blog.goo.ne.jp/gu6970/c/6a82b85065bd867c005ab7a3e9ff9112>

＜無料学習サイト＞

- マラソンセミナー＜日本歴史＞動画学習コーナー

<http://blog.goo.ne.jp/gu6970/e/aa9caa987007e8ef9f390a0a88c6e667>

- マラソンセミナー＜日本歴史＞音声学習コーナー

<http://blog.goo.ne.jp/gu6970/e/89f4804d90b83a179d69e92565f0a210>

- 第 1 次邦文試験対策＜特訓 1800 題＞無料自習学習コーナー

http://hello.ac/streaming/clinic/clinic_houbun/index.html

- 第 1 次邦文試験対策＜特訓 1800 題＞の文字データ

<https://blog.goo.ne.jp/gu6970/e/a954bb6fe1182fb894fa625b81ab21d9>

- (写真問題対策)＜FlashcardsDeluxe＞による学習法

<http://blog.goo.ne.jp/gu6970/e/35e45334cca19e6f8df802b215963d40>

＜FlashcardsDeluxe＞でも、＜特訓 1800 題＞を 4 択問題形式で学習できます。

●2019 年度ガイドラインは、2018 年度と全く同じである。

＜試験全体について＞

日本地理、日本歴史及び一般常識についての筆記試験は、外国人観光旅客が多く訪れている又は外国人観光旅客の評価が高い観光資源に関連する地理、歴史並びに産業、経済、政治及び文化についての主要な事柄(日本と世界との関わりを含む。)のうち、外国人観光旅客の関心の強いものについての基礎的な知識を問うものとする。

(1) 試験方法

- ・試験は、外国人観光旅客が多く訪れている又は外国人観光旅客の評価が高い観光資源に関連する日本歴史についての主要な事柄及び現在の日本人の生活、文化、価値観等につながるような日本歴史についての主要な事柄(日本と世界との関わりを含む。)のうち、外国人観光旅客の関心の強いものについての基礎的な知識を問うものとする。
- ・試験の方法は、多肢選択式(マークシート方式)とする。
- ・試験時間は、40分とする。
- ・試験の満点は、100点とする。
- ・問題の数は、40問程度とする。
- ・内容は、地図や写真を使った問題を中心としたものとする。

(2) 合否判定

- ・合否判定は、原則として70点を合格基準点として行う。
- ・実際の平均点が、合格基準点から著しく乖離した科目については、当該科目の試験委員と試験実施事務局から構成される検討会を開催する。その結果、必要があると判断された場合には、合格基準の事後的な調整を行う。
(⇒過去数年間、合格基準点が下げられることはあっても上げられることはなかった。)
- (※)筆記試験の合否判定については、科目ごとに合格基準点を設定し、すべての科目について合格基準点に達しているか否かを判定することにより行う。受験者には筆記試験の合否のほか、科目ごとに合格基準点に達したか否かを通知する。

●そもそも、「合格基準点」とは何か？

全国通訳案内士試験は、1949 年から 70 年の歴史を持つ試験ですが、長年に渡り、「難問、奇問、珍問の通訳案内士試験」の異名を誇ってきた。下記は、その件で、私が AERA から取材を受けた記事である。

<https://dot.asahi.com/aera/2015113000038.html?page=1>

マスコミに叩かれるようになって初めて、観光庁も思い腰を上げ、「ガイドライン」→「合格基準点」の設定、改正を重ねてきたが、その際、合格基準点 = 出題者が、その科目の平均点となるように作成する基準点>ということが大前提となってきた。つまり、平均点を取れば、合格ということである。

しかし、2018 年度は、以前にも増して、「難問のオンパレード」で、何ら改善が見受けられなかった。

＜日本歴史＞の問題作成委員の変遷

●問題作成委員

マークシート方式が採用された2004年度から2018年度までの出題形式、内容、配点構成を分析すると、＜日本歴史＞の問題作成委員は、4グループ(1グループ2名)が担当したと考えられる。

【Aグループ】2004年度～2005年度を担当

【Bグループ】2006年度～2014年度を担当

【Cグループ】2015年度～2016年度を担当

【Dグループ】2017年度～2018年度を担当

【Dグループ】が、2019年度を担当するかどうかは、不明であるが、最低でも過去3年分(2016年、2017年、2018年)の出題傾向はよく見ておくことが大切である。

年度別の大問、小問の配点構成、問題数

●2011年度～2014年度(問題数:40題)

【大問1】2点×10題=20点 【大問2】3点×5題 =15点 【大問3】3点×5題 =15点

【大問4】3点×5題 =15点 【大問5】3点×5題 =15点 【大問6】2点×10題=20点

2点×20題+3点×20題=100点

●2015年度(問題数:35題)

【大問1】2点×5題+3点×15題=55点 【大問2】3点×10題=30点 【大問3】3点×5題=15点

2点×5題+3点×30題=100点

●2016年度(問題数:41題)

【大問1】2点×14題+3点×4題=40点 【大問2】2点×9題+3点×14題=60点

2点×23題+3点×18題=100点

●2017年度(問題数:38題)

2点×14題+3点×24題=100点

●2018年度(問題数:40題)

2点×20題+3点×20題=100点

●年度別＜正解の番号の個数＞

正解	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
1	11	9	9	7
2	5	11	12	12
3	8	8	9	10
4	9	9	5	11

※選択肢の2番が、3年連続して一番多かった。2019年度は、迷ったら、2番を選べ!

●年度別＜写真、地図、図表の枚数＞

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
写真	12	17	16	18
地図	0	1	1	1
図表	0	0	0	1
合計	12	18	17	20

※2018年度は、過去最高の20枚の写真、地図、図表が使われた。

日本史の時代区分と各文化の特徴					
西暦年	時代区分	東北	文化	特徴	
		沖縄			
数十万年前 ～約1万年前	原始共産制	旧石器		無土器	利器として打製石器・骨角器を使用し、生活は狩猟・採集によった。30万年前にさかのぼるといわれる。旧石器時代の社会は、群れまたは社会ごとに指導者が存在した。 男性・女性はおおむね平等 で、男性は狩猟、女性は漁労および育児を事としていたが、この役割はしばしば共有されており、明確な分業はされていなかったと考えられている。若宿遺跡(関東ローム層から打製石器が出土した)。
約1万年前 ～紀元前4世紀		新石器・縄文		縄文	旧石器時代と縄文時代の違いは、土器の出現や竪穴住居の普及、貝塚の形式などがある。縄文時代の終わりについては、地域差が大きい。定型的な水田耕作を特徴とする弥生文化の登場を契機とするが、その年代については紀元前数世紀から紀元前10世紀頃までと多くの議論がある。
紀元前3世紀 ～3世紀	原始・古代 【生口・奴婢、部民制(子代、名代、部曲)、五色の賤】	弥生 「格差社会」開始		弥生	弥生時代の特徴は、(1)稲作が始まったこと(2)金属器の使用が始まったこと(3) 貧富や身分の差が表れ始めたこと である。その身分格差は、弥生時代の墓の発掘により伺い知ることが出来る。
4世紀～ 6世紀		古墳 部民制(奴隷制 社会)の発達	蝦夷 (えみし、 えびす、 えぞ)	古墳	古墳時代は3世紀半ば過ぎから7世紀末頃までの約400年間を指すことが多い。中でも3世紀半ば過ぎから6世紀末までは、前方後円墳が全国で造り続けられた時代であり、前方後円墳の時代と呼ばれる。7世紀に入っても、方墳・円墳、八角墳などが造り続けられるが、この時期を古墳時代終末期と呼ぶ。西暦266年から413年にかけて中国の歴史文献における倭国の記述がなく詳細を把握できないため、この間は「 空白の4世紀 」とも呼ばれている。
7世紀		飛鳥 (6世紀末～710)		飛鳥	推古朝を頂点として 大和を中心に華開いた仏教文化 。時期は、一般に仏教渡来から大化の改新までをいう。朝鮮半島の百済や高句麗を通じて伝えられた中国大陸の南北朝の文化の影響を受け、国際性豊かな文化でもある。多くの大寺院が建立され始め、仏教文化の最初の興隆期。
				白鳳	645年(大化元年)の大化の改新から710年(和銅3年)の平城京遷都までの飛鳥時代に華開いたおおらかな文化である。 天智天皇のときに最盛期 を迎えた。
8世紀		奈良 (710～794)		天平	7世紀終わり頃から8世紀の中頃までをいい、奈良の都平城京を中心にして華開いた貴族・仏教文化である。この文化を、 聖武天皇のときの元号天平を取って天平文化 と呼ぶ。あおによし。。。
9世紀		平安 (794～1185) 荘園(権力者、有力寺社の私有地)が発達		弘仁・貞観	弘仁・貞観年間を中心とする平安時代前期(ほぼ9世紀に相当)の文化。弘仁(810～824)(嵯峨天皇、淳和天皇)貞観(859～877)(清和天皇)
10世紀				国風	10世紀の初め頃から11世紀の摂関政治期を中心とする文化 であり、12世紀の院政期文化にも広く影響を与えた。以前は894年の遣唐使停止により中国の影響を抜け出し、日本独自の文化が発展したと一般的に解釈されてきた。しかし、遣唐使廃止後も対外交流は盛んで中国の文物は多く日本に流入していた。そのため、遣唐使停止を国風文化の画期とすることは誤りであり、遣唐使停止は日本文化の国風化を加速させる要因であったとみるのが適当である。
11世紀				院政期	平安時代末葉の11世紀後半から鎌倉幕府成立に至る12世紀末にかけての日本の文化 。院政期は、日本社会史上、貴族勢力の衰退と武士勢力の伸長という過渡期に位置しており、文化の面でもこのような時代の、気風を反映した新しい動きがみられた。
12世紀					
13世紀		封建制(封土建国) (御恩と奉公)(一所懸命)	鎌倉 (1185～1333) 「守護・地頭」		鎌倉
14世紀	建武の新政 (1333～1335)		三山時代	北山	室町時代初期の文化で、三代将軍足利義満(1358～1408)の北山山荘に代表され、14世紀末～15世紀前半までをさす。東山文化に対して使われる言葉である。ただし、今日の歴史学では東山文化と合わせて「室町文化」と呼ぶのが一般的である。
	室町 (1336～1573)				
15世紀	戦国 (1493～1573)		琉球王国	東山	室町時代中期の文化で、八代将軍足利義政(1436～1491)が築いた京都の東山山荘を中心に、武家、公家、禅僧らの文化が融合して生まれた。慈照寺銀閣は東山文化を代表する建築である。
16世紀	安土桃山 (1573～1603)			桃山	織田信長と豊臣秀吉によって天下統一事業が進められていた安土桃山時代の日本の文化 である。この時代、戦乱の世の終結と天下統一の気運、新興大名・豪商の出現、さかんな海外交渉などを背景とした、豪壮・華麗な文化が花ひらいた。
17世紀	江戸 (1603～1868) 貨幣経済の発展が、農業経済中心に構築された幕藩体制を揺るがし、明治維新の内的要因となる。		薩摩藩支配	寛永	寛永年間(1624～1645)を中心とする文化 。寛永文化の中心は京都であり、中世以来の伝統を引き継ぐ町衆勢力と後水尾天皇を中心とする朝廷勢力が、封建制を強化する江戸幕府に対抗する形で古典文芸・文化の興隆を生み出し、後に江戸においても儒学・武家を中軸とした文化が形成された。
18世紀				元禄	元禄時代(1688～1707)、主に京都・大坂(大阪)などの上方を中心として発展した文化 である。特色として庶民的な面が濃く現れているが、必ずしも町人の出身ばかりでなく、元禄文化の担い手として武士階級出身の者も多かった。上方から発生し、朱子学、自然科学、古典研究が発達した。尾形光琳らによる琳派、土佐派などが活躍、野々村仁清、本阿弥光悦等による陶芸が発展。
19世紀				化政	文化・文政期(1804～1830)を中心とする町人文化 。政治・社会の出来事や日常生活を風刺する川柳が流行した。また、文学では、十返舎一九の『東海道中膝栗毛』のように、庶民生活を面白おかしく描いた、滑稽な作り話が好まれた。版画では、多彩な色彩を表現できる技術が向上し、そのような技術で作られた版画は錦絵と呼ばれた。江戸から発生し、商人などの全国的交流や、出版・教育の普及によって各地に伝えられていった。また、これに伴い、内容も多様化していき、庶民へと浸透していった。風俗上で時代劇の舞台とされることが最も多いのがこの時代である。
20世紀	近代・現代 資本主義	明治 (1868～1912)		文明開化	明治時代の日本に西洋の文明が入ってきて、制度や習慣が大きく変化した現象 のことを指す。さらに、「西洋のものなら何でもよい」という、考えが出ていた。
		大正(1912～1926)		大正	
		昭和(1926～1989)		昭和	
		平成(1989～2019)		平成	
21世紀		令和(2019～)		令和	

各文化の特徴

- **縄文文化**(約13,000年前から前5～4世紀頃まで)(新石器文化)
旧石器時代と縄文時代の違いは、土器の出現や**竪穴住居(2016)**の普及、貝塚の形式などがある。縄文時代の終わりについては、地域差が大きいものの、定型的な水田耕作を特徴とする弥生文化の登場を契機とするが、その年代については紀元前数世紀から紀元前10世紀頃までで、多くの議論がある。
- **弥生文化**(前5～4世紀～後3世紀頃)
弥生時代の特徴は、(1)稲作が始まったこと(2)金属器の使用が始まったこと(3)貧富や身分の差が表れ始めたことである。その身分格差は、弥生時代の墓の発掘により伺い知ることが出来る。**登呂遺跡**
- **古墳文化**(3世紀中頃～7世紀)
古墳時代は3世紀半ば過ぎから7世紀末頃までの約400年間を指すことが多い。中でも3世紀半ば過ぎから6世紀末までは、**前方後円墳(2016)**が全国で造り続けられた時代であり、**前方後円墳**の時代と呼ばれる。7世紀に入っても、方墳・円墳、八角墳などが造り続けられるが、この時期を古墳時代終末期と呼ぶ。「**百舌鳥・古市古墳群**」(大阪府)が、2019年6月30日からアゼルバイジャンで開催される世界遺産委員会で登録が決定される見通しなので、**要注意!**ちなみに、全国に、**約16万の古墳**が確認されている。
- **飛鳥文化**(592～645)
推古朝を頂点として大和を中心に華開いた**仏教文化**である。時期は、一般に**仏教渡来から大化の改新**までをいう。朝鮮半島の**百濟**や**高句麗**を通じて伝えられた中国大陸の**南北朝**の文化の影響を受け、国際性豊かな文化でもある。多くの大寺院が建立され始め、**仏教文化の最初の興隆期**であった。飛鳥寺(2016)(2018)、四天王寺(2016)(2018)、法隆寺(玉虫の厨子(2015))(2016)(2018)、中宮寺(天寿国繡帳)(2018)
- **白鳳文化**(645～710)
645年(大化元年)の**大化の改新**から710年(和銅3年)の平城京遷都までの飛鳥時代に華咲いたおおらかな文化である。唐との交通により、その影響を受けた**仏教美術**にすぐれた作品が多い。**薬師寺の東塔**や**薬師三尊像**、**法隆寺金堂壁画**などがその代表。また、国史の編纂が開始され、漢詩・和歌なども盛んとなった。**天智天皇(中大兄皇子:中臣鎌足と謀り、蘇我入鹿を殺害し大化の改新を実施)**のときに最盛期を迎えた。天武天皇(2016)、持統天皇(2016)(2017)(2018)、興福寺(2015)(2016)、薬師寺(2015)(2016)
- **天平文化**(710～794)
7世紀終わり頃から8世紀の中頃までをいい、**奈良の都平城京**を中心にして華開いた**貴族・仏教文化**である。**聖武天皇**のときに最盛期で、天平(729～749年)はその時期の年号に由来する。聖武天皇(724～757)(2015)、古事記(稗田阿礼、太安万侶)(712年)(2015)、風土記(713年)、日本書紀(舍人親王)(720年)(2016)、東大寺(正倉院鳥毛立女屏風)(752年)(2015)(2016)、大仏開眼供養(752年)、唐招提寺(金堂)(759年)(2015)(2016)(2017)、**万葉集**(770年頃)
- **弘仁・貞観文化**(810～877)
主として美術史上用いられる名称。弘仁(810～824)、貞観(859～877)の平安時代前期を中心とした文化。美術史においては平安時代を2期に分け、後期を**藤原文化**とするのに対し、延暦13(794)年の平安遷都から**遣唐使**が廃止された寛平6(894)年までの約1世紀の平安時代前期の文化を呼ぶ。天台宗-最澄-比叡山延暦寺。真言宗-空海(弘法大師)-高野山金剛峰寺。三筆(嵯峨天皇、橘逸勢、空海)、綜芸種智院(空海)
- **国風文化**(10世紀～11世紀)
10世紀の初め頃から11世紀の**摂関政治期**を中心とする文化であり、12世紀の**院政期文化**にも広く影響を与えた。894年の**遣唐使**停止(2015)(2017)は日本文化の国風化を加速させる要因となった。竹取物語、源氏物語(紫式部)(2015)、枕草子(清少納言)、土佐日記(紀貫之)(2015)、空也(2018)、源信(往生要集)、平等院鳳凰堂(藤原頼通)(2016)(2017)、平等院鳳凰堂阿弥陀如来像(定朝)(2016)(2017)、寝殿造
- **院政期文化**(11世紀～12世紀)
平安時代末葉の11世紀後半から鎌倉幕府成立に至る12世紀末にかけての日本の文化。院政期は、日本社会史上、**貴族勢力の衰退と武士勢力の伸長**という過渡期に位置しており、文化の面でもこのような時代の気風を反映した新しい動きがみられた。中尊寺金色堂(2017)、厳島神社平家納経(2015)(2017)、源氏物語絵巻、鳥獣戯画、栄花物語、大鏡(四鏡のはじめ)

● **鎌倉文化** (12世紀末～14世紀前半)

鎌倉幕府の成立した12世紀末葉から幕府が滅亡した14世紀前半にかけての日本の文化。王朝国家からの自立を指向する本格的な武家政権が東国に開かれた時代であり、各方面で新しい文化的所産が生まれた。鎌倉新仏教:浄土系(他力本願):浄土教(法然)(ひたすら念仏)、浄土真宗(親鸞)(阿弥陀仏にすがる)、時宗(一遍)(踊念仏)／禅宗系:臨済宗(栄西)(座禅に公案)、曹洞宗(道元)(ひたすら座禅)／法華系:日蓮宗(日蓮)([立正安国論](#))(2018)(念仏無間、禅天魔、真言亡国、律国賊)。東大寺南大門(大仏様、天竺様)(2015)(2016)、円覚寺舍利殿(禅宗様、唐様)、六波羅蜜寺(空也上人像)。愚管抄(慈円)、金沢文庫(北条実時)、新古今和歌集(藤原定家)。方丈記(鴨長明)、徒然草(吉田兼好)、平家物語。蒙古来襲絵巻、平家物語絵巻

● **北山文化** (14世紀末～15世紀前半)

室町時代初期の文化で、三代将軍足利義満(1358～1408)の北山山荘に代表され、14世紀末～15世紀前半までをさす。[東山文化](#)に対して使われる言葉である。ただし、今日の歴史学では[東山文化](#)と合わせて「室町文化」と呼ぶのが一般的である。[鹿苑寺](#)金閣は北山文化を代表する建築である。金閣((一階＝寝殿造、二階＝武家造、三階＝禅宗仏殿造))、天竜寺(夢窓疎石)、花伝書(観阿弥)、京都五山、鎌倉五山

● **東山文化** (15世紀前半～16世紀)

室町時代中期の文化で、八代将軍足利義政(1436～1491)が築いた京都の東山山荘を中心に、武家、公家、禅僧らの文化が融合して生まれた。[慈照寺](#)銀閣は東山文化を代表する建築である。銀閣(書院造、禅宗様)。枯山水(竜安寺石庭、大徳寺大仙院庭園)。大和絵(狩野正信、狩野元信)

● **桃山文化** (16世紀)

[織田信長](#)と[豊臣秀吉](#)によって天下統一事業が進められていた[安土桃山時代](#)の日本の文化である。この時代、戦乱の世の終結と天下統一の気運、新興大名・豪商の出現、さかんな海外交渉などを背景とした、豪壮・華麗な文化が花ひらいた。安土城、大坂城、伏見城、姫路城、松本城、犬山城、聚楽第→西本願寺飛雲閣、大徳寺唐門。洛中洛外図屏風、松林図屏風(長谷川等伯)(2018)。茶の湯(千利休)

● **寛永文化** (17世紀)

寛永年間(1624～1645)を中心とする文化。寛永文化の中心は京都であり、中世以来の伝統を引き継ぐ町衆勢力と[後水尾天皇](#)を中心とする朝廷勢力が、封建制を強化する江戸幕府に対抗する形で古典文芸・文化の興隆を生み出し、後に江戸においても儒学・武家を中軸とした文化が形成された。日光東照宮、風神雷神図屏風(2018)、有田焼(酒井田柿右衛門)

● **元禄文化** (17世紀～18世紀)

元禄時代(1688～1707)、主に京都・大坂(大阪)などの上方を中心として発展した文化である。特色として庶民的な面が濃く現れているが、必ずしも町人の出身ばかりでなく、元禄文化の担い手として武士階級出身の者も多かった。上方から発生し、朱子学、自然科学、古典研究が発達した。[尾形光琳](#)らによる琳派、土佐派などが活躍、[野々村仁清](#)、[本阿弥光悦](#)等による陶芸が発展。林羅山、徳川光圀(大日本史)、関孝和(発微算法)、松尾芭蕉(奥の細道)、井原西鶴、竹本義太夫、近松門左衛門(曾根崎心中)

● **化政文化** (18世紀～19世紀)

文化・文政期(1804～1830)を中心とする町人文化。政治・社会の出来事や日常の生活を風刺する川柳が流行した。また、文学では、[十返舎一九](#)の『[東海道中膝栗毛](#)』のように、庶民生活を面白おかしく描いた、滑稽な作り話が好まれた。版画では、多彩な色彩を表現できる技術が向上し、そのような技術で作られた版画は[錦絵](#)と呼ばれた。江戸から発生し、商人などの全国的交流や、出版・教育の普及によって各地に伝えられていった。また、これに伴い、内容も多様化していき、庶民へと浸透していった。風俗上で時代劇の舞台とされることが最も多いのがこの時代である。高野長英(戊戌夢物語)、渡辺崋山(蛮社の獄)、本居宣長(古事記伝)、新井白石(西洋紀聞)、前野良沢・杉田玄白(解体新書)、大槻玄沢(蘭学階梯)。稲村三伯(ハルマ和解)、平賀源内(エレキテル)緒方洪庵(適塾)、シーボルト(鳴滝塾、林子平(海国兵談)、安藤昌益(自然真営道)、小林一茶、竹田出雲、喜多川歌麿、歌川(安藤)広重(東海道五十三次)、葛飾北斎(富嶽三十六景)

● **文明開化** (19世紀後半～)

明治時代の日本に西洋の文明が入ってきて、制度や習慣が大きく変化した現象のことを指す。さらに、「西洋のものなら何でもよい」という、考えが出ていた。廃仏毀釈、福沢諭吉(西洋事情、学問のすすめ)、夏目漱石、フェノロサ、岡倉天心(東京美術学校)、内村鑑三、新島襄、クラーク

●2018年度の出題傾向の概要

- (1) 全般的に、かなり難易度の高い難問が多かった。
- (2) 写真、地図、図表の合計枚数が **20枚と過去最高**を記録した。
- (3) しかし、20枚の写真、地図、図表のうち、解答に必須なもの、参考になるものは、【問5】の「小江戸」(栃木、川越、佐原)の場所を示す地図、と、【問13】の四天王寺の伽藍配置の2枚だけで、残りの18枚は、あってもなくても解答には全く支障がないものだった。2017年度は、解答に必須なのは、【問16】の「天領」に関する地図1枚のみだった。2016年度は、解答に必須なのは、【大問2】の写真3葉、地図1枚のみだった。即ち、2016年度、2017年度、2018年度は、問題文に付随するほとんどの写真は解答する際に、必須ではなかった。
2019年度は、上記を勘案し、写真などの勉強時間はしなくてよいだろう。
- (4) 20枚の写真、地図、図表は、グーグルの画像検索では、同一のものは1枚も発見できなかった。
- (5) 20枚の写真、地図、図表のうち、「詳説日本史B」(一番使用されている高校の教科書)(山川出版社)にあるものは、【問18】の金閣寺(139ページ)、銀閣寺(139ページ)の2点のみであった。
- (6) 「詳説日本史図録」(山川出版社)には、【問13】の四天王寺の伽藍配置(35ページ)、【問18】の金閣寺(128ページ)、銀閣寺(129ページ)の3点があった。
- (7) 「山川ビジュアル版日本史図録」(山川出版社)には、四天王寺の伽藍配置はなかったが、金閣寺(5ページ、124ページ)、銀閣寺(126ページ)の2点があった。
- (8) (A)「山川ビジュアル版日本史図録」(全280ページ)と(B)「詳説日本史図録」(全360ページ)の比較
 - ・写真、地図、図表、解説文字数は、(B)が(A)より圧倒的に多く、情報量、コスパという点では優れている。
 - ・(B)が、政治、経済、社会、外交関連が充実しているのに対して、(A)は、文化、芸術、美術関連が充実している。
 - ・(A)の方が、(B)より、写真、地図、図表、文字が大きく見やすい。
 - ・(A)(840円)の方が、(B)(860円)より、20円安い。
- (9) 写真、地図が掲載されているという点からすれば、「旅地図日本」(昭文社)(2,000円)が優れている。
「写真+記事+アイコンで見やすい! 詳しい! 名所・観光スポット1000収録」と銘打っているだけあって、2018年度出題の写真、地図の11枚が収録されている。
- (10) 日本歴史では、これまでも、歴史を超えて、地理、一般常識との融合問題が出題されてきたが、その傾向がさらに強くなった。

●「外国人観光旅客が多く訪れている観光資源」、「評価が高い観光資源」がどれだけ出題されたのか。

2018年度: (○)札幌、輪王寺、**鶴岡八幡宮**、飛騨高山

(△)川越、東京駅、横浜、名古屋、高野山金剛峰寺、**四天王寺**

(×)瑞巖寺、羽黒山、栃木、佐原、石手寺、近江神宮

2017年度: (○)鎌倉大仏、**鶴岡八幡宮**、富岡製糸場、伊勢神宮、二条城、陽明門、天龍寺、巖島、**太宰府天満宮**

(△)仁和寺、唐招提寺、馬籠、中尊寺、南禅寺、北野天満宮、石見銀山

(×)萩、本能寺、彦根城、倉敷

2016年度: (○)法隆寺、薬師寺、東大寺正倉院、平等院、大覚寺、東大寺二月堂

(△)**四天王寺**、札幌時計台(=日本三大がっかり名所: はりまや橋、オランダ坂)

(×)教王護国寺、赤間神宮、小樽、小浜、若狭神宮寺、三内丸山古墳、大仙陵古墳、吉野ヶ里遺跡、志賀島、小田原城

●2018 年度に出題された「人名」

【正解として】

新渡戸稲造、天海、柳沢吉保、伊能忠敬、孫文、源頼朝、正岡子規、夏目漱石、近松門左衛門、世阿弥、織田信長(2017)(2018)、足利義昭、観阿弥、足利義満(2015)(2016)(2018)、長谷川等伯、福沢諭吉(2016)(2017)(2018)

【選択肢として】

内村鑑三(2016)(2018)、岡倉天心、新島襄、隠元、崇伝、沢庵、新井白石、田沼意次、林羅山、関孝和、平賀源内、間宮林蔵、北条早雲、徳川家康(2015)(2017)(2018)、周恩来、毛沢東、魯迅、源頼家、武田信玄、徳川慶喜、勝海舟(2017)(2018)、那須与一、源義経、井原西鶴、竹田出雲、竹本義太夫、空也上人、一篇上人、後醍醐天皇(2017)(2018)、今川義元(2017)(2018)、足利義政(2015)(2018)、足利尊氏(2015)(2017)(2018)、狩野永徳、狩野山楽、海北友松、大隈重信、支倉常長、渡辺崋山

【問題文中にて】

松平信綱、徳川綱吉、空海、嵯峨天皇、推古天皇、聖徳太子、中大兄皇子・天智天皇(2016)(2018)、桓武天皇、元明天皇、持統天皇、中臣鎌足(2015)(2016)(2018)、蘇我蝦夷、蘇我入鹿、尚巴志(しょうはし)、本阿弥光悦、俵屋宗達、尾形光琳(2015)(2018)、源頼朝、北条政子、北条時政、北条義時、後鳥羽上皇、フビライ=ハン、足利尊氏(2015)(2017)(2018)、赤松、一色、山名、京極、織田信長(2017)(2018)、羽柴(豊臣)秀吉(2015)(2016)(2018)、浅井長政、朝倉義景

●2018 年度に出題されたジャンル別、時代別「人名」

【天皇・上皇・太子】

(飛鳥時代) 推古天皇、聖徳太子、天智天皇、持統天皇

(奈良時代) 元明天皇

(平安時代) 桓武天皇、嵯峨天皇、後鳥羽上皇

【武将・政治家】

(飛鳥時代) 蘇我蝦夷、蘇我入鹿、中臣鎌足、中大兄皇子

(平安時代) 源義経、那須与一(屋島の戦い)

(鎌倉時代) 源頼朝、北条政子(頼朝の正室)、源頼家、北条時政、北条義時

(室町時代) 足利尊氏、四職(赤松、一色、山名、京極)、足利義満(北山文化)、足利義政(東山文化)

(建武の新政) 後醍醐天皇

(戦国時代) 北条早雲、今川義元、足利義昭(室町幕府最後の将軍)、浅井長政、朝倉義景、武田信玄、

(安土・桃山時代) 織田信長、豊臣秀吉

(江戸時代) 支倉常長(慶長遣欧使節)、松平信綱(川越藩藩主)、徳川家康、徳川綱吉、柳沢吉保(綱吉の側用人)、新井白石(正徳の治)、田沼意次(老中)、徳川慶喜(徳川幕府最後の15代将軍)、勝海舟(江戸城無血開城)

【宗教家】

(平安時代) 空海(真言宗)、空也上人(浄土教)

(鎌倉時代) 一篇上人(時宗)

(安土・桃山時代～江戸時代) 沢庵(臨済宗)、天海(天台宗)、崇伝(臨済宗)、隠元(禅宗)

【文化人】

(室町時代) 観阿弥(能楽を大成した)、世阿弥(父観阿弥とともに活躍)

(江戸時代) 井原西鶴、近松門左衛門、竹田出雲、伊能忠敬、竹本義太夫

(明治時代) 正岡子規、夏目漱石

【学者】

(江戸時代) 関孝和(和算家=数学者)、平賀源内(エレキテルを発明)

【教育者】

(明治時代) 福沢諭吉(慶応義塾大学)、大隈重信(早稲田大学)、新島襄(同志社大学)、新渡戸稲造(東京女子大学)

【思想家】

(江戸時代) 林羅山(朱子学派儒学者。林家の祖。)、渡辺崋山(武士、画家。蛮社の獄で処罰)
(明治時代) 内村鑑三(キリスト教思想家、文学者、伝道者、聖書学者)

【美術】

(江戸時代) 狩野永徳、狩野山楽、海北友松、長谷川等伯、本阿弥光悦、俵屋宗達、尾形光琳
(明治時代) 岡倉天心(東京美術学校を設立)

【探検家】

(江戸時代) 間宮林蔵(樺太(サハリン)が島である事を確認し間宮海峡を発見した)

【外国人】

フビライ=ハン(元王朝初代皇帝)(1215~1294)

尚巴志(しょうはし)(琉球王国の中山王)(1371~1439)

魯迅(1881~1936)(中国の小説家、翻訳家、思想家)

孫文(1866~1925)(中国の国父・政治家・革命家)

毛沢東(1893~1976)(中華人民共和国の政治家、軍事戦略家、思想家)

周恩来(1898~1976)(中国の政治家)

●融合問題の例

【大問 1 問 3】(一般常識との融合問題)

B の札幌農学校を卒業し、後に『武士道』を著した教育家・思想家は誰か、次の①~④から一つ選びなさい。(2点)

- ①内村鑑三 ②岡倉天心 ③新島襄 ④新渡戸稲造(正解)

【大問 1 問 4】(地理との融合問題)

C(=第1回さっぽろ雪まつり)の雪まつりは地元の中・高校生が雪像をそこに設置したことをきっかけに始まったが、以後も雪まつりの中心会場となっているその場所とはどこか、次の①~④から一つ選びなさい。(2点)

- ①大倉山 ②大通公園(正解) ③羊ヶ丘展望台 ④北海道大学

【大問 5 問 4】(地理との融合問題)

江戸との関わりが深く、江戸のように栄えた町という意味合いで「小江戸」と呼ばれる都市は、今日も江戸の風情が漂う古い町並みが残っており、観光地になっているところが多い。次の3つの都市(栃木、川越、佐原)について、それぞれの問いに答えなさい。

問 4. 三つの都市について、正しく地図上に示したものを、次の①~④から選びなさい。(2点)



【大問 6】(一般常識との融合問題)

東京駅に関連する次の①～④の記述の中で正しいものを一つ選びなさい。(3点)

- ①1872年、東海道本線の起点として開業した。
- ②1921年、丸の内南口で犬養毅首相が暗殺された。
- ③1923年に起こった関東大震災によって全壊した。
- ④1964年、東京～新大阪に東海道新幹線が開業した。(正解)

【大問 14】(一般常識との融合問題)

右の写真の近江神宮は、中臣鎌足(なかとみのかまたり)とともに蘇我蝦夷(そがのえみし)、入鹿(いるか)を滅ぼし、大化の改新をすすめた中大兄皇子(後の天智天皇)を御祭神とし、かるた(小倉百人一首)の殿堂として国内外から大勢の参拝者を集めている。下記の和歌のうち小倉百人一首の巻頭に詠われ、天智天皇の作と伝えられる和歌はどれか、次の①～④から一つ選びなさい。(3点)

- ①秋の田のかりほの庵の苫をあらみわが衣手は露にぬれつつ(正解)
- ②春すぎて夏来にけらし白妙の衣ほすてふあまの香具山
- ③田子の浦にうち出でてみれば白妙の富士の高嶺に雪は降りつつ
- ④あしびきの山鳥の尾のしだり尾のながながしよるをひとりかも寝む

【大問 17 問 2】(地理との融合問題)

鎌倉幕府滅亡に影響を与え、「建武の新政」を始めた後醍醐天皇も一時配流された空欄(b)に入る地名はどれか、次の①～④から一つ選びなさい。(3点)

- ①佐渡
- ②隠岐(正解)
- ③土佐
- ④伊豆

●融合問題に対する対策

2018年度の融合問題の難易度はそれほど高くはなかった。融合問題は、広く深い知識と教養が必要なので、特効薬はない。普段から、新聞、雑誌、テレビなどのアンテナを張っておくことが大切である。

●2019年度の対策

(1) 難問についての考え方

「難問は、受験者全員にとって難問なので、単に、平均点が下がるだけであって、合否には関係ない」と考えることが大切である。試験会場では、間違いの選択肢を消去法で一つ一つ消して、正解を絞り込むなどの手法で解答していけばよい。

試験場で、難問を見て、パニックを起こしたり、意気消沈したりする必要は全くなく、深呼吸でもして、冷静沈着に対応することが肝要である。

(2) 正答すべき問題できちんと得点ができるように、基本的な事項を固めることが最高の対策である。

(3) 本資料を試験の1分1秒前まで片時も離さず、繰り返し読み込んでいただきたい。

(4) 勤め先のパソコン上でも本資料を見ることができるよう設定し、仕事の合間に(仕事に優先して)資料を見て勉強していただきたい。

(5) 通勤、通学などのスキマ時間も貴重な勉強時間になる。創造的な勉強方法を期待したい。

(6) 何をするにも、時間は見つかるものではない。必要なら作るものだ。(チャールズ・バクストン)

You will never find time for anything. If you want time, you must make it.

● **日本で開催された(開催される)オリンピック**

- 第18回 東京オリンピック(1964年)
- 第11回 札幌冬季オリンピック(1972年)
- 第18回 長野冬季オリンピック(1998年)
- 第32回 東京オリンピック(2020年予定)

● **「百舌鳥・古市古墳群」が世界遺産に(大阪府)**

「百舌鳥・古市古墳群」が、2019年6月30日からアゼルバイジャンで開催される世界遺産委員会で登録が決定される見通しである。日本の23番目の世界遺産になる。

● **2024年に紙幣の肖像人物が変わる**

- 1万円札「日本資本主義の父」[渋沢栄一](#) 「論語と算盤」
- 5千円札「女性教育の先駆者」[津田梅子](#)
- 千円札「近代日本医学の父」[北里柴三郎](#)

● **何故、「天龍寺」が4回も出題されたのか？**

本尊は釈迦如来、開基(創立者)は足利尊氏、開山(初代住職)は[夢窓疎石](#)。足利将軍家と[後醍醐天皇](#)ゆかりの禅寺として[京都五山](#)の第一位とされてきた。「[古都京都の文化財](#)」として世界遺産に登録されている。庭園 - 特別名勝及び史跡の指定範囲は、前庭と方丈裏庭。前庭は、勅使門から放生池を経て法堂に至る境内中心部を指す。方丈裏庭は曹源池(そうげんち)を中心とした池泉回遊式庭園で、夢窓疎石の作庭。

● **最澄(766/767年～822年)**

2018年度は[空海](#)が出題された、2019年度は最澄か。

最澄は、平安時代の僧。日本の天台宗の開祖であり、[伝教大師](#)として広く知られる。近江国(滋賀県)に生れ。中国に渡って仏教を学び、帰国後、[比叡山延暦寺](#)を建てて[天台宗](#)の開祖となった。

● **阿弋流為(アテルイ)(?～802年)**

2018年度は[尚巴志](#)(琉球王国)が出題された、2019年度は阿弋流為か。

アテルイは、平安時代初期の[蝦夷](#)の軍事指導者。大墓公阿弋利爲(たものきみあてりい)。史料には「阿弋流爲」「阿弋利爲」とあり、それぞれ「あてりい」「あてりい」と読まれる。いずれが正しいか不明だが、現代では「アテルイ」と呼ばれる。陸奥国胆沢(現在の岩手県奥州市)へと侵出した[紀古佐美](#)率いる朝廷軍を[巢伏の戦い](#)で撃退したが、続く大伴弟麻呂、そして[坂上田村麻呂](#)率いる朝廷軍にたて続けて敗北。のち自ら降伏し、田村麻呂も助命を嘆願するが、京の公卿達の反対により河内国で処刑された。坂上田村麻呂が偉大な将軍として古代から中世にかけて様々な伝説を残したのに対し、アテルイはその後の文献に名を残さない。

● **「ワカタケル」(日本経済新聞小説)(池澤夏樹氏)**

第21代[雄略天皇](#)

埼玉県の[稲荷山古墳](#)出土の[金錯銘鉄剣銘](#)や熊本県の[江田船山古墳](#)出土の[銀象嵌鉄刀銘](#)に刻まれた「獲加多支鹵大王」を『記紀』に記された雄略の実名である「ワカタケル」と解し、実在の証とする説が有力。また『宋書』・『梁書』における「[倭の五王](#)」中の武にも比定され、以上のことから5世紀末頃に在位していた天皇と推測されている。島泉丸山古墳は、大阪府羽曳野市にある古墳。形状は円墳。古市古墳群を構成する古墳の1つ。実際の被葬者は明らかでないが、宮内庁により島泉平塚古墳と合わせて「[丹比高鷲原陵](#)」として第21代雄略天皇の陵に治定されている。

<日本経済新聞の紹介文>

日本最古の歴史書とされる「[古事記](#)」と「[日本書紀](#)」をベースにした小説です。主人公はワカタケル、すなわち第21代天皇「雄略」。激しい権力闘争と女たちとの仲、神々や怪物との行き来などを通じ、日本という国が形成される過程を描きます。

● **「小説伊勢物語 業平」(日本経済新聞夕刊小説)(高木のぶ子氏)**

今回の連載は、古典文学「[伊勢物語](#)」を平安時代を舞台とした小説としてよみがえらせる壮大な試みです。[在原業平](#)を主人公に125段からなる断片的な歌物語を縫い合わせ、一人の男の生涯を描き出します。作者にとって長年の秘めた願望だったという新たな挑戦となります。

●4回出題

★[天龍寺](#)(2015)(2016)(2017)(2018)

●3回出題

★[法隆寺](#)(2015)(2016)(2018)
 ★[中臣鎌足](#)(2015)(2016)(2018)
[持統天皇](#)(2016)(2017)(2018)
[平城京](#)(2015)(2016)(2018)
 ★[唐招提寺](#)(2015)(2016)(2017)
 ★[教王護国寺\(東寺\)](#)
 (2016)(2017)(2018)
 ★[弘法大師空海](#)
 (2016)(2017)(2018)
 ★[仁和寺](#)(2016)(2017)(2018)
[鎌倉時代](#)(2015)(2016)(2018)
 ★[足利尊氏](#)(2015)(2017)(2018)
 ★[足利義満](#)(2015)(2016)(2018)
 ★[徳川家康](#)(2015)(2017)(2018)
[伏見城](#)(2015)(2017)(2018)
 ★[関ヶ原の戦い](#)
 (2015)(2017)(2018)
 ★[依屋宗達](#)(2015)(2017)(2018)
 ★[廃仏毀釈](#)(2016)(2017)(2018)
 ★[福沢諭吉](#)(2016)(2017)(2018)

●2回出題

<人名>

★[推古天皇](#)(2015)(2018)
 ★[厩戸王\(うまやとおう\)](#)([聖徳太子](#))(2016)(2018)
 ★[中大兄皇子\(天智天皇\)](#)
 (2016)(2018)
[玄奘](#)(2017)(2018)
 ★[鑑真](#)(2015)(2017)
 ★[桓武天皇](#)(2016)(2018)
[嵯峨天皇](#)(2016)(2018)
 ★[菅原道真](#)(2015)(2017)
 ★[平清盛](#)(2015)(2017)
 ★[親鸞](#)(2016)(2017)
 ★[後醍醐天皇](#)(2017)(2018)
 ★[夢窓疎石](#)(2017)(2018)
 ★[足利義詮](#)(2015)(2016)
 ★[足利義政](#)(2015)(2018)
[今川義元](#)(2017)(2018)
 ★[豊臣秀吉](#)(2015)(2016)
 ★[織田信長](#)(2017)(2018)
[伊達政宗](#)(2016)(2018)
 ★[支倉常長](#)(2016)(2018)

[徳川家光](#)(2017)(2018)
[松尾芭蕉](#)(2017)(2018)
 ★[尾形光琳](#)(2015)(2018)
 ★[渡辺華山](#)(2015)(2018)
 ★[勝海舟](#)(2017)(2018)
[木戸孝允](#)(2015)(2017)
[大隈重信](#)(2015)(2018)
 ★[徳川慶喜](#)(2017)(2018)
[内村鑑三](#)(2016)(2018)
[夏目漱石](#)(2017)(2018)
 ★[新渡戸稲造](#)(2016)(2018)

<政治・外交>

★[大化の改新](#)(2016)(2018)
[唐](#)(2016)(2018)
[藤原京](#)(2016)(2018)
 ★[平安京](#)(2016)(2018)
 ★[遣唐使](#)(2015)(2017)
[高麗](#)(2015)(2018)
[宋](#)(2017)(2018)
[元](#)(2017)(2018)
 ★[元寇](#)(2016)(2018)
 ★[文永の役](#)(2016)(2018)
 ★[弘安の役](#)(2016)(2018)
[室町幕府](#)(2016)(2018)
[明](#)(2017)(2018)
 ★[応仁の乱](#)(2016)(2018)
 ★[厳島の戦い](#)(2015)(2017)
[安土城](#)(2015)(2018)
 ★[楽市楽座](#)(2017)(2018)
[太閤検地](#)(2017)(2018)
[南蛮貿易](#)(2015)(2018)
[朱印船貿易](#)(2015)(2016)
[江戸幕府](#)(2016)(2018)
 ★[島原の乱](#)(2017)(2018)
 ★[大政奉還](#)(2016)(2017)
 ★[地租改正](#)(2017)(2018)
[殖産興業](#)(2015)(2017)
 ★[富岡製糸場](#)(2015)(2017)
 ★[札幌農学校](#)(2016)(2018)

<寺・神社>

★[飛鳥寺](#)(2015)(2018)
 ★[四天王寺](#)(2016)(2018)
[伽藍配置](#)(2016)(2018)

[五重塔](#)(2016)(2018)
[金堂](#)(2016)(2018)
[講堂](#)(2016)(2018)
[中門](#)(2016)(2018)
[回廊](#)(2016)(2018)
[広隆寺](#)(2016)(2017)
[元興寺](#)(2015)(2016)
[法起寺](#)(2015)(2016)
 ★[興福寺](#)(2015)(2016)
 ★[薬師寺](#)(2015)(2016)
 ★[春日大社](#)(2015)(2017)
 ★[東大寺](#)(2015)(2016)
 ★[正倉院](#)(2015)(2016)
[橘寺](#)(2015)(2016)
 ★[比叡山延暦寺](#)(2017)(2018)
[室生寺](#)(2015)(2016)
[清水寺](#)(2015)(2016)
 ★[平等院](#)(2016)(2017)
[建仁寺](#)(2017)(2018)
 ★[金閣寺](#)(2016)(2018)
 ★[厳島神社](#)(2015)(2017)
 ★[鶴岡八幡宮](#)(2017)(2018)
 ★[石山本願寺](#)(2017)(2018)
 ★[大徳寺](#)(2015)(2017)
 ★[日光東照宮](#)(2015)(2017)

<宗教>

★[浄土宗](#)(2016)(2018)
 ★[浄土真宗](#)(2016)(2018)
[イエズス会](#)(2015)(2018)
[キリスト教](#)(2015)(2018)

<城・建築>

★[寝殿造](#)(2015)(2018)
 ★[小田原城](#)(2015)(2016)
[松本城](#)(2015)(2016)
[大坂城](#)(2017)(2018)
 ★[聚楽第](#)(2017)(2018)

<文化・その他>

★[北山文化](#)(2016)(2018)
 ★[武士道](#)(2016)(2018)
[高山](#)(2017)(2018)
[高山祭](#)(2015)(2018)

<人名>

光武帝(2016)
 ★物部守屋(2016)
 ★蘇我馬子(2016)
 ★蘇我蝦夷(2018)
 ★蘇我入鹿(2018)
 行基(2017)
 ★天武天皇(2016)
 ★元明天皇(2018)
 ★聖武天皇(2015)
 長屋王(2016)
 和氣清麻呂(2016)
 行信僧都(2016)
 ★伝教大師(2017)
 円仁(2017)
 ★坂上田村麻呂(2015)
 清和天皇(2015)
 天照大御神(2017)
 ★空也上人(2018)
 安倍晴明(2018)
 ★藤原道長(2017)
 ★藤原頼通(2016)
 ★定朝(2016)
 藤原清衡(2017)
 ★源頼朝(2018)
 建礼門院(2017)
 藤原信頼(2015)
 源義経(2018)
 源義朝(2015)
 北条氏(2018)
 高倉上皇(2017)
 ★北条義時(2018)
 ★安徳天皇(2016)
 那須与一(2018)
 源頼家(2018)
 ★北条時政(2018)
 一遍上人(2018)
 公暁(2018)
 ★北条政子(2018)
 ★後鳥羽上皇(2018)
 日蓮(2016)
 ★高德院(2017)
 ★狩野永徳(2018)
 狩野派(2018)
 フビライ=ハン(2018)
 ★新田義貞(2017)
 北条高時(2017)

観阿弥(2018)
 光明皇后(2016)
 ★楠木正成(2017)
 足利直義(2018)
 ★世阿弥(2018)
 北条早雲(2018)
 武田信玄(2018)
 海北友松(2018)
 ★長谷川等伯(2018)
 ★フランシスコ・ザビエル(2018)
 本阿弥光悦(2018)
 ★狩野山楽(2018)
 上杉謙信(2017)
 足利義昭(2018)
 崇伝(2018)
 浅井長政(2018)
 ★明智光秀(2017)
 徳川忠吉(2018)
 安国寺恵瓊(2015)
 高山右近(2016)
 隠元(2018)
 ★天海(2018)
 ★林羅山(2018)
 徳川秀忠(2018)
 池田輝政(2015)
 池田光政(2015)
 河村瑞賢(2015)
 沢庵(2018)
 田中勝介(2016)
 竹本義太夫(2018)
 ★近松門左衛門(2018)
 ★新井白石(2018)
 松平信綱(2018)
 井原西鶴(2018)
 ★徳川綱吉(2018)
 ★柳沢吉保(2018)
 ★前野良沢(2016)
 ★杉田玄白(2016)
 司馬江漢(2015)
 竹田出雲(2018)
 ★葛飾北斎(2017)
 田沼意次(2018)
 円山応挙(2016)
 二宮尊徳(2016)
 ラクスマン(2015)
 ★シーボルト(2016)
 ★歌川(安藤)広重(2017)

★伊能忠敬(2018)
 島津斉彬(2018)
 ★緒方洪庵(2016)
 佐久間象山(2016)
 ★クラーク(2016)
 高島秋帆(2016)
 新島襄(2018)
 ★フェノロサ(2016)
 ★吉田松陰(2017)
 久坂玄瑞(2017)
 ★高杉晋作(2017)
 森鷗外(2017)
 近藤勇(2017)
 ★西郷隆盛(2015)
 ★大久保利通(2015)
 ★孫文(2018)
 土方歳三(2017)
 ★渋沢栄一(2015)
 島崎藤村(2017)
 ★岡倉天心(2018)
 正岡子規(2018)
 山本作兵衛(2015)
 ★間宮林蔵(2018)
 犬養毅首相(2018)
 周恩来(2018)

<政治・外交>

★倭の奴国王(2016)
 日本国王(2016)
 後漢書東夷伝(2016)
 後漢(2016)
 高句麗(2015)
 百濟(2015)
 遣唐使(2018)
 ★白村江の戦い(2015)
 新羅(2015)
 唐の長安(2015)
 内裏(2015)
 香椎宮(2016)
 根本道場(2016)
 ★大宰府(2017)
 朝廷(2018)
 貞観・延喜格式(2018)
 防府天満宮(山口県)(2017)
 ★莊園(2018)
 南宋(2018)
 ★保元・平治の乱(2015)

福原遷都(2015)
★平家滅亡(2016)
御家人(2018)
★守護(2018)
★地頭(2018)
侍所(2018)
執権(2018)
★承久の乱(2018)
防塁(2016)
長崎県壱岐島(2016)
★蒙古襲来(元寇)(2018)
倭寇(2018)
隠岐(2018)
★建武の新政(2018)
建武式目(2018)
北朝・南朝(2018)
★守護大名(2018)
南北朝の合一(2016)
管領(2018)
★勘合貿易(日明貿易)(2018)
琉球王国(2018)
堺の会合衆による自治(2018)
南蛮人(2015)
★種子島(2017)
長崎県平戸島(2016)
駿河・遠江(2018)
政所(2018)
★戦国大名(2018)
大名(2018)
鳥取藩主(2015)
★桶狭間の戦い(2018)
★姉川の戦い(2018)
★長篠の戦い(2017)
刀狩令(2018)
対馬・壱岐(2018)
人掃令(2018)
九鬼水軍(2018)
治水事業(2016)
出島(2016)
徳川御三家(2018)
大坂夏の陣(2018)
★武家諸法度(2018)
長崎奉行(2016)
天領(2017)
馬籠宿(2017)
箱根関所(2017)
拔荷(2017)
兵農分離(2017)
★入鉄砲に出女(2017)
名古屋(尾張)藩(2018)

琉球藩(2018)
札所(2018)
薩摩(2018)
★参勤交代(2018)
謝恩使(2018)
琉球使節(2018)
★ポルトガル人来航禁止(2015)
慶安の変(由比正雪の乱)(2018)
赤穂事件(2018)
志賀島(2016)
函館市(2016)
松下村塾(2017)
★安政五力国条(2018)
★日米修好通商条約(2018)
桜田門外の変(2017)
★坂下門外の変(2017)
京都守護職(2018)
文久遣欧使節(2018)
奇兵隊(2017)
歩兵隊(2017)
天誅組の変(2017)
蛤御門の変(2017)
海援隊(2017)
★王政復古の大号令(2016)
甲陽鎮撫隊(2017)
★鳥羽・伏見の戦(2017)
★戊辰戦争(2017)
甲州勝沼の戦(2017)
彰義隊の戦い(2017)
会津戦争(2017)
白虎隊(2017)
★箱館戦争(2017)
大教宣布の詔(2016)
廃藩置県(2018)
内務省(2015)
国民皆兵(2017)
屯田兵(2018)
★日清戦争(2015)
清(2017)
★日露戦争(2018)

<寺・神社>
★伊勢神宮(2018)
熱田神宮(2017)
崇仏派(2016)
四天王寺式伽藍配置(2018)
大山祇神社(2016)
斑鳩宮跡(2016)
★巖島(宮島)(2017)
★夢殿(2016)

中宮寺(2018)
近江大津宮(大津市)(2018)
東塔(2016)
諏訪大社(2015)
★伏見稻荷大社(2015)
若狭神宮寺(2016)
石手寺(松山)(2018)
伝法堂(2016)
★西芳寺(2016)
★阿修羅像(2016)
屋島寺(高松)(2018)
櫛田神社(2017)
最澄(2017)
慈眼堂(2018)
★大猷院(2018)
輪王寺(2018)
清水の舞台(2015)
西大寺(2016)
長岡天満宮(2017)
中禅寺(2018)
妙法院(2017)
五大堂(2018)
善通寺(2018)
観心寺(2017)
★四国八十八ヶ所霊場(2018)
★高野山金剛峯寺(2018)
真言宗(2018)
神護寺(2016)
★中尊寺(2017)
★大覚寺(2016)
離宮嵯峨院(2016)
★太宰府天満宮(2017)
六波羅蜜寺(2018)
北野天満宮(2017)
阿弥陀堂(2016)
阿弥陀如来座(2016)
知恩院(2017)
★赤間神宮(2016)
東勝寺(2017)
高山寺(2016)
東福寺(2017)
★鎌倉大仏(2017)
★南禅寺(2017)
大徳寺唐門(2018)
妙心寺(2016)
等持院(2015)
★京都五山(2017)
★相国寺(2017)
★本能寺(2017)
二王門(仁王門)(2018)

阿弥陀寺(2016)
★西本願寺飛雲閣(2018)
★陽明門(2017)
日暮の門(2017)
★東照宮(2018)
大覚寺御影堂(2016)
大平寺(2015)
千本鳥居(2015)
大経堂(千畳閣)(2015)
近江神宮(2018)
塔頭寺院(2015)
堂塔(2015)
阿弥陀仏(2016)

<宗教>

国家鎮護(2016)
大仏開眼供養(2016)
式年遷宮(2017)
密教(2018)
天台宗(2018)
戒律(2015)
禅宗(2018)
臨濟宗(2018)
法然(2016)
法華宗(日蓮宗)(2016)
悪人正機説(2016)
般若心経(2016)
立正安国論(2018)
宣教師の国外追放(2015)
天正遣欧使節(2018)
★神仏分離令(2016)

<城・建築>

朱雀門(2015)
建築様式(2016)
禅宗様(2018)
紫雲閣(2018)
白鷺城(2015)
★姫路城(2015)
枯山水庭園(2018)
★竹田城(2016)
江戸城(2018)
春日山城(2016)
★千本鳥居(2015)
城郭建築(2018)
長浜城(2017)
亀山城(2017)
★犬山城(2015)
名護屋城跡(2016)
平戸城(2016)

江戸時代の大名庭園(2015)
小倉城(2015)
仙台城(2018)
高知城(2015)
★二条城(2017)
佐和山城(2017)
名古屋城(2018)
★桂離宮書院造(2015)
★彦根城(2017)
数寄屋造(2018)
修学院離宮(2015)
★兼六園(2015)

<文化・その他>

旧石器時代(2016)
★岩宿遺跡(2016)
縄文時代(2016)
竪穴住居(2016)
★土偶(2016)
弥生時代(2016)
★埴輪(2016)
★銅鐸(2016)
★古墳・遺跡(2016)
登呂遺跡(2016)
★吉野ヶ里遺跡(2016)
★古墳時代(2016)
箸墓古墳(2016)
★前方後円墳(2016)
★大仙陵古墳(2016)
和紙(2016)
石舞台(古墳)(2015)
国宝(2015)
古代律令時代(2018)
★古都奈良の文化(2015)
★古事記(2015)
奈良(2015)
奈良時代(2016)
★日本書紀(2016)
天平文化(2016)
御柱祭(2015)
山鉾行事(2015)
四方の星宿(四神)(2015)
続日本後紀(2017)
祇園祭(2015)
古今和歌集(2015)
国風文化(2015)
★源氏物語(2015)
土佐日記(2015)
高舞台(2015)
★古都京都の文化財(2018)

★小倉百人一首(2018)
平家納経(2015)
源平合戦の古戦場跡(2018)
耳なし芳一(2016)
平舞台(2015)
★永楽通宝(2018)
★蒙古襲来絵詞(2016)
★石見銀山(2017)
能楽の保護(2016)
観世座(2018)
明の銅銭(2018)
足利学校(2015)
羽黒山(2018)
博多湾(2018)
生野銀山(2017)
★鉄砲伝来(2015)
火縄銃(2017)
南蛮文化(2015)
姫路市(2015)
能舞台(2015)
堺の鉄砲職人や貿易商人(2018)
松林図屏風(2018)
智積院襖絵「楓図」(2018)
桃山文化(2018)
東廻り航路(2015)
西廻り航路(2015)
北前船(2015)
★五街道(2017)
東海道(2017)
中山道(2017)
甲州道中(街道)(2017)
佐渡金山(2017)
佐渡(2018)
江戸時代(2015)
★オランダ風説書(2016)
能(2018)
飛騨高山(2018)
眠り猫(2017)
色絵雛香炉(2018)
風神雷神図屏風(2018)
祭殿(2016)
幕末の三舟(2018)
人形浄瑠璃(2018)
曾根崎心中(2018)
葵祭(2015)
黒砂糖(2016)
★松島(2018)
出羽三山(2018)
琳派(2018)
大日本史(2018)

[★鳴滝塾\(2016\)](#)
[長崎港図\(2016\)](#)
[燕子花図屏風\(2018\)](#)
[★小江戸\(2018\)](#)
[仙台港\(2016\)](#)
[★西洋紀聞\(2016\)](#)
[帝釈天像\(2016\)](#)
[★ターヘル=アナトミア\(2016\)](#)
[★解体新書\(2016\)](#)
[夏秋草図屏風\(2015\)](#)
[★蘭学階梯\(2016\)](#)
[芝蘭堂\(2016\)](#)
[★ハルマ和解\(2016\)](#)

[萩\(2017\)](#)
[浮世絵\(2017\)](#)
[★富嶽三十六景\(2017\)](#)
[蘭学\(2016\)](#)
[陸援隊\(2017\)](#)
[★東海道五十三次\(2017\)](#)
[適々斎塾\(適塾\)\(2016\)](#)
[★反射炉\(2016\)](#)
[葦山\(2016\)](#)
[造船所\(2016\)](#)
[甲州道中膝栗毛\(2017\)](#)
[★西洋事情\(2018\)](#)
[★学問のすゝめ\(2018\)](#)

[文明開化\(2017\)](#)
[尾県学校\(2015\)](#)
[商法講習所\(2015\)](#)
[開智学校\(2015\)](#)
[札幌市時計台\(2016\)](#)
[★富岡製糸場\(世界遺産\)\(2015\)](#)
[三菱長崎造船\(2017\)](#)
[中国の大冶鉱山\(2015\)](#)
[関東大震災\(2018\)](#)
[根津美術館\(2018\)](#)
[★東京国立博物館\(2018\)](#)
[九州国立博物館\(2016\)](#)
[日本遺産\(2016\)](#)

「写真・地図問題」、「世界遺産関連問題」、「寺神社関連問題」が合否のカギ

ガイドラインの「内容は、地図や写真を使った問題を中心としたものとする」に従ったものと考えられるが、2015年度、2016年度、2017年度、2018年度には、「写真・地図問題」が多数出題された。

また、ジャンル別では、「寺神社関連問題」と「[世界遺産](#)関連問題」が多数出題された。

●「写真・地図問題」

2015年度には12題(59点)、2016年度には17題(64点)、2017年度には17題(100点)、2018年度には32題(81点)の「写真・地図問題」が出題された。

●「寺神社関連問題」

2015年度には8題(33点)、2016年度には10題(31点)、2017年度には8題(27点)、2018年度には12題(29点)の「寺神社関連問題」が出題された。

●「[世界遺産](#)関連問題」

2015年度には9題(41点)、2016年度には5題(10点)、2017年度には7題(38点)の「[世界遺産](#)関連問題」が出題された。2018年度には、世界遺産関連問題は出題されなかったが、世界遺産関連問題には要注意。

●対策

2019年度も、この傾向は引き継がれる可能性が高い。

写真対策としては、[＜FlashcardsDeluxe＞](#)(暗記カードアプリ)の日本歴史にでる写真(138枚)が有効である。

●＜FlashcardsDeluxe＞(暗記カードアプリ)を使い倒せ！

<http://blog.goo.ne.jp/gu6970/e/5453925522e7fc930961b9911dac446a>

2015年度、2016年度、2017年度、2018年度に出題された「写真・地図問題」の内容と配点

●2015年度(写真問題12題(全体100点のうち59点)(但し、写真必須な問題はゼロ)

【大問1】(1)問2:興福寺(2点)([世界遺産](#)1998)([古都奈良の文化財](#))

【大問1】(1)問3:東大寺・大仏殿(2点)([世界遺産](#)1998)([古都奈良の文化財](#))

【大問1】(1)問4:唐招提寺(2点)([世界遺産](#)1998)([古都奈良の文化財](#))

【大問1】(2)問4:高舞台(厳島神社)(3点)([世界遺産](#)1996)([厳島神社](#))

【大問1】(3)問1:姫路城(6点)([世界遺産](#)1993)([姫路城](#))

【大問1】(3)問4:富岡製糸場(9点)([世界遺産](#)2014)([富岡製糸場と絹産業遺産群](#))

【大問1】(4)問4:富岡製糸場の錦絵(5点)([世界遺産](#)2014)([富岡製糸場と絹産業遺産群](#))

【大問2】(1):慈照寺(6点)([世界遺産](#)1994)([古都京都の文化財](#))

【大問2】(2):達谷窟毘沙門堂(6点)

【大問2】(3):八坂神社(6点)([祇園祭が世界無形文化遺産](#)2016)([山・鉾・屋台行事](#))

【大問2】(4):伏見稻荷大社(6点)

【大問2】(5):桂離宮(6点)

・寺神社の占める割合:12問中8問で、67%。

・[世界遺産](#)が8個。

・[世界無形文化遺産](#)が1個。

●2016年度(写真問題17題、地図問題1題の合計18題(全体100点のうち64点)

【大問1】(1):法隆寺夢殿(2点)([世界遺産](#)1993)([法隆寺地域の仏教建造物](#))

【大問1】(2):薬師寺(2点)([世界遺産](#)1998)([古都奈良の文化財](#))

【大問1】(3):東大寺正倉院(2点)([世界遺産](#)1998)([古都奈良の文化財](#))

【大問1】(4):阿修羅像(興福寺)(2点)

【大問1】(5):教王護国寺(東寺)(2点)

【大問1】(6):平等院(鳳凰堂)(2点)([世界遺産](#)1994)([古都京都の文化財](#))

【大問1】(7):大覚寺(2点)([世界遺産](#)1994)([古都京都の文化財](#))

- 【大問1】(8): [四天王寺](#) (2点)
- 【大問1】(9): [赤間神宮](#) (6点)
- 【大問1】(10): [札幌市時計台](#) (7点)
- 【大問1】(11)問4: [神宮寺\(若狭神宮寺\)](#) (9点)
- 【大問2】(1): (A)銅鐸、(B)埴輪、(C)土偶 (2点×9=18点) (←写真必須)
- 【大問2】(5): [蒙古襲来絵詞](#) (6点)
- 【大問2】(8): [長崎港図](#) ([丸山応挙](#)) (3点)
- 【大問2】(9): [支倉常長の肖像画](#) (9点)

- ・寺神社の占める割合: 18問中9問で、50%。
- ・[世界遺産](#)が5個。

●2017年度(写真問題16題、地図問題2題の合計17題(全体100点のうち100点))

- (1): [鎌倉大仏\(高德院\)](#) (4点)
- (2): [富岡製糸場](#) (11点) (世界遺産2014) ([富岡製糸場と絹産業遺産群](#))
- (3): [伊勢神宮](#) (6点)
- (4): [仁和寺五重塔](#) (3点)
- (5): [二条城](#) (3点) (世界遺産1994) ([古都京都の文化財](#))
- (6): [唐招提寺](#) (3点) (世界遺産1998) ([古都奈良の文化財](#))
- (7): [萩](#) (6点) (世界遺産2015)(明治日本の産業革命)
- (8): [会津若松城](#) (5点)
- (9): [織田信長](#) (7点)
- (10): [五街道\(地図と写真問題\)](#) (12点) (←写真必須)
- (11): [中尊寺金色堂](#) (3点)
- (12): [彦根城](#) (4点)
- (13): [天龍寺](#) (8点) (世界遺産1994) ([古都京都の文化財](#))
- (14): [厳島\(宮島\)](#) (3点) (世界遺産1996)(厳島神社)
- (15): [大宰府天満宮](#) (8点)
- (16): [石見銀山](#) (地図問題) (4点) (世界遺産2007) ([石見銀山遺跡とその文化的景観](#))
- (16): [倉敷](#) (地図問題) (4点)
- (17): [ザビエル](#) (6点)

- ・寺神社の占める割合: 17問中7問で、41%。
- ・世界遺産が7個。

●2018年度(写真問題18題、地図問題1題、図表問題1題の合計20題(全体100点のうち81点))

- (1): [札幌](#) (写真: 札幌市内) (8点)
- (2): [瑞巖寺](#) (写真: [瑞巖寺五大堂](#)) (3点)
- (3): [出羽三山](#) (写真: [羽黒山の五重塔](#)) (3点)
- (4): [日光の輪王寺](#) (写真: 輪王寺本堂) (6点)
- (5): [小江戸](#) (地図: [栃木、川越、佐原の場所を指定](#)) (8点) (←写真必須)
- (6): [東京駅](#) (写真: 丸の内側からの夜景) (3点)
- (7): [江戸城](#) (写真: [皇居東御苑](#)入口) (3点)
- (8): [横浜](#) (写真: [横浜大世界アトリックミュージアム](#)) (6点)
- (9): [鎌倉の鶴岡八幡宮](#) (写真: 本殿に続く大階段) (3点)
- (10): [飛騨高山](#) (写真: 市内の古い街並み) (3点)
- (11): [名古屋\(尾張\)藩](#) (写真: [名古屋城](#)) (3点)
- (12): [空海](#) (写真: [高野山金剛峰寺](#)) (8点)
- (13): [四天王寺](#) (写真: 四天王寺、図表: [四天王寺式伽藍配置](#)) (6点)
- (14): [近江神宮\(天智天皇\)](#) (写真: [楼門](#): 二階建てで上部に屋根をもつ門) (3点)
- (15): [琉球王国](#) (写真: 復元された[首里城](#)) (3点)
- (16): [元禄文化](#) (写真: [曾根崎お初天神通り商店街](#)) (6点)
- (18): [室町時代](#) (写真: [金閣寺](#)、[銀閣寺](#)) (6点)

- ・寺神社の占める割合: 40問中12問で、30%。

●以上、まとめると次のようになる。

年度	写真問題	地図問題	寺神社問題	世界遺産	京都の文化遺産	奈良の文化遺産	世界文化遺産	点数
2015年度	12	0	8	8	1	3	1	59点/100点
2016年度	17	1	9	5	2	2	0	64点/100点
2017年度	16	2	7	7	2	1	0	100点/100点
2018年度	18	1	12	0	0	0	0	81点/100点

●写真・地図問題の出題傾向と予想

- (1)2019年度も写真・地図問題が、18題程度出題されるだろう。
- (2)うち、寺神社問題が、10～12題程度出題されるだろう。
- (3)うち、世界遺産問題が、7～8題出題されるだろう。
- (4)「京都の文化遺産」「奈良の文化遺産」が、3～4題出題されるだろう。
- (5)「奈良の文化遺産」で、東大寺(大仏殿(2015)、正倉院(2016))、唐招提寺(2015)(2017)が、それぞれ、各2回出題されている。出題者は、奈良がお好きなようである。

- ・札幌(2018)
- ・札幌市時計台(2016)
- ・瑞巖寺(2018)
- ・出羽三山(2018)
- ・日光の輪王寺(2018)
- ・小江戸(2018)
- ・東京駅(2018)
- ・江戸城(2018)
- ・横浜(2018)
- ・鎌倉の鶴岡八幡宮(2018)
- ・飛騨高山(2018)
- ・名古屋城(2018)
- ・空海(2018)
- ・四天王寺伽藍(2018)
- ・四天王寺五重塔(2016)
- ・近江神宮(2018)
- ・首里城(2018)
- ・曾根崎お初天神通り商店街(2018)
- ★慈照寺銀閣(足利義政)(2007)(2015)(2018)
- ★慈照寺東求堂(2008)(2015)
- ★鹿苑寺金閣(2018)
- ★天龍寺(2008)(2010)(2016)(2017)
- ★富岡製糸場(2015)(2017)
- ★唐招提寺(金堂)(2011)(2015)(2016)(2017)
- ★二条城(2009)(2011)(2017)
- ★大宰府天満宮(2009)(2011)(2017)
- ★中尊寺金色堂(藤原清衡)(2009)(2017)
- ★伊勢神宮(2017)
- ・仁和寺五重塔(2017)
- ★巖島神社(2008)(2015)(2017)
- ・鎌倉大仏(2017)
- ・会津若松城(2017)
- ・彦根城(2017)
- ★石見銀山(2017)
- ★唐招提寺(2017)
- ・萩(2017)
- ・会津若松城(2017)
- ★姫路城(2015)
- ・織田信長(2017)
- ・五街道(2017)
- ・彦根城(2017)
- ・倉敷(2017)
- ・ザビエル(2017)
- ★平等院鳳凰堂(阿弥陀如来像)(定朝)(藤原頼通)(2006)(2007)(2010)(2012)(2016)
- ・土偶(縄文時代)(2016)
- ・銅鐸(弥生時代)(2016)
- ・埴輪(古墳時代)(2016)
- ★法隆寺夢殿(2016)
- ★法隆寺金堂釈迦三尊像(鞍作鳥)(2006)
- ★法隆寺金堂(2009)(2011)
- ★法隆寺金堂壁画(2010)
- ★法隆寺救世観音像(2007)
- ★法隆寺百済観音像(2007)
- ★東大寺大仏殿(2015)
- ★東大寺正倉院(2011)(2016)
- ★東大寺南大門(重源)(2006)
- ★東大寺正倉院鳥毛立女屏風(とりげりつじよ)(2009)(2010)
- ★東大寺三月堂(2011)
- ★桂離宮(2012)(2013)(2015)
- ★清水寺(2009)(2016)
- ★西芳寺(苔寺)(2016)
- ★京都八坂神社(祇園祭)(2015)
- ★伏見稻荷大社(千本鳥居)(2015)
- ★春日大社(2012)
- ★平安神宮(2010)
- ★三十三間堂(2010)
- ★中宮寺天寿国繍帳(2010)(2011)(2013)
- ★中宮寺半跏思惟像(2010)
- ★広隆寺半跏思惟像(2009)
- ★広隆寺(2016)
- ★日光東照宮陽明門(2009)
- ★聚楽第(2011)
- ★五稜郭(2011)
- ★東海道五十三次(歌川広重)(2007)
- ★富嶽三十六景(葛飾北斎)(2007)
- ・若狭神宮寺(2016)
- ★薬師寺金堂(2016)
- ・興福寺(阿修羅像)(2011)(2016)
- ・興福寺仏頭(2008)
- ・赤間神宮(2016)
- ・教王護国寺(東寺)(2016)
- ・大覚寺(御影堂)(2016)
- ・鳥獣戯画(鳥羽僧正)(2008)
- ・蒙古襲来絵詞(2014)(2016)
- ・支倉常長の肖像画(2016)
- ・長崎港図(丸山応挙)(2016)
- ・悲母観音(狩野芳崖)(2006)
- ・見返り美人図(菱川師宣)(2006)
- ・池畔納涼(黒田清輝)(2007)
- ・興福寺(2015)
- ・達谷窟毘沙門堂(たつこくのいわや)(2015)
- ・荒神谷遺跡(こうじんだにいせき)(2014)
- ・空也上人像(2014)
- ・黒き猫(菱田春草)(2014)
- ★東京国立博物館(2014)
- ★鑑真和上像(唐招提寺)(2013)
- ・大仙院庭園(大徳寺)(2013)
- ・麗子微笑(岸田劉生)(2013)
- ・瓢鮎図(ひょうねんず)(如拙)(妙心寺退院)(2008)(2012)
- ・収穫(浅井忠)(2012)
- ・仏涅槃図(高野山)(2011)
- ・三菱一号館(2011)
- ・ニコライ堂(2010)
- ・雪松図屏風(丸山応挙)(2010)
- ・秋冬山水図(雪舟)(2009)
- ・風雲雷神図屏風(俵屋宗達)(2009)
- ・松林図屏風(長谷川等伯)(2011)
- ★洛中洛外図屏風(2010)
- ・鷹見泉石像(渡辺崋山)(2008)
- ★西本願寺飛雲閣(2008)
- ・上賀茂神社(2008)
- ・三仏寺投入堂(2007)
- ・弾正台(2011)
- ・花沢館(2011)
- ・当麻寺当麻曼荼羅(2010)(2011)
- ・神護寺金堂薬師如来像(2010)
- ★高松塚古墳壁画(2010)
- ・室生寺釈迦如来像(2010)
- ・法華寺十一面観音像(2010)
- ・観心寺如意輪観音像(2010)
- ・赤坂離宮(2010)
- ・下鴨神社(2009)
- ・醍醐寺三宝院(2008)
- 以下、ハロー一注意報発令!
- ★薬師寺東塔
- ★薬師寺薬師三尊像
- ★東大寺南大門金剛力士像
- ★東大寺不空索観音像
- ★円覚寺舎利殿(禅宗様)
- ★竜安寺石庭
- ★修学院離宮
- ★臼杵磨崖仏(大分県)
- ★紅白梅図屏風(尾形光琳)
- ★弾琴美人(鈴木春信)
- ★龍虎図(橋本雅邦)

●出題されたもの

- (1)慈照寺(銀閣寺) (2015) (2018)
- (2)清水寺(2016)
- (3)教王護国寺(東寺) (2016)
- (4)仁和寺(2016)
- (5)平等院・鳳凰堂(2016)
- (6)高山寺(2016)
- (7)西芳寺(別称・苔寺) (2016)
- (8)天龍寺(2017)
- (9)二条城(2017)
- (10)鹿苑寺(金閣寺) (2018)

●まだ出題されていないもの

- (11)★龍安寺(石庭が有名)
- (12)★延暦寺
- (13)★西本願寺(本願寺)
- (14)★醍醐寺
- (15)賀茂別雷神社(上賀茂神社)
- (16)賀茂御祖神社(下鴨神社)
- (17)宇治上神社



西本願寺



醍醐寺



教王護国寺(東寺)

●平安時代から江戸時代までの文化が引き継がれている京都

古都京都は延暦13年(794年)、中国の都城を規範に、日本の首都・平安京として建設され、平安時代から江戸時代まで1000年の長きにわたり繁栄してきた。世界遺産に登録されている資産は、いずれも芸術的価値が高く、建造物38棟が国宝に、建造物160棟が重要文化財に、庭園8箇所が特別名勝に、庭園4箇所が名勝に指定されている。 ※794年の覚え方: 鳴くよ(794)ウグイス平安京

●平安時代から1000年の建造物群が創建当初に近い姿で保存されている

創建当時の建造物は、しばしば発生した大火や兵火のため、相当部分を焼失したが、再建をくり返し、現在も日本文化の象徴として守られている。

時代の荒波にほんろうされながらも、創建当初に近い姿で保存され、外国からの侵略を受けなかったことから異文化による破壊がなく、第二次世界大戦でも空襲をまぬかれ、世界遺産への登録につながった。

●出題されたもの

- (1)[唐招提寺](#) (2015) (2017)
- (2)[興福寺](#) (2015)
- (3)[東大寺・大仏殿](#) (2015)
- (4)[東大寺・正倉院](#) (2016)
- (5)[薬師寺](#) (2016)

(6)[春日大社](#) (2015)

(9)[春日山原始林](#) (2015)

(10)平城宮跡

●まだ出題されていないもの

(12)[元興寺](#)



●奈良時代の都市の様子を知ることができる貴重な史料

古都奈良は同和3年(710年)、唐の長安を規範に日本の首都・[平城京](#)として建設された。その後74年間、政治、経済の中心地であり、同時代に花開いた天平文化の中心地となった。[世界遺産](#)に登録されている資産は、個別に評価されたのではなく、8資産全体で奈良時代の都市の様子を知ることができる貴重な史料として評価されたもの。※710年の覚え方:[なんと\(710\)](#)美しい[平城京](#)

●この時代の木造建造物は世界史的にも重要

[世界遺産](#)に登録されている資産のうち、建造物群25棟が[国宝](#)、53棟が[重要文化財](#)に、[平城宮跡](#)が[特別史跡](#)に、[春日山原始林](#)が[特別天然記念物](#)に指定されている。この時代の木造建造物は、中国や朝鮮半島に残っていないことから世界史的にも重要とされている。

【世界遺産とは】

世界遺産(World Heritage)とは、1972年のユネスコ総会で採択された「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」(世界遺産条約)に基づいて世界遺産リストに登録された、遺跡、景観、自然など、人類が共有すべき「顕著な普遍的価値」をもつ物件のことで、移動が不可能な不動産やそれに準ずるものが対象となっている。日本では、文化遺産 18 件、自然遺産 4 件の合計 22 件が登録されている。(2019年6月現在)

【文化遺産】(Cultural Heritage)(計 18 件)

- (1)★法隆寺地域の仏教建造物(奈良県)(1993年登録)(「夢殿」2016)
- (2)★姫路城(兵庫県)(1993年登録)(2015)
- (3)★古都京都の文化財(京都府、滋賀県)(1994年登録)
(「慈照寺」2015)(「平等院鳳凰堂」「大覚寺」2016)(「二条城」「天龍寺」2017)
- (4)白川郷・五箇山の合掌造り集落(岐阜県、富山県)(1995年登録)
- (5)原爆ドーム(広島県)(1996年登録)
- (6)★厳島神社(広島県)(1996年登録)(「高舞台」2015)(2017)
- (7)★古都奈良の文化財(奈良県)(1998年登録)
(「唐招提寺」「興福寺」「東大寺大仏殿」2015)(「薬師寺」「東大寺正倉院」2016)(「二条城唐招提寺」2017)
- (8)★日光の社寺(栃木県)(1999年登録)(2015)
- (9)琉球王国のグスク及び関連遺産群(沖縄県)(2000年登録)
- (10)★紀伊山地の霊場と参詣道(奈良県、和歌山県、三重県)(2004年登録)
- (11)石見銀山遺跡とその文化的景観(島根県)(2007年登録)(2017)
- (12)★平泉－仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群(岩手県)(2011年)
- (13)★富士山－信仰の対象と芸術の源泉(山梨県、静岡県)(2013年)
- (14)富岡製糸場と絹産業遺産群(群馬県)(2014年登録)(「錦絵」2015)(2017)
- (15)明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業(2015年登録)(「萩」2017)
- (16)ル・コルビュジェの建築作品－近代建築への顕著な貢献(国立西洋美術館＝東京都)(2016年登録)
- (17)★『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群(2017年登録)
- (18)★「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」(長崎、熊本両県)(2018年7月登録)

【自然遺産】(Natural Heritage)(計 4 件)

- (1)屋久島(鹿児島県)(1993年登録)
- (2)白神山地(青森県、秋田県)(1993年登録)
- (3)知床(北海道)(2005年登録)
- (4)小笠原諸島(東京都)(2011年登録)

※覚え方⇒(小笠原君が、屋久杉の前で、白装束で、『知床旅情』を歌った。)

※「日本の世界遺産」詳しくは、下記をご覧ください。

<http://nihon-sekaisan.com/>

【百舌鳥・古市古墳群】

「百舌鳥・古市古墳群」(大阪府)が、2019年6月30日からアゼルバイジャンで開催される世界遺産委員会で登録が決定される見通しである。

百舌鳥・古市古墳群は、古墳時代の最盛期(4世紀後半から5世紀後半)にかけて築造された、古代日本列島の王たちの墓群であり、古代日本の政治文化の中心地のひとつであり、大陸に向かう航路の出発点であった大阪平野に位置している。墳丘の長さおよそ500mにおよぶものをはじめとする、世界でも独特な鍵穴型の前方後円墳が多数集まり、これらと多数の中小墳墓が密集して群を形成している。

本資産の古墳には、前方後円墳、帆立貝形墳、円墳、方墳という4種類があり、これらの型式は、日本列島各地の古墳の規範となった標準化されたものだった。世界各地の多くの墳墓の墳丘が棺や室に盛土・積石しただけのものであるのに対して、古墳の墳丘は葬送儀礼の舞台として幾何学的なデザインを施し、埴輪などの土製品で飾り立てた建築的な傑作である。本古墳群は、古代中央集権国家が成立する直前の時代にあって、激動する東アジア情勢への対応として展開した、墳墓によって権力を象徴した日本列島の人々の歴史を物語る顕著な証左でもある。本資産は、古墳時代において、社会階層の違いを示唆する高度に体系だった葬送文化が存在し、古墳築造が社会の秩序を表現していたことを物語っている。また本資産は、各地の古墳群が形づくる階層構造の頂点に位置し、列島一円の古墳群の群構成の規範となったものであった。

出題が予想される「世界遺産」

●まだ出題されていない下記は要注意である。(重要度順)



(1)★『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産



(2)★富士山—信仰の対象と芸術の源泉



(3)★日光の社寺(東照宮陽明門)



(4)★平泉(中尊寺金色堂)



(5)★白川郷合掌造り集落



(6)★ル・コルビュジエの建築作品
(国立西洋美術館)

(7)長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産

(8)琉球王国のグスク及び関連遺産群

(9)紀伊山地の霊場と参詣道

(10)原爆ドーム

日本の無形文化遺産

【無形文化遺産とは】

無形文化遺産 (Intangible Cultural Heritage) とは、ユネスコの事業の一つ。

同じくユネスコの事業である世界遺産が建築物などの有形の文化財の保護と継承を目的としているのに対し、民族文化財、フォークロア、口承伝統などの無形のもの(無形文化財)を保護対象とすることを旨としたものである。日本では、合計 21 の無形文化遺産が登録されている。(2019 年 6 月現在)

無形文化遺産は、「日本歴史」の科目ではまだ出題されたことはないが、「世界遺産」が頻出されていることを考えると、今後、出題されても不思議ではない。

●文化庁の無形文化遺産紹介についてのサイト:

http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/mukei_bunka_isan/

(1)能楽(2001 年登録)

(2)人形浄瑠璃文楽(2003 年登録)

(3)歌舞伎(2005 年登録)

(4)雅楽(2009 年登録)

(5)小千谷縮・越後上布(2009 年登録)

(6)奥能登のあえのこと(2009 年登録)

(7)早池峰神楽(2009 年登録)

(8)秋保の田植踊(2009 年登録)

(9)チャッキラコ(2009 年登録)

(10)大日堂舞楽(2009 年登録)

(11)題目立(2009 年登録)

(12)アイヌ古式舞踊(2009 年登録)

(13)組踊(2010 年登録)

(14)結城紬(2010 年登録)

(15)佐陀神能(2011 年登録)

(16)壬生の花田植(2011 年登録)

(17)那智の田楽(2012 年登録)

(18)和食日本人の伝統的な食文化(2013 年登録)

(19)和紙(石州半紙)(2009 年登録)、本美濃紙(美濃和紙)、細川紙(小川和紙)(2014 年登録)

(20)山・鉾・屋台行事(18 府県の計 33 件)(2016 年登録)

(21)来訪神:仮面・仮装の神々(2018年登録)

●ウィキペディアの説明

宗像三女神(むなかたさんじょしん)は、宗像大社(福岡県宗像市)を総本宮として、日本全国各地に祀られている三柱(みはしら)の女神の総称である。記紀(古事記、日本書紀のこと)に於いてアマテラスとスサノオの誓約(うけい)で生まれた女神らで宗像大神(むなかたのおおかみ)、道主貴(みちぬしのむち)とも呼ばれ、あらゆる「道」の最高神として航海の安全や交通安全などを祈願する神様として崇敬を集めている。

※神は柱に降りて来ると考えられるので、神のことを柱で数えます。三柱とは、三つの神様のこと。

●宗像三女神の別称は「道主貴」

宗像三女神は、「道主貴(みちぬしのむち)」という別称を持っています。

「貴(むち)」という尊称は、最も高貴な神にのみ贈られるもので、「貴」が付く別称を持つのは、宗像三女神と、伊勢神宮の大日靈貴(おおひるめのむち/天照大御神)、出雲大社の大己貴(おおなむち/大国主命)のみとなっています。このことから、宗像大社が、伊勢神宮や出雲大社と並んで、古くから、皇室や人々から厚く信仰されていたことがわかります。

●誓約(うけい)とは

誓約(うけい)とは、お互いに譲れないことがあった時に、どちらが正しいかを占うことで、賭けに勝った方が正しいことになります。

アマテラスとスサノオは、生んだ神の性別でどちらが正しいかを占うことにしました。アマテラスはスサノオの剣を受け取ると、バキボキと素手で3つに折りにし、井戸水で清め、口に含んでバリバリと噛み砕いた。そして『ふーっ』と吹き出すと、霧のような吐息の中から三人の女神が生まれてきました。これが、宗像三女神と呼ばれる航海の神々です。

●「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議の説明(1)

日本列島と朝鮮半島を結ぶ海域に荘厳な姿を現す沖ノ島。人々は古来、その島の神を敬い、畏れ、航海安全の祈りを捧げてきました。国宝に指定された神への奉獻品はおよそ八万点。

立ち入りさえも許さない厳格な禁忌(きんき)は、五百年間にも及ぶ古代祭祀(さいし)の跡を千年以上手つかずで守り伝えてきました。

沖ノ島への信仰を起源とする宗像三女神(むなかたさんじょしん)への信仰が受け継がれてきた沖ノ島、大島、九州本土の宗像大社三宮(むなかたたいしゃ)、遙か彼方に沖ノ島を望む大島の沖津宮遙拝所(おきつみやうはいじよ)、信仰の伝統を築いた人々が眠る新原・奴山古墳群(しんばる・ぬやまこふんぐん)。

●「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議の説明(2)

世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群とは？

九州本土から約60km離れた沖ノ島と、大島および九州本土に位置するその関連遺産群は、古代から現在まで発展し継承されてきた、神聖な島を崇拝する文化的伝統の顕著な物証です。

沖ノ島には、日本列島、朝鮮半島および中国大陸の諸国間の活発な交流に伴い、4世紀後半から9世紀末まで続いた、航海安全に関わる古代祭祀遺跡が残されています。

古代豪族の宗像氏は、沖ノ島に宿る神への信仰から、宗像三女神信仰を育みました。

沖ノ島は三女神をまつる宗像大社の一部として、島にまつわる禁忌や遥拝の伝統とともに、今日まで神聖な存在として継承されてきました。

●「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議の説明(3)

『古事記』『日本書紀』によれば、三女神は天照大神(あまてらすのおおみかみ)と素戔鳴尊(すさのおのみこと)の誓約(うけい)のもとに誕生し、天照大神の神勅(しんちよく)によって、大陸との交通の要路にあたる「海北道中(かいほくどうちゅう)」(宗像より朝鮮半島に向かう古代海路)に降臨し、以降、国家の守護神として崇敬されています。

また、「日本書紀」には、宗像三女神が「道主貴(みちぬしのむち)」、すなわち国民のあらゆる道をお導きになる最も尊い神として崇敬を受けていたことが記されています。「貴」とは最も高貴な神に贈られる尊称です。

道主貴(※宗像三女神)以外には、伊勢神宮の大日靈貴(おおひるめのむち)(※天照大神)、出雲大社の大己貴(おおなむち)(※大国主命)のみですので、宗像三女神が皇室をはじめ人々からいかに篤い崇敬を受けられていたかがうかがえます。

●宗像三女神

宗像大社 沖津宮(おきつみや・おきつぐう)(沖ノ島):(長女神)田心姫神(たごりひめのかみ)

宗像大社 中津宮(なかつみや・なかつぐう)(大島):(次女神)湍津姫神(たぎつひめのかみ)

宗像大社 辺津宮(へつみや・へつぐう)(九州本土):(三女神)市杵島姫神(いちきしまひめのかみ)

日本の八百万の神々の中でも唯一の三姉妹の女神で、いずれも美人として知られています。田心姫は「多紀理姫(たぎりひめ)」、湍津姫は「多岐都姫(たぎつひめ)」ともいい、これらは「潮流が速く激しい様子」を表す言葉です。また、「市杵島」は、「神霊を斎(いつ)き祀る島」、つまり「神を祀り神に仕える島」という意味で、広島県・宮島の厳島神社の社名の由来になったとも言われています。宗像三女神は、人々に恵みをもたらす一方で、危険な一面も持つ海の神秘的な力が神格化されたもので、神霊を鎮め、航海の安全や豊漁を祈願するために全国に祀られました。宗像三女神を祀る神社は、全国に7,000余社、あるいは8,500社あるとも言われ、これは日本で5番目という多さです。宗像大社は、これらの神社の総本社となっています。



三カ所の祭祀遺跡

●「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議のホームページ

<http://www.okinoshima-heritage.jp/>

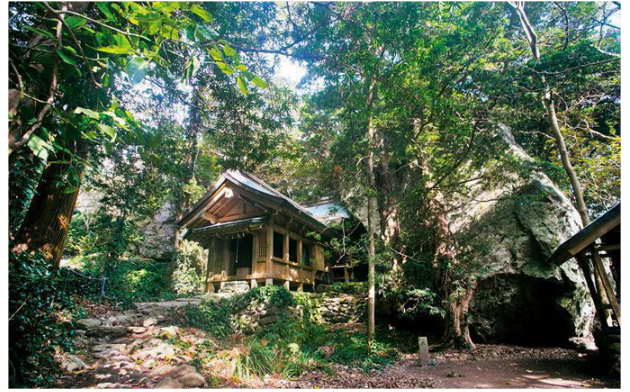
●宗像大社のホームページ

<http://www.munakata-taisha.or.jp/index.html>

宗像大社(沖津宮・中津宮・辺津宮)



沖ノ島



宗像大社 沖津宮(沖ノ島)



宗像大社 中津宮大社(大島)



宗像大社 辺津宮社殿(九州本土)



宗像大社 沖津宮遥拝所(大島の北側)



古代宗像氏の墳墓群(新原・奴山古墳群)(九州本土)

宗像大社(沖津宮・中津宮・辺津宮)の歴史

●古墳時代(4世紀(300年代)後半)

倭(ヤマト王権)と百済(朝鮮半島)との交易が活発になり、沖ノ島の巨岩群の周辺で、航海の安全や交流の成就を祈る大規模な祭祀が行われるようになる。

巨岩の上で始まった祭祀は、初めは岩と岩とが重なる隙間に奉獻品を並べて祈祷をするスタイルでしたが、5世紀(400年代中頃)には、大石を石で四角く囲って祭壇を造るようになりました。

さらに5世紀後半になると、祭祀の会場は巨岩の上から屋根の庇(ひさし)のように突き出した巨岩の陰へと移りました。

●飛鳥時代(7世紀(600年代)後半)

沖ノ島で行われていた祭祀が、大島の御嶽山(みたけさん/224m)(御嶽山祭祀遺跡)や九州本土の宗像山(下高宮祭祀遺跡)でも営まれるようになる。この頃になると、岩陰で行われていた沖ノ島の祭祀は、半分は露天に出て行われるようになります。やがて8世紀(700年代)に入ると、巨岩群から少し離れた平坦な露天で祭祀が行われるようになり、この形の祭祀は9世紀(800年代)末頃までの約200年間続きました。

●奈良時代(8世紀(700年代)前半)

この頃までに、沖津宮・中津宮(御嶽山祭祀遺跡)・辺津宮(下高宮祭祀遺跡)に宗像三女神が祀られる。それまで**自然崇拜**だった信仰に、**宗像三女神という人格神**への信仰も重なり、両者が併存しながら、後世の宗像地域の信仰の基盤となっていきました。(宗像三女神については後述)

●平安時代

・9世紀(800年代)

豪族・宗像氏が神主として神社に奉仕することになる。日本と唐や新羅との間の公的な交流がなくなり、沖津宮・中津宮・辺津宮でそれまで行われていた古代祭祀も下火になる。遣唐使が廃止され、京の都では「国風文化」と呼ばれる文化が開いた頃、宗像地域の古代からの祭祀は一旦の終わりを告げます。しかし、沖ノ島はその後「神宿る島」として崇拝され、古代祭祀遺跡はほぼ手付かずの状態現代に受け継がれました。

・12世紀(1100年代)

平安時代末期にあたる12世紀頃までに、九州本土の下高宮祭祀遺跡がある丘陵の麓に、**辺津宮の社殿が造営**される。

●室町時代～安土桃山時代

・16世紀(1500年代)

16世紀までに、大島の御嶽山祭祀遺跡がある御嶽山の麓に、**中津宮の社殿が造営**される。中津宮の社殿は御嶽山山頂と参道で結ばれ、一体となっています。

・1578年(天正六年)

前年に焼失した辺津宮本殿が、大宮司・宗像氏貞(うじさだ)により再建される。

・1590年(天正十八年)

辺津宮拝殿が筑前領主・小早川隆景により再建される。

16世紀に再建された辺津宮の本殿と拝殿は現在まで残り、共に国の重要文化財に指定されています。

●江戸時代

・17世紀(1600年代)半ば

この頃までに、沖ノ島の古代祭祀の祭場だった巨岩群の間に沖津宮の社殿が造営され、島全体が沖津宮の境内と定められる。

・1675年(延宝三年)

第三代福岡藩主・黒田光之(みつゆき)により、地域にある宗像大社の末社が辺津宮の境内に集められ、祀られる。江戸時代には、福岡藩主・黒田氏により、辺津宮の社殿の造営や修理が度々行われました。

・18世紀(1700年代)半ば

この頃までに、大島の北岸に**沖津宮遙拝所**が設けられる。

遙拝所は他にもいくつか存在したようで、例えば江戸時代には、**九州本土の江口浜に沖津宮と中津宮の遙拝所**があり、福岡藩主が辺津宮を参拝した後は、ここから沖津宮と中津宮を遙拝したと伝わっています。

●明治時代

1907年(明治40年)

辺津宮の拝殿・本殿が重要文化財に指定される。

●昭和時代

・1933年(昭和8年)

沖津宮遙拝所の現在の建物が完成する。

・戦後

第二次世界大戦後、荒廃していた宗像神社が、宗像市出身の実業家・出光佐三(いでみつさぞう)の寄進によって整備される。

・1963年(昭和38年)

宗像大社辺津宮で、日本で初めての**車用交通安全お守り**の授与が始まる。

●戦後の復興に尽力した出光佐三

出光佐三は、出光興産の創業者で、宗像大社の復興のために結成された「宗像神社復興期成会」(現・宗像大社復興期成会)での初代会長として中心的な役割を果たした人物です。境内の整備だけでなく、神社史の編纂や古代祭祀遺跡の学術調査などについても尽力しました。その功績が大きかったので、境内のどこかに名前を残させてほしいという申し出が神社側からあったものの、出光氏本人は「畏れ多いので」ということで断り続けたという話が伝わっています。

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」(長崎、熊本県)(2018年7月に世界遺産に登録)

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産は、江戸時代250年間の禁教令下における厳しい弾圧の中、宣教師不在でありながら、信者のみで信仰を守り通しながらも、孤立せずに一般社会との関わりも持ちつつ、共同体を存続させるための生き方・暮らし方を創造したことが評価され、2018年7月に、ユネスコの世界遺産に登録されました。

登録を受けて、バチカン(ローマ教皇庁)は、「聖霊が宣教師の説教を通じて灯した火は、カトリック共同体の祈りの生活を隠れて維持した平信徒の中に息づいてきた」とするフランシスコ教皇の談話を発表しました。

この他、潜伏キリシタンの末裔である前田万葉枢機卿が「弾圧した者とされた者、それらの子孫お互いに敬意を払うことで真の平和が訪れる」、カトリック長崎大司教区の高見三明大司教は「250年間、キリスト教は日本で迫害されたが、そのことで多くの日本人がキリスト教に関心を持ち始めており、潜伏キリシタン遺産を訪ねることで日本のキリスト教史を再発見することになる。歴史を覚えておくのに建物は重要ではない。その背後にある物語、それが普遍的な価値を持つ」とコメントしました。



大浦天主堂



崎津天主堂-河浦エリア

「信仰の継続にかかわる潜伏キリシタンの伝統」

(1)信仰の継続にかかわる伝統のはじまり

1549年、イエズス会宣教師フランシスコ・ザビエルによってキリスト教が日本に伝えられ、その後続いて来日した宣教師たちの活動や、南蛮貿易の利益を求めて改宗したキリシタン大名の保護によって全国に広まった。しかし、豊臣秀吉の伴天連追放令(ばてれんついほうれい)に続く江戸幕府の禁教令により、すべての教会堂は破棄され、宣教師は国外へ追放された。

1637年、禁教が深まる中、圧政をきっかけにキリシタンが立ち上がり「原城跡(はらじょうあと)」に立てこもった「島原・天草一揆」に衝撃を受けた幕府は、1639年、宣教師の潜入の可能性のあるポルトガル船を追放し、海禁体制(いわゆる「鎖国」)を確立した。

(2)信仰の継続にかかわる伝統形成の段階

日本各地の潜伏キリシタンは途絶えていったが、キリスト教の伝来期に最も集中的に宣教が行われた長崎と天草地方においては、18世紀以降も共同体がひそかに維持され、次第に日本独自の信仰のかたちがあがられていった。

信仰を装いながら続けていくために、山や島などを聖地や殉教地として拝んだ「平戸の聖地と集落(春日かすが集落と安満岳(やすまんだけ)、中江ノ島(なかえのしま)」や、生活・生業に根ざした身近なものを信心具しんじんぐとして代用した「天草の崎津集落」、聖画像をひそかに拝み、教理書や教会暦をよりどころとした「外海の出津集落」、神社に自分たちの信仰対象を重ねた「外海の大野集落」など、様々な信仰形態がそれぞれの集落ではぐくまれた。

(3)信仰の継続にかかわる伝統の維持、拡大の段階

18世紀の終わりになると、外海地域の人口が増加し、五島列島などへ開拓移住が行われた。開拓移住者の中には潜伏キリシタンが多く含まれており、移住にあたっては、藩の再開発地(黒島の集落)や未開発地(久賀島の集落)、神道の聖地(野崎島の集落跡)、病人の療養地(頭ヶ島の集落)など、既存の社会や宗教との折り合いのつけ方を考慮して移住先が選ばれた。このような独自の信仰対象や、移住にあたっての選地によって培われた独自の信仰のかたちにより、2世紀にわたって潜伏キリシタンの信仰が継承された。

(4)信仰の継続にかかわる伝統が変容し、終わりを迎えた段階

1854年の開国からまもなく長崎に来た宣教師たちは、「大浦天主堂」を建設し、居留地の西洋人のために宣教活動を行った。1865年、大浦天主堂の宣教師と浦上村の潜伏キリシタンが出会った「信徒発見」をきっかけに、多くの信徒たちが信仰を表明したため、再び弾圧が強化され、摘発事件が相次いだ。やがて弾圧に対する西洋諸国の強い抗議が相次ぎ、1873年、明治政府は禁教の高札こうさつを取り除き、キリスト教は解禁された。

潜伏キリシタンは、宣教師の指導下に入ってカトリックへ復帰する者、引き続き禁教期の信仰形態を続ける者、神道や仏教へと改宗する者へとそれぞれ分かれた。カトリックに復帰した集落では新たに素朴な教会堂が建てられていったが、「奈留島の江上集落(江上天主堂とその周辺)」に建てられた江上天主堂は、移住先の風土に適応した在来の技術のあり方を示すとともに、潜伏キリシタンの伝統が終わりを迎えたことを象徴的にあらわしている。

「潜伏キリシタン受難の歴史」(重要)

- 1549 フランシスコ・ザビエルが鹿児島に上陸し、日本にキリスト教を伝える
- 1550 ザビエルが平戸で布教する
- 1563 肥前大村の領主である大村純忠が横瀬浦で洗礼を受ける(日本初のキリシタン大名)大村領内で集団改宗が行われる
- 1587 豊臣秀吉が伴天連追放令を發布する
- 1597 宣教師、信徒ら26名が長崎の西坂で処刑される(日本二十六聖人の殉教)
- 1603 江戸幕府が成立する
- 1604 有馬晴信が原城を完成させる
- 1614 江戸幕府が全国にキリスト教禁教令を發布する

- 1627 「絵踏」が開始される
- 1635 寺請制が全国で実施される
- 1637 島原・天草一揆が起こる
- 1639 ポルトガル人の来航、居住を禁止する(最後の鎖国令)
- 1641 オランダ東インド会社の商館が平戸から長崎の出島に移転する→海禁体制が確立する(いわゆる鎖国)→潜伏キリシタン集落の分布は長崎と天草地方に限られていく
- 1859 長崎が開港される
- 1864 居留地の西洋人のために大浦天主堂が建設される
- 1889 大日本帝国憲法が成立する(信教の自由を明記する)
- 1918 江上天主堂が完成する



「天草四郎時貞肖像」
天草四郎メモリアルホール所蔵
天草 四郎時貞(あまくさ しろうときさだ)



原城の城壁跡

重要事項のまとめ

●寺、神社

- ★**天龍寺**(1345): 京都府京都市右京区にある、臨済宗天龍寺派大本山の寺院。本尊は釈迦如来、開基(創立者)は足利尊氏、開山(初代住職)は夢窓疎石である。(2008)(2015)(2016)(2017)
- ★**法隆寺**(607): 古代寺院の姿を現在に伝える仏教施設であり、聖徳太子ゆかりの寺院である。金堂、五重塔を中心とする西院伽藍と、夢殿を中心とした東院伽藍に分けられる。西院伽藍は現存する「世界最古の木造建築物群」。(2015)(2016)(2018)
- ★**唐招提寺**(759): 鑑真が建立した寺院。南都六宗の1つである律宗の総本山。本尊は盧舎那仏、開基(創立者)は鑑真である。(2015)(2016)(2017)
- ★**東寺**(796): 京都市南区九条町にある東寺真言宗の仏教寺院。東寺は真言宗の根本道場であり、東寺真言宗の見解では、真言宗全体の総本山としている。「教王護国寺」(きょうおうごこくじ)とも呼ばれる。中世以降の東寺は弘法大師に対する信仰の高まりとともに「お大師様の寺」として庶民の信仰を集めるようになり、21世紀の今日も京都の代表的な名所として存続している。昭和9年(1934年)に国の史跡に指定、平成6年(1994年)12月には「古都京都の文化財」として世界遺産に登録された。(2016)(2017)(2018)
- ★**仁和寺**(888): 京都府京都市右京区御室にある真言宗御室派総本山の仏教寺院。本尊は阿弥陀如来、開基(創立者)は宇多天皇。「古都京都の文化財」として、世界遺産に登録されている。(2016)(2017)(2018)
- ★**伊勢神宮**(約2000年前): 三重県伊勢市にある神社。なお「伊勢神宮」とは通称であり、正式名称は地名の付かない「神宮(じんぐう)」。他の神宮と区別するため「伊勢の神宮」と呼ぶこともあり、親しみを込めて「お伊勢さん」「大神宮さん」とも称される。神社本庁の本宗(ほんそう)である。(2017)
- ★**出雲大社**: 出雲大社は杵築(きづき)大社ともいい、縁結びの神様としても有名な**大国主大神**(おおくにぬしのおおかみ)を祀っている。『記紀』には、国譲りの代償として、高天原(たかまがはら)側が大国主命に対し、壮大な宮殿を造り与えたが、これが**出雲大社**の始まりと記されている。
- ・**熱田神宮**((伝)景行天皇43年): 愛知県名古屋市長久区にある神社。式内社(名神大社)、尾張国三宮。旧社格は官幣大社で、現在は神社本庁の別表神社。宮中の四方拝で遥拝される一社。(2017)
- ★**広隆寺**(603): 京都市右京区太秦にある寺。宗派は真言宗系単立。京都最古の寺院である。国宝の**弥勒菩薩半跏像**を蔵することで知られ、聖徳太子信仰の寺でもある。毎年10月12日に行われる牛祭は、京都三大奇祭として知られるが、近年は不定期開催となっている。(2009)(2017)
- ★**薬師寺**(680): 奈良県奈良市西ノ京町に所在する寺院であり、興福寺とともに法相宗の大本山である。奈良の文化財の一部として、世界遺産に登録されている。(2011)(2013)(2014)(2016)
- ★**興福寺**(こうふくじ)(710): 奈良市にある、南都六宗の一つ、法相宗の大本山の寺院である。南都七大寺の一つに数えられる。「古都奈良の文化財」の一部として世界遺産に登録されている。阿修羅像が有名。(2013)(2014)(2015)
- ★**東大寺**(8世紀): 聖武天皇が建立した寺。「奈良の大仏」として知られる盧舎那仏(るしゃなぶつ)を本尊とし、開山(初代別当)は良弁である。大仏殿は現存する「世界最大の木造建築物」。宝物殿として正倉院が有名。(2015)(2016)
- ・**橿田神社**(757): 橿田神社は、古くより博多の氏神・総鎮守として信仰を集めている神社である。7月の博多祇園山笠や10月の博多おくんちなどの祭事をおこなう。5月の博多松囃子(博多どんたく)は厳密には橿田神社の祭事ではないものの、松囃子一行は橿田神社から出発するしきたりになっている。旧社格は県社。地元の博多の人々からは「お橿田さん」と愛称で呼ばれている。(2017)
- ★**春日大社**(768): 中臣氏(のちの藤原氏)の氏神を祀るために創設された奈良県奈良市にある神社。旧称は春日神社。式内社(名神大社)、二十二社(上七社)の一社。神紋は「下がり藤」。全国に約1000社ある春日神社の総本社である。武甕槌命が白鹿に乗ってきたとされることから、鹿を神使とする。ユネスコの世界遺産に「古都奈良の文化財」の1つとして登録されている。春日大社がある奈良公園には神の使い「神鹿(しんろく)」としてその数およそ1200頭もの鹿が生息している。(2017)
- ・**高山寺**(774): 京都市右京区にある寺院。創建は奈良時代と伝えるが、実質的な開基は、鎌倉時代の明恵である。(2012)(2014)(2016)
- ★**中尊寺**(850): 岩手県西磐井郡平泉町にある天台宗東北大本山の寺院。奥州三十三観音番外札所。山号は関山(かんざん)、本尊は釈迦如来。寺伝では円仁の開山とされる。実質的な開基は藤原清衡。奥州藤原氏三代ゆかりの寺として著名であり、平安時代の美術、工芸、建築の粋を集めた金色堂を始め、多くの文化

財を有する。(2017)

- ・毛越寺(もうつうじ)(850):岩手県西磐井郡平泉町にある天台宗の寺院。開山は円仁(慈覚大師)と伝える。本尊は薬師如来、脇侍は日光菩薩・月光菩薩。(2007)(2009)(2014)
- ★大宰府天満宮(917):福岡県太宰府市宰府(さいふ)にある神社。旧社格は官幣中社で、現在は神社本庁の別表神社。神紋は梅紋である。菅原道真(菅原道真公、菅公)を祭神として祀る天満宮の一つ(天神様のお膝元)。初詣の際には九州はもとより日本全国から毎年200万人以上、年間によると850万人以上の参詣者がある。現在、京都の北野天満宮とともに全国天満宮の総本社とされ、また菅公の霊廟として篤く信仰されている。(2017)
- ★北野天満宮(947):京都市上京区にある神社。旧称は北野神社。二十二社(下八社)の一社。旧社格は官幣中社で、現在は神社本庁の別表神社。神紋は「星梅鉢紋」。通称として天神さん・北野さんとも呼ばれる。福岡県太宰府市の太宰府天満宮とともに天神信仰の中心で、当社から全国各地に勧請が行われている。近年は学問の神として多くの受験生らの信仰を集めている。(2017)
- ★六波羅蜜寺(951):踊り念仏で知られる空也が平安時代中期に造立した十一面観音を本尊とする道場に由来し、当初西光寺と称した。(2014)
- ★平等院(1052):京都府宇治市にある藤原氏ゆかりの寺院。平安時代後期・11世紀の建築、仏像、絵画、庭園等を今日に伝え、「古都京都の文化財」として世界遺産に登録されている。山号を朝日山と称する。宗派は17世紀以来天台宗と浄土宗を兼ね、現在は特定の宗派に属さない単立の仏教寺院となっている。本尊は阿弥陀如来、開基は藤原頼通、開山は明尊である。(2016)(2017)
- ★鶴岡八幡宮(1063):別称として鎌倉八幡宮とも呼ばれる。武家源氏、鎌倉武士の守護神。鎌倉初代将軍源頼朝ゆかりの神社として全国の八幡社の中では関東界隈で知名度が高く、近年では三大八幡宮の一社に入ることがある。(2017)
- ★知恩院(1175):京都府京都市東山区にある浄土宗総本山の寺院。本尊は法然上人像(本堂)および阿弥陀如来(阿弥陀堂)、開基(創立者)は法然である。浄土宗の宗祖・法然が後半生を過ごし、没したゆかりの地に建てられた寺院で、現在のような大規模な伽藍が建立されたのは、江戸時代以降である。徳川將軍家から庶民まで広く信仰を集め、今も京都の人々からは親しみを込めて「ちよいんさん」「ちおんさん」と呼ばれている。(2017)
- ★建仁寺(1202):京都府京都市東山区にある臨済宗建仁寺派大本山の寺院。本尊は釈迦如来、開基(創立者)は源頼家、開山は栄西である。(2006)(2007)(2017)
- ★高德院(1243):神奈川県鎌倉市長谷にある浄土宗の寺院。本尊は「鎌倉大仏」「長谷の大仏」として知られる阿弥陀如来像(国宝)。(2017)
- ★永平寺(1246):福井県吉田郡永平寺町にある曹洞宗の本山寺院。開山は道元、本尊は釈迦如来・弥勒仏・阿弥陀如来の三世仏である。(2006)(2007)(2015)
- ★建長寺(けんちょうじ)(1253):鎌倉市にある禅宗の寺院で、臨済宗建長寺派の大本山である。(2007)(2014)
- ★久遠寺(1281):山梨県南巨摩郡身延町にある、日蓮宗の総本山(祖山)。(2007)
- ★円覚寺(1282):神奈川県鎌倉市山ノ内にある臨済宗円覚寺派の大本山であり、鎌倉五山第二位に列せられる。本尊は宝冠釈迦如来、開基は北条時宗、開山は無学祖元である。(2007)
- ★南禅寺(1291):京都市左京区南禅寺福地町にある、臨済宗南禅寺派大本山の寺院である。(2008)(2017)
- ・清浄光寺(1325):神奈川県藤沢市にある時宗総本山の寺院。(2008)
- ★大徳寺(京都府)(1325):臨済宗大徳寺派大本山である。本尊は釈迦如来。開基(創立者)は大燈国師宗峰妙超。(2006)(2015)(2017)
- ・相国寺(1392):京都市上京区にある臨済宗相国寺派大本山の寺である。本尊は釈迦如来、開基(創立者)は足利義満、開山(初代住職)は夢窓疎石である。(2008)(2017)
- ★本能寺(1415):京都府京都市中京区下本能寺前町にある、法華宗本門流の大本山。本能寺の変の舞台として知られる。現在の寺院には、恵昇院、蓮承院、定性院、高俊院、本行院、源妙院、龍雲院の7院の塔頭がある。(2017)
- ★石山本願寺(1533):戦国時代初期から安土桃山時代にかけて、摂津国東成郡生玉荘大坂[注釈1]にあった浄土真宗の寺院である[1]。戦国の当時は「大坂本願寺」「大坂城」と呼ばれており、後世「石山本願寺」というようになった。(2017)
- ★日光東照宮(1616):栃木県日光市に所在する神社。江戸幕府初代将軍・徳川家康を神格化した東照大権現(とうしょうだいごんげん)を祀る。日本全国の東照宮の総本社の存在である。正式名称は地名等を冠称しない「東照宮」であるが、他の東照宮との区別のために、「日光東照宮」と呼ばれることが比較的多い。(2017)
- ・寛永寺(1625):東京都台東区上野桜木一丁目にある天台宗関東総本山の寺院。開基(創立者)は徳川家光、開山(初代住職)は天海、本尊は薬師如来である。(2008)

●建築様式

★東大寺南大門:天竺様(てんじくよう)→大仏様(だいぶつよう)

★円覚寺舍利殿:唐様(からよう) →禅宗様(ぜんしゅうよう)

●京都五山

★南禅寺(別格)(2017)

★天龍寺(第一位)

★相国寺(第二位)

★建仁寺(第三位)

・東福寺(第四位)

・万寿寺(第五位)

※京都五山の覚え方

ナン(南禅寺)テ(天龍寺)ソウ(相国寺)ケン(建仁寺)トウフ(東福寺)マンジュ(万寿寺)

『京都五山、ナンテソーケントーフとマンジュー』と発音して覚えます。ソウケンは、壮健の意味。

カタカナの箇所が寺の名前の要素になります。

●鎌倉五山(重要)(2017年に京都五山が出題された。次は鎌倉五山か?)

★京都・南禅寺(別格)

★建長寺(第一位)

建長寺(けんちょうじ)は、神奈川県鎌倉市山ノ内にある禅宗の寺院で、臨済宗建長寺派の大本山である。鎌倉時代の建長5年(1253年)の創建で、本尊は地蔵菩薩、開基(創立者)は第5代執権北条時頼、開山(初代住職)は南宋の禅僧蘭溪道隆(大覚禅師)で、二世は同じく南宋の兀庵普寧である。

★円覚寺(第二位)

円覚寺(えんがくじ)は神奈川県鎌倉市山ノ内にある寺院。臨済宗円覚寺派の大本山であり、本尊は宝冠釈迦如来、開基は北条時宗、開山は無学祖元(仏光国師)である。鎌倉時代の弘安5年(1282年)に第8代執権北条時宗が元寇の戦没者追悼のため中国僧の無学祖元を招いて創建した。北条得宗の祈祷寺となるなど、鎌倉時代を通じて北条氏に保護された。

・寿福寺(第三位)

寿福寺(じゅふくじ)は、神奈川県鎌倉市扇ヶ谷にある臨済宗建長寺派の寺院である。本尊は宝冠釈迦如来、開基(創立者)は北条政子、開山(初代住職)は栄西である。鎌倉三十三観音霊場第24番。鎌倉二十四地蔵第18番。境内は「寿福寺境内」として1966年3月22日、国の史跡に指定された。

・浄智寺(第四位)

浄智寺(じょうちじ)は、神奈川県鎌倉市山ノ内にある禅宗の寺院。臨済宗円覚寺派に属する。中世から江戸時代にかけて「金宝山」と「金峰山」が混用されてきた。本尊は阿弥陀如来・釈迦如来・弥勒如来の三世仏で、それぞれ過去・現在・未来を象徴する。開基(創立者)は第10代執権北条師時、開山(初代住職)は南洲宏海、大休正念、兀庵普寧の3名が名を連ねる。境内は「浄智寺境内」として国の史跡に指定されている。

・浄妙寺(第五位)

浄妙寺(じょうみょうじ)は、神奈川県鎌倉市にある臨済宗建長寺派の禅宗寺院。本尊は釈迦如来。開基(創立者)は足利義兼、開山(初代住持)は退耕行勇。鎌倉三十三観音霊場第9番。境内墓地には足利貞氏の墓とされる宝篋印塔がある。また、裏山には、鎌倉の地名にまつわる伝説が残る「鎌足稻荷」がまつられている。

※鎌倉五山の覚え方

ケン(建長寺)エン(円覚寺)ジュ(寿福寺)チ(浄智寺)ミョウ(浄妙寺)

『鎌倉五山、ケンエンジュチミョー』と発音して覚えます。

浄智寺と浄妙寺は「浄」がダブっているので、「智」と「妙」を要素として使います。

●鎌倉新仏教(鎌倉六宗)

鎌倉時代は、武士の出現以降、源平争乱や相次ぐ天変地異など、社会不安が広がった時代でもありました。以前から続く天台宗・真言宗はこうした状況にあまり対応できず、仏教界は腐敗堕落し、大寺院は僧兵を増やし、俗権を求めて争い続けていました。こうした旧仏教は鎮護国家や貴族のための仏教であり、人々は庶民のための仏教の誕生を待ち望んでいました。

こうした中、[鎌倉六宗](#)という新しい仏教が登場しました。

鎌倉六宗	開祖	著書	中心寺院
浄土宗	法然	選択本願念仏集	知恩院 (京都)
浄土真宗	親鸞	歎異抄 , 教行信証	本願寺 (京都)
時宗	一遍	一遍上人語録	清浄光寺 (神奈川)
日蓮宗	日蓮	立正安国論	久遠寺 (山梨)
臨済宗	栄西	興禅護国論	建仁寺 (京都)
曹洞宗	道元	正法眼蔵	永平寺 (福井)

[鎌倉六宗](#)の中でも、臨済宗と曹洞宗は禅宗として厳しい修行を必要としましたが、その他の4宗は困難な修行が必要ない易行を説き、経典の中から一つ選び(選択)、それをひたすらする(専修)という特色がありました。仏の救いを平易に説く新仏教は、[武士や庶民など多くの人々に支持されていきました。](#)鎌倉時代の旧仏教(天台宗・真言宗)は世俗的な宗派となっており、僧界のトップは皇族・摂関家出身者で、その下に貴族出身の僧侶が奉仕していました。また、彼らは不便な山奥を嫌い、里に院家を設けました。院家には貴族と変わらない生活が営まれ、周りには荘園が付随し、僧侶たちは国家安寧と高貴な人々の無病息災を祈ることが仕事でした。[旧仏教の墮落と体制化が、救いを求める国民の支持を失った。](#)

●遺跡

- ★[吉野ヶ里遺跡](#)(よしのがりいせき): 佐賀県東部、吉野ヶ里丘陵周辺に所在する弥生時代主体の環濠集落の大遺跡群。(2014)(2016)
- ★[登呂遺跡](#)(とろいせき): 静岡県登呂にある弥生時代後期の遺跡。(2014)
- ★[稲荷山\(いなりやま\)古墳](#): 埼玉県行田市にある前方後円墳。金錯銘を有する鉄剣(稲荷山古墳出土鉄剣)が出土したことで知られる。(2007)
- ★[江田船山\(えたふなやま\)古墳](#): 熊本県玉名郡和水町に所在する前方後円墳。日本最古の本格的記録文書である75文字の銀象嵌(ぎんぞうがん)銘をもつ大刀が出土したことで著名。(2007)
- ★[高松塚古墳](#): 奈良県高市郡明日香村に存在する古墳。藤原京期(694年～710年)に築造された終末期古墳である。1972年に極彩色の壁画が発見されたことで一躍注目されるようになった。(2010)

●城、史跡

- ★[志賀島](#)(しかのしま)(福岡県): 江戸時代に、漢の皇帝が委奴国王に与えたとされる「漢委奴国王」の五つ文字が刻まれた金印が見つかった。(2010)
- ★[大宰府](#): 奈良、平安時代に対外防備および九州を総管するために筑前国筑紫郡(現在の福岡県太宰府市)におかれた役所。(2009)(2011)(2014)
- ★[水城](#)(みずぎ): 664年大宰府防衛のために築造された土塁。(2014)
- ★[胆沢城](#)(いさわじょう): 岩手県奥州市にあった古代の城。延暦21年(802)蝦夷(えぞ)征討に際し、坂上田村麻呂が築城。(2006)(2013)(2014)
- ★[多賀城](#): 大和朝廷が蝦夷を制圧するため、軍事的拠点として蝦夷との境界となっていた松島丘陵の南東部分である塩釜丘陵上に設置した。(2006)(2013)(2014)
- ★[首里城](#)(しゅりじょう): 沖縄県那覇市にある旧琉球王城。昭和20年(1945)の沖縄戦で灰燼に帰したが、その後、守礼門・正殿などが復元された。(2006)(2014)
- ★[二条城](#): 京都市にある江戸時代の日本の城。城内全体が国の史跡に指定されている。さらに1994年にはユネスコの世界文化遺産に「古都京都の文化財」として登録されている。(2012)(2017)
- ★[彦根城](#): 滋賀県彦根市金亀(こんき)町にある城。彦根藩井伊氏の居城。(2014)

●乱・事件・戦争など

- ★[壬申の乱](#)(672): 大友皇子の近江朝廷側と吉野の大海人皇子とが皇位をめぐる争った内乱。大海人皇子が勝利し、後に天武天皇として即位した。
- ★[応天門の変](#)(866): 大内裏八省院の正門応天門が炎上した事件をめぐる宮廷の政変。(2008)(2014)(2016)
- ★[壇ノ浦の戦い](#)(1185): 源平最後の戦い(2011)
- ★[承久の乱](#)(1221): 後鳥羽上皇による鎌倉幕府打倒の兵乱。幕府軍に上皇方は破れ、後鳥羽上皇ら3上皇が流罪となった。(2008)

- ★[文永・弘安の役](#)[元寇](1274、1281):2 度にわたる中国の元の日本来襲。暴風の助けもあり元軍は 2 度とも敗退。(2016)
- ★[元弘の変](#)(1331): 後醍醐天皇が企てた鎌倉幕府討伐の計画。未然に露見し、天皇は笠置(かさぎ)寺や有王山中に逃れたが、翌年捕らえられ、隠岐(おき)に流された。(2014)
- ★[応仁の乱](#)(1467～77): 細川勝元と山名持豊の対立に將軍継嗣問題と畠山・斯波家の家督争いがからんで起きた 11 年間の大乱。(2008)
- ★[島原の乱](#)(1637～38): キリシタン農民の一揆。天草四郎時貞を大将に 3 万 8 千人の農民が原城址に立てこもった。(2009)(2017)
- ★[由井正雪の乱](#)(1651): 江戸幕府第 3 代將軍徳川家光の死の直後に、幕府政策への批判と浪人の救済を掲げ幕府転覆を計画した。決起の寸前になり計画の存在を密告され正雪は自刃した。(2009)
- ★[大塩平八郎の乱](#)(1837): 大坂町奉行所の元与力大塩平八郎とその門人らが起こした江戸幕府に対する反乱。(2009)(2011)
- ★[蛮社の獄](#)(1839): 江戸幕府による洋学者弾圧事件。渡辺崋山、高野長英らがモリソン号事件を批判したとして逮捕され、処罰された。
- ★[桜田門外の変](#)(1860): 江戸城桜田門外で水戸藩からの脱藩者 17 名と薩摩藩士 1 名が彦根藩の行列を襲撃、大老井伊直弼を暗殺した事件。(2009)(2017)
- ★[坂下門外の変](#)(1862): 江戸城坂下門外にて、尊攘派の水戸浪士 6 人が老中安藤信正を襲撃し、負傷させた事件。(2009)(2017)
- ★[寺田屋事件](#)(1862): 薩摩藩尊皇派が薩摩藩主の父で事実上の指導者・島津久光によって鎮撫された事件。(2009)
- ★[八月十八日の変](#)(1863): 会津藩・薩摩藩を中心とした公武合体派が、長州藩を主とする尊皇攘夷派を京都から追放したクーデター事件。(2009)
- ★[池田屋事件](#)(1864): 京都三条木屋町の旅館・池田屋に潜伏していた長州藩・土佐藩などの尊皇攘夷派志士を、新選組が襲撃した事件。(2009)
- ★[禁門の変\(＝蛤御門の変\)](#)(1864): 京都で起きた武力衝突事件。(2009)(2011)(2017)
- ★[鳥羽伏見の戦い](#)(1868): 戊辰戦争の緒戦となった戦である。(2011)(2017)
- ★[戊辰戦争](#)(1868 年～1869 年): 王政復古を経て明治政府を樹立した薩摩藩・長州藩・土佐藩らの中核とした新政府軍と、旧幕府勢力および奥羽越後藩同盟が戦った日本の内戦。名称は慶応 4 年/明治元年の干支が戊辰であることに由来する。(2017)
- ★[箱館戦争\(五稜郭の戦い\)](#)(1868～1869): 戊辰戦争の局面のひとつで、新政府軍と榎本武揚率いる旧幕府軍との最後の戦闘。土方歳三が戦死した。(2011)(2017)
- ★[彰義隊の戦い\(上野戦争\)](#)(1868 年 7 月 4 日): 戊辰戦争の戦闘の 1 つ。江戸上野(東京都台東区)において彰義隊ら旧幕府軍と薩摩藩、長州藩を中心とする新政府軍の間で行われた戦いである。(2017)
- ★[会津戦争](#)(1868 年): 戊辰戦争の局面の一つであり、会津藩の処遇をめぐる、薩摩藩・土佐藩を中心とする明治新政府軍と、会津藩およびこれを支援する奥羽越後藩同盟などの徳川旧幕府軍との間で行われた戦いである。現在の福島県会津地方が主戦場となった。(2017)
- ・[甲州勝沼の戦い](#)(1868 年 3 月 29 日): 戊辰戦争における戦闘の一つ。柏尾の戦い、勝沼・柏尾の戦い、甲州戦争、甲州柏尾戦争とも呼ばれる。板垣退助の軍勢と近藤勇の軍勢が戦った歴史に残る合戦。(2017)
- ・[血税一揆](#)(1873): 徴兵令に反対するために、農民を中心として行われた一揆。徴兵令反対一揆ともよばれる。(2007)
- ・[佐賀の乱](#)(1874): 江藤新平らをリーダーとして佐賀で起こった明治政府に対する士族反乱の一つ。(2011)
- ・[萩の乱](#)(1876): 山口県萩で起こった明治政府に対する士族の反乱。(2008)(2009)(2011)
- ・[秋月の乱](#)(1876): 福岡県秋月で起こった明治政府に対する士族の反乱(2008)
- ・[神風連の乱](#)(1876): 熊本市で起こった明治政府に対する士族の反乱。(2008)
- ★[西南戦争](#)(1877): 明治新政府に対する不平士族最大の反乱。鹿児島私学校生徒を中心とした士族が西郷隆盛を擁して挙兵し、政府軍に鎮圧された。(2008)
- ・[福島事件](#)(1882): 自由民権運動のなかで、福島県の自由党员・農民が県令三島通庸の圧政に反抗した事件。(2009)
- ・[秩父事件](#)(1884): 埼玉県秩父郡の農民が政府に対して起こした武装蜂起事件。(2007)
- ・[大津事件](#)(1891): 日本を訪問中のロシア帝国皇太子・ニコライが、滋賀県大津市で警備にあっていた警察官・津田三蔵に突然斬りつけられ負傷した暗殺未遂事件。(2009)
- ・[日比谷焼打事件](#)(1905): 東京市日比谷公園で行われた日露戦争の講和条約ポーツマス条約に反対する国民集会をきっかけに発生した日本の暴動事件。(2007)

- ・米騒動(1918):日本で発生した、米の価格急騰に伴う暴動事件。(2007)
- ・松川事件(1949):福島県の日本国有鉄道(国鉄)東北本線で起きた列車往来妨害事件。(2008)
- ・下山事件(1949):国鉄総裁下山定則が出勤途中で失踪し、死体となって発見された事件。(2008)
- ・三鷹事件(1949):日本・東京都北多摩郡三鷹町(現・三鷹市)と武蔵野市にまたがる日本国有鉄道中央本線三鷹駅構内で起きた無人列車暴走事件。(2008)

●遣隋使

推古朝の倭国(倭國)が技術や制度を学ぶために隋に派遣した朝貢使のことをいう。600年(推古8年)~618年(推古26年)の18年間に5回以上派遣されている。なお、日本という名称が使用されたのは遣唐使からである。小野妹子(608年):「日出ずる処の天子、書を日没する処の天子に致す。恙無しや。」云々。

●遣唐使

日本が唐に派遣した使節である。日本側の史料では唐の皇帝と対等に交易・外交をしていたとされるが、『旧唐書』や『新唐書』の記述においては、「倭国が唐に派遣した朝貢使」とされる。中国では619年に隋が滅び、唐が建ったので、それまで派遣していた遣隋使に替えてこの名称となった。寛平6年(894年)に菅原道真の建議により停止された。現在では中国側において派遣された遣唐使の墓が発見されたりしている。

●法律・条約など

- ★**貞永式目[御成敗式目](1232)**:北条泰時が定めた鎌倉幕府の基本法律で、日本最初の武家法。源頼朝以来の先例や武家社会の慣習を基準とした。
- ★**武家諸法度(1615~)**:江戸時代の武家統制のための基本法。1615年の徳川秀忠の元和令を初めとし、家光の寛永令で整備された。
- ★**日米和親条約(1854)**:老中阿部正弘とアメリカのペリーとの間で締結された条約。神奈川条約とも呼ばれる。(2009)(2010)
- ★**日米修好通商条約(1858)**:江戸幕府が米国総領事ハリスとの間に調印した条約。下田・箱館の他、領事裁判権を認め、関税自主権がないなど極めて不平等な内容であった。
- ★**大日本帝国憲法発布(1889)**:通称、明治憲法。ドイツ憲法に範をとり、伊藤博文らの起草で欽定憲法として発布。
- ★**下関条約(1895)**:日清戦争の講和条約。日本全権伊藤博文・陸奥宗光と清国全権李鴻章が下関で調印。(2008)(2011)
- ★**日英同盟(1902)**:桂内閣の時に締結された、ロシアの南下策に対するイギリスとの同盟。(2011)
- ★**ポーツマス条約(1905)**:アメリカのポーツマスで調印した日露戦争の講和条約。(2008)(2009)
- ★**治安維持法(1925)**:加藤高明内閣の時に社会主義運動弾圧のために制定された法律。国体の変革、私有財産の否認を目的とする結社が禁止された。
- ★**普通選挙法(1925)**:治安維持法と引き換えに成立した法律。女性の参政権を認めないなど不完全な普通選挙法であった。
- ★**サンフランシスコ平和条約(1951)**:日本と連合国48カ国との間に結ばれた第2次世界大戦終結のための講和条約。日本全権は吉田茂。翌年、日本は主権を回復した。
- ★**日米安全保障条約(1951)**:対日講和条約と同時に日米間で結ばれた条約。講和による占領軍撤退後の日本の安全を保障するため、米軍の日本駐留を定めた。(2010)

●政治史関連人物

- ★**倭の五王(5世紀)**:中国の歴史書に記述のある倭国の五人の王、すなわち讃、珍、済、興、武をいう。倭の五王が誰であるかについては諸説ある。(2006)
- ★**厩戸皇子**:聖徳太子のこと。593年推古天皇の摂政となり、冠位十二階や憲法十七条の制定、小野妹子を遣隋使として派遣するなどを行った。経典注釈書「三経義疏」を著した。(2008)(2018)
- ★**中臣鎌足**:大化の改新の中心人物であり、改新後も中大兄皇子(天智天皇)の腹心として活躍し、藤原氏繁栄の礎を築いた。(2012)(2016)(2018)
- ★**天武天皇**:飛鳥時代の天皇。天智天皇の弟。672年壬申の乱で甥の大友皇子と皇位を争って勝利し、翌年即位。八色の姓(やくさのかばね)を定めるなど、新しい身分秩序を作り出し、皇族の地位を高めた。
- ・**吉備真備**:奈良時代の学者・公卿。(2012)

- ★**聖武天皇**:奈良時代の天皇。皇后は光明子。深く仏教を信じ、**全国に国分寺を建立し、東大寺の大仏を造立した**。数多くの遺品が東大寺**正倉院**宝庫に納められている。
- ★**坂上田村麻呂**:平安初期の武将。延暦13年(794)蝦夷(えぞ)を征討し、同16年征夷大將軍となった。その後、胆沢城(いさわじょう)を造営し、蝦夷地平定に功を残した。**阿弭流為**の降伏。京都の清水寺の創建者と伝えられる。(2014)
- ★**藤原道長**:後一条・後朱雀・後冷泉の外戚。1017年太政大臣となり、その子頼通とともに藤原氏の全盛期を現出した。「この世をばわが世とぞ思ふ望月の欠けたることもなしと思へば」
- ★**平将門**:平安時代中期の関東の豪族。(2013)
- ★**菅原道真**:平安時代の貴族、学者、漢詩人、政治家。遣唐使の廃止を建議した。(2010)
「東風(こち)吹かば匂ひをこせよ**梅**の花主なしとて春な忘れそ」(2017)
- ・藤原清衡:平安末期の陸奥(むつ)の豪族。後三年の役で源義家に味方して異父弟清原家衡らを討ち、陸奥六郡と出羽の管領権を握り、奥州藤原氏の基を築いた。平泉に中尊寺を建立。(2011)(2014)
- ★**後白河天皇**:保元3年8月11日(1158年9月5日))は平安時代末期の第77代天皇。諱は雅仁(まさひと)。鳥羽天皇の第四皇子として生まれ、異母弟・近衛天皇の急死により皇位を継ぎ、譲位後は34年に亘り院政を行った。その治世は保元・平治の乱、治承・寿永の乱と戦乱が相次ぎ、二条天皇・平清盛・木曾義仲との対立により、幾度となく幽閉・院政停止に追い込まれるがそのたびに復権を果たした。「**賀茂河の水、双六の賽、山法師、是ぞわが心にかなわぬもの**」(2017)
- ★**平徳子**:高倉天皇の中宮。安徳天皇の国母。父は平清盛、母は平時子。異母兄に重盛、基盛。同母兄弟に宗盛、知盛、重衡がいる。院号は**建礼門院(けんれいもんいん)**。安徳天皇の即位後は国母となるが、高倉上皇と清盛が相次いで没し、木曾義仲の攻撃により都を追われ、壇ノ浦の戦いで安徳天皇・時子は入水、平氏一門は滅亡する。徳子は生き残り京へ送還されて出家、大原寂光院で安徳天皇と一門の菩提を弔った。(2017)
- ★**高倉天皇**:平安時代末期の第80代天皇(在位:仁安3年2月19日(1168年4月9日)–治承4年2月21日(1180年3月18日))。諱は憲仁(のりひと)という。後白河天皇の第7皇子。母は皇太后平滋子(建春門院)。安徳天皇、後鳥羽天皇らの父。(2017)
- ★**源頼朝**:鎌倉幕府初代将軍。1185年に壇の浦の戦いで平氏を滅亡させた。同年、守護・地頭を設置して封建制度を確立。1192年征夷大將軍となり鎌倉に幕府を開いた。(2018)
- ★**源頼家**:鎌倉幕府第2代将軍。頼朝の長男。母は北条政子。父の死後家督を継ぎ、征夷大將軍となった。北条氏の合議制による将軍権能の制限を嫌い、これを討とうとしたが失敗、伊豆の修禅寺に幽閉されて殺された。(2014)(2018)
- ★**後鳥羽上皇**:鎌倉幕府に対抗して1221年承久の乱を起こすが敗れ、隠岐に流された。歌人としては優れ「新古今和歌集」を編纂させた(1205年藤原定家ら撰進)。「人もをし人も恨めしあぢきなく世を思ふゆゑにもの思ふ身は。」(2010)(2018)
- ★**北条泰時**:鎌倉幕府3代執権。承久の乱で功を立て、初代六波羅探題となった。執権就任後、連署・評定衆を置いて合議制を制度化し、1232年には貞永式目[御成敗目]を制定して執権政治の確立に努めた。
- ★**北条時宗**:鎌倉幕府8代執権。文永の役・弘安の役では元軍の撃退に成功。禅宗に深く帰依し、蘭溪道隆の没後、宋より無学祖元を招いて建長寺の住持とし、のち円覚寺の開山とした。
- ★**後醍醐天皇**:鎌倉末期～南北朝初期の天皇。院政を廃して天皇親政を行い、正中の変、元弘の乱を経て鎌倉幕府を滅ぼし建武新政を行った。(2017)(2018)
- ★**楠木正成**:鎌倉時代末期から南北朝時代にかけての武将。父は楠木正遠とされる。息子に正行、正時、正儀がいる。後醍醐天皇を奉じて鎌倉幕府打倒に貢献し、建武の新政の立役者として足利尊氏らとともに天皇を助けた。尊氏の反抗後は新田義貞、北畠顕家とともに南朝側の軍の一翼を担ったが、湊川の戦いで尊氏の軍に敗れて自害した。「七生報国」:「七度人として生まれ変わり、朝敵を誅して南朝天皇家(国)に報いん」→太平洋戦争の特攻作戦に<菊水の家紋>が利用された。**菊水作戦**。(2017)
- ★**新田義貞**:鎌倉時代後期から南北朝時代にかけての御家人・武将。鎌倉末期から南北朝の混乱の時代にあって、足利氏と並び武家を統率する力のある家系であった新田家の当主で、足利尊氏の対抗馬であり、好敵手でもあった。鎌倉幕府を攻撃して、建武新政樹立の立役者の一人となった。(2017)
- ★**足利尊氏**:鎌倉時代後期から南北朝時代の武将。室町幕府の初代征夷大將軍(在職:1338年～1358年)。足利將軍家の祖。(2017)(2018)
- ★**足利義満**:室町幕府3代将軍。京都室町に將軍邸宅「花の御所」を造営。1392年には南北朝の合一を実現した。北山に金閣を建て、北山文化を現出。15世紀初頭明と国交を開き、日明貿易[勘合貿易]を行った。(2015)(2016)(2018)
- ★**足利義政**:室町幕府8代将軍。1467年家督相続の争いなどから応仁の乱が起こると、将軍職を子の義尚

- に譲り、自らは東山に銀閣を建て、侘茶、水墨画など芸術三昧の隠居生活を送った。(2008)(2015)(2018)
- ★**織田信長**: 安土桃山時代の武将。桶狭間の戦いに勝利して勢力を拡大、1573 年義昭を京都から追放し、室町幕府は滅亡した。1582 年本能寺の変で明智光秀に滅ぼされた。「人間五十年下天のちを比ぶれば夢幻のごとくなり一度生を得て滅せぬもののあるべきか」(2017)(2018)
 - ★**豊臣秀吉**: 安土桃山時代の武将。織田信長に仕え、信長の死後、1590 年全国統一を達成。太閤検地によって近世封建社会の基礎を築き、刀狩によって兵農分離を徹底した。晩年、2 度の朝鮮出兵を行ったが失敗した。「露と落ち露と消えにし我が身かな浪速のことは夢のまた夢」(2008)(2018)
 - ・**黒田如水**: 戦国時代から江戸時代前期にかけての武将・大名。戦国の三英傑に重用され筑前国福岡藩祖となる。キリシタン大名でもあった。(2008)
 - ★**徳川家康**: 江戸幕府初代将軍。1600 年の関ヶ原の戦いで石田三成の西軍を破り天下の実権を握る。1603 年征夷大将軍となり江戸幕府を開いた。1615 年の大坂夏の陣で豊臣氏を滅ぼし、江戸幕府 260 年の基礎を固めた。「人の一生は重荷を負って遠き道を行くがごとし。急ぐべからず。」(2008)(2017)(2018)
 - ★**徳川家光**: 江戸幕府の第 3 代将軍(在職:1623 年-1651 年)。2 代将軍秀忠の次男(嫡男)である。母は浅井長政の娘で織田信長の姪にあたる江。乳母は春日局(福)(2017)
 - ★**徳川吉宗**: 江戸幕府 8 代将軍。享保の改革を行い、定免法の採用、町火消の創設、目安箱の設置、上げ米の制、相対済し令、新田開発、公事方御定書の制定など、財政再建・幕政改革に努めた。(2012)
 - ★**田沼意次**: 江戸時代中期の旗本、のち大名、江戸幕府老中。遠江相良藩の初代藩主である。(2012)(2018)
 - ★**新井白石**: 江戸中期の儒者・政治家。6・7 代将軍の下で「正徳の治」を行う。著書に「読史余論」「西洋紀聞」など。(2007)(2010)(2011)(2014)(2018)
 - ★**水野忠邦**: 江戸時代後期の大名・老中。肥前唐津藩主、のち遠州浜松藩主。(2012)
 - ★**柳沢吉保**: 江戸時代前期の幕府側用人・譜代大名。第 5 代将軍徳川綱吉の寵愛を受けて、元禄時代には大老格として幕政を主導した。(2012)(2018)
 - ★**間宮林蔵**: 江戸時代後期の隠密、探検家。樺太が島である事を確認した事で知られる。(2018)
 - ★**伊能忠敬**: 江戸時代の商人・測量家である。足かけ 17 年をかけて全国を測量し「大日本沿海輿地全図」を完成させ、日本史上はじめて国土の正確な姿を明らかにした。(2018)
 - ★**伊達政宗**: 出羽国と陸奥国の戦国大名・伊達氏の第 17 代当主。仙台藩初代藩主。支倉常長を欧州に派遣。
 - ★**高杉晋作**: 松下村塾で学んだ長州藩士。奇兵隊を組織。功山寺挙兵。(2017)
 - ★**坂本龍馬**: 土佐郷土株を持つ裕福な商家に生まれ、脱藩した後は志士として活動し、薩長同盟の斡旋、大政奉還の成立に尽力するなど倒幕および明治維新に影響を与えた。大政奉還成立の 1 ヶ月後に近江屋事件で暗殺された。
 - ★**西郷隆盛**: 薩摩藩の下級武士として尊攘運動に活躍し、1866 年薩長同盟を締結。戊辰戦争の参謀。1871 年廃藩置県に尽力、征韓論に敗れ下野。1877 年、薩摩の士族にかつがれて西南戦争を起こしたが、敗れて自刃した。「ふたつなき道にこの身を捨小船 波たたばとて 風吹かばとて」(2008)(2015)
 - ★**勝海舟**: 江戸時代末期(幕末)から明治時代初期の武士(幕臣)、政治家。万延元年(1860 年)には咸臨丸で渡米し、帰国後に軍艦奉行並となり神戸海軍操練所を開設。戊辰戦争時には幕府軍の軍事総裁となり、徹底抗戦を主張する小栗忠順に対し、早期停戦と江戸城無血開城を主張し実現。明治維新後は参議、海軍卿、枢密顧問官を歴任し、伯爵に叙せられた。(2017)(2018)
 - ★**伊藤博文**: 松下村塾に学び、討幕運動に活躍。明治政府にあって、帝国憲法の制定、天皇制の確立に尽力。初代首相・枢密院議長・立憲政友会総裁などを歴任。組閣四度に及び、その間日清戦争を遂行。(2006)(2008)(2011)(2014)
 - ・**森有礼**: 日本初代の文部大臣。(2008)
 - ★**小村寿太郎**: 明治時代の外交官。日露戦争(1904~05)後のポーツマス会議では、第 1 次桂内閣のもと日本全権として講和条約を締結した。1911 年には第 2 次桂内閣の外相として、**関税自主権の完全回復**に成功した。
 - ★**陸奥宗光**: 日本の政治家、外交官、武士。明治初期に行われた版籍奉還、廃藩置県、徴兵令、地租改正に大きな影響を与えた。また、カミソリ大臣と呼ばれ、伊藤内閣の外務大臣として**不平等条約の改正**に辣腕を振るった。
 - ・**原敬**: 1918 年米騒動のため寺内正毅内閣が倒れると、その後を受けてわが国最初の本格的政党内閣を組織。「平民宰相」として国民に歓迎された。
 - ・**東久邇稔彦**: 旧皇族、軍人。第 2 次大戦直後の首相。(2014)
 - ・**吉田茂**: 第 2 次大戦後の占領体制下における日本の保守政治を代表する政治家。(2013)(2014)

- ・鳩山一郎:政治家。戦時中大政翼賛会に反対した数少ない政治家。(2013)(2014)
- ・片山哲:大正・昭和期の弁護士、政治家。戦後日本社会党結成に参加、書記長に就任、46年委員長となる。(2014)
- ・幣原喜重郎:第1次世界大戦後のワシントン体制のもとで活躍し、当時の日本外交を代表する外交官。(2013)(2014)
- ・岸信介:義弟松岡洋右や東條英機、その片腕の星野直樹、日産の鮎川義介らとともに満州の「ニキ三スケ」と呼ばれた。

●キリシタン大名

- ・大友宗麟:(2007)(2009)
- ・小西行長:(2007)
- ・大村純忠:(2007)(2009)
- ・有馬晴信:(2007)(2009)
- ・高山右近:(2007)

※キリシタン大名の覚え方:「おっと 小錦、おむつ ありません。高い高い、ば〜」

おっと→大友宗麟、小錦→小西行長、おむつ→大村純忠、ありません→有馬晴信、高い→高山右近

●奥州藤原氏 4代 100年の栄華

- 藤原清衡:(2011)
- 藤原基衡:(2011)
- 藤原秀衡:(2011)
- 藤原泰衡:(2011)

※奥州藤原氏4代の覚え方

清衡・基衡・秀衡3代のミイラ化した遺体(泰衡は首のみ遺る)が中尊寺金色堂内に現存することを思い出し「藤原四代、ミイラで胆冷やす」

- き →清衡
- も →基衡
- ひ →秀衡
- やす→泰衡

●僧侶・神道家

- ★行基:奈良時代の日本の僧。寺と僧侶を広く仏法の教えを説き人々より篤く崇敬された。そして行基集団を形成し、道場や寺院を49院、溜池15窪、溝と堀9筋、架橋6所、国家機関と朝廷が定めそれ以外の直接の民衆への仏教の布教活動を禁じた時代に、禁を破り畿内(近畿)を中心に民衆や豪族など階層を問わず困窮者のための布施屋9所等の設立など数々の社会事業を各地で成し遂げた。朝廷からは度々弾圧や禁圧されたが、民衆の圧倒的な支持を得、その力を結集して逆境を跳ね返した。その後、大僧正(最高位である大僧正の位は行基が日本で最初)として聖武天皇により奈良の大仏(東大寺)造立の実質上の責任者として招聘された。この功績により東大寺の「四聖」の一人に数えられている。(2017)
- ★鑑真:中国、唐の僧、日本律宗の開祖。大雲寺の智満について出家し、道岸、弘景、融濟らに師事して律と天台を学ぶ。のち揚州の大明寺で律を講じた。天宝1(742)年、入唐僧の栄叡、普照らの請いを受け、日本への渡航を企てること5回にも及んだが果さず、加えて失明し、同12年、6度目に成功した。天皇から賜わった新田部親王旧宅を唐招提寺とし、戒律研鑽に力を入れた。唐招提寺の『鑑真和上坐像』は奈良時代肖像彫刻の代表作とされる。(2017)
- ※戒律(かいりつ)とは、仏教において、修行者の生活規律のこと。自発的に規律を守ろうとする心のはたらきを指す戒(梵:sīla)と、他律的な規則を指す律(梵:vinaya)とを合わせた語。
- ★円仁:第3代天台座主。慈覚大師(じかくだいにし)ともいう。入唐八家(最澄・空海・常暁・円行・円仁・恵運・円珍・宗叡)の一人。下野国の生まれで出自は壬生氏。(2017)
- ★最澄:平安初期の僧。天台宗の開祖。比叡山に延暦寺を建立。山家学生式を定め、大乘戒壇の設置を訴えた。(2010)(2017)
- ★空海:平安初期の僧。真言宗の開祖。高野山に金剛峯寺を建立。綜芸種智院を京都に開設した。三筆のひとり。(2010)(2017)
- ★源信:平安中期の僧。「恵心僧都」とも。比叡山に学ぶ。著書「往生要集」によって日本浄土教の祖とされる。

(2011)(2013)(2018)

- ★**空也**:平安中期の僧。天台宗空也派の祖。常に市中に立って庶民に念仏をすすめ、貴賤(きせん)を問わず幅広い帰依者を得て、阿弥陀の聖・市の聖と尊称された。(2014)(2018)
- ★**重源(ちょうげん)**:鎌倉初期の浄土宗の僧。密教を学んだのち、法然から浄土教を学び諸国を遊行。東大寺再建のための大勧進職に任じられ、天竺様式(大仏様)をとり入れた大仏殿を完成。(2014)
- ★**法然**:平安後期～鎌倉初期の僧。浄土宗の開祖。専修念仏による往生を説いた。主著「選択本願念仏集」。(2006)(2013)(2016)
- ★**栄西**:平安後期～鎌倉初期の禅僧。臨済宗(禅宗)の祖。京都に建仁寺を建立。著書「興禅護国論」「喫茶養生記」。(2010)(2011)
- ★**親鸞**:鎌倉時代の僧。浄土真宗の開祖。師は法然。主著「教行信証」。「歎異抄」は弟子唯円の編による法話集。(2010)(2011)(2013)(2016)(2017)
- ★**道元**:鎌倉時代の禅僧。曹洞宗(禅宗)の開祖。越前に永平寺を建立。「只管打坐」を唱え、著書に「正法眼蔵」がある。(2010)(2011)(2013)
- ★**日蓮**:鎌倉時代の僧。仏法の真髄は法華経にあると悟り、日蓮宗(法華宗)を開いた。主著「立正安国論」。(2010)(2013)(2016)
- ★**一遍**:鎌倉時代の僧。時宗の開祖。踊念仏により時宗の普及に努めた。「一遍上人語録」は法話集。(2010)(2011)(2013)(2018)
- ★**無学祖元**:鎌倉時代の臨済宗の僧。建長寺・円覚寺に兼住して日本の臨済宗に影響を与える。(2006)(2008)
- ★**蘭溪道隆**:鎌倉時代中期の南宋から渡来した禅僧・大覚派の祖。(2006)(2008)
- ★**夢窓疎石**:鎌倉末期・南北朝時代の禅僧。後醍醐天皇、足利尊氏の帰依を得た。西芳寺、天竜寺の庭園をつくる。(2006)(2008)
- ★**顕如**:室町時代の浄土真宗(「一向宗」「門徒宗」)の僧。本願寺第8世。本願寺中興の祖。神仏をないがしるにし武力による天下統一を狙う織田信長を仏敵とみなし、全国の本願寺門徒に信長打倒を呼びかけて決戦を挑んだ。軍事的にも経済的にも圧倒的に有利な織田軍相手に、調略を巡らせて信長包囲網を築き10年以上にわたって激しい攻防を繰り返したことで知られる。(2010)(2013)
- ・**吉田兼俱(よしだかねとも)**:室町時代の神道家吉田神社の神職。本地垂迹説に対して神主仏従説を唱え、陰陽五行説などを加えて吉田神道を大成。(2014)
- ・**度会家行(わたらいいえゆき)**:南北朝時代、伊勢神道を大成した神道家。南北朝時代の勤王家として北畠親房に大きな影響を与えた。(2014)
- ・**山崎闇斎**:江戸時代前期の儒者、神道家。著作に「文会筆録」など。(2007)(2014)

※【真言宗－空海－高野山金剛峰寺】【天台宗－最澄－比叡山延暦寺】の覚え方

「真空状態、高野山」 → 真＝真言宗、空＝空海、高野山

「天才だ、ヒュー」 → 天＝天台宗、才＝最澄、ヒュー＝比叡山延暦寺

●芸術家

- ★**鞍作鳥[止利仏師]**:飛鳥時代の仏師。代表作は飛鳥寺「釈迦如来像」[飛鳥大仏]、法隆寺金堂「釈迦三尊像」。(2008)
- ★**紀貫之**:平安初期の貴族・歌人。醍醐天皇勅撰の「古今和歌集」の撰者の一人。著作に「土佐日記」がある。(2008)(2009)(2010)
- ★**定朝**:平安中期の仏師。大量生産の可能な寄木造の手法を確立した。代表作は平等院鳳凰堂「阿弥陀如来像」。(2006)
- ★**運慶**:平安末期から鎌倉初期の仏師。豪放な力強さと写実に特色があり、鎌倉新様式を築いた。代表作は快慶との合作による東大寺南大門「金剛力士像」。(2006)(2014)
- ★**快慶**:鎌倉時代の仏師。運慶の力強い作風と比べて、流麗で親しみやすく安阿弥様(よう)と称される。作品は、東大寺の阿弥陀如来・地蔵菩薩像などが残る。(2014)
- ★**湛慶**:鎌倉時代の仏師。父とともに東大寺、興福寺の復興造仏に従事。また高野山の金剛力士像、三十三間堂本堂の中尊千手観音像なども制作。(2014)
- ★**世阿弥**:室町初期の能の大成者。父・観阿弥とともに足利義満の保護を受ける。「風姿花伝」[花伝書]を著す。(2018)
- ★**雪舟**:室町後期の画僧。日本の水墨画を完成させた。代表作は「四季山水図巻」[山水長巻]、「秋冬山水

図」。(2009)(2012)

- ★**狩野永徳**:安土桃山時代の画家。信長・秀吉に仕え、豪壮な障壁画を描いた。代表作に「唐獅子図屏風」。(2009)(2010)(2018)
- ★**狩野山楽**:桃山時代の画家。狩野永徳の弟子となり、師を助けて活躍した。代表作に、大覚寺宸殿・正寝殿の「牡丹図」「松鷹図」などの障壁画、「車争図屏風」「龍虎図屏風」などがある。(2011)(2014)
- ★**海北友松**:桃山時代の画家。画技は狩野元信・狩野永徳に学んだとされるが、永徳の気宇の大きさと宋元画の精神性を止揚した独特の画境を開拓した。(2011)(2014)(2018)
- ★**長谷川等伯**:安土桃山時代から江戸時代初期にかけての絵師。狩野永徳、海北友松、雲谷等顔らと並び桃山時代を代表する画人である。(2009)(2011)(2018)
- ★**松尾芭蕉**:江戸前期の俳人。蕉風俳諧を確立。東北地方を旅し、多くの紀行文を残した。代表作「**奥の細道**」。(2017)
- ★**井原西鶴**:浮世草子作者。代表作は「好色一代男」(好色物)、「日本永代蔵」「世間胸算用」(町人物)。(2013)(2018)
- ★**菱川師宣**:江戸前期の浮世絵師。浮世絵の祖とされる。代表作に「見返り美人」がある。(2008)(2010)
- ★**尾形光琳**:江戸中期の画家。俵屋宗達の画風の影響を強く受ける。代表作「**紅白梅図屏風**」「燕子花図屏風」。(2008)(2011)(2015)(2018)
- ★**渡辺崋山**:江戸時代後期の武士、画家。三河国田原藩の藩士であり、のち家老となった。**蛮社の獄**で処罰された。(2008)(2015)(2018)
 - ※**蛮社の獄**(ばんしゃのごく)は、天保10年(1839年)5月に起きた言論弾圧事件である。高野長英、渡辺崋山などが、モリソン号事件と江戸幕府の鎖国政策を批判したため、捕らえられて罰を受けた。
- ・**司馬江漢**:江戸時代の絵師、蘭学者。浮世絵師の鈴木春重は同一人物。(2008)(2015)
- ★**歌川広重**:江戸時代末期の浮世絵師。代表作「**東海道五十三次**」(2011)(2017)
- ★**葛飾北斎**:江戸時代後期の浮世絵師。化政文化を代表する一人。代表作「**富嶽三十六景**」(2011)(2017)
- ★**喜多川歌麿**:江戸時代の浮世絵師。(2008)(2011)
- ★**鈴木春信**:江戸時代の美人画の浮世絵師(2008)(2011)
- ★**東洲斎写楽**:江戸時代中期の浮世絵師。(2011)
- ★**円山応挙**:江戸時代中期～後期の絵師。近現代の京都画壇にまでその系統が続く「円山派」の祖であり、写生を重視した親しみやすい画風が特色である。(2009)
- ★**仮名垣魯文**:江戸末期から明治初頭にかけての戯作者、新聞記者。江戸の京橋生まれ。「**甲州道中膝栗毛**」(2017)
- ・**滝廉太郎**:音楽家、作曲家。明治の西洋音楽黎明期における代表的な音楽家の一人。(2011)
- ★**岡倉天心**(1863～1913):美術行政家・思想家。日本及び東洋の文化の優秀性を内外に訴えた。著に『茶の本』『東洋の理想』『日本の覚醒』がある。(2006)(2010)(2014)(2018)
- ★**横山大観**(1868～1958):日本画家。岡倉天心・橋本雅邦に師事し、日本美術院の創立に参加。天心没後は再興日本美術院を主宰。文化勲章受章。(2014)

●**三筆**(9世紀)(遣唐使廃止前)(唐様)

- ・空海
- ・橘逸勢
- ・嵯峨天皇

※覚え方:「不出来なサガリ食うのは流行らず」

不出(三筆)来(な)サガ(嵯峨天皇)リ食(く)う(空海)のは流行(橘逸勢)らず

●**三蹟**(10世紀)(遣唐使廃止後)(和様)

- ・藤原佐理
- ・小野道風(2009)
- ・藤原行成(ゆきなり、こうせい)

※覚え方:「サリーちゃんは、豆腐屋へ、いくなり」

●室町時代に活動した水墨画家

- ・明兆(2008)
- ・如拙「瓢鮎図(ひょうねんず)」(2009)
- ・周文「寒山拾得図(かんざんじつとくず)」
- ・**雪舟**「四季山水図巻(しきさんすいざかん)」「天橋立図(あまのはしだてず)」(2008)

※覚え方:「明女(めいじょ)の周(まわり)は、雪」

●仏像

- ★**空也上人像(くうやしやうにんぞう)**:空也の彫像は、六波羅蜜寺が所蔵する立像(運慶の四男康勝の作)が、最も有名である。(2014)(2018)
- ・**僧形八幡神像(そうぎやうはちまんしんぞう)**:薬師寺蔵の同神像(9世紀末)、および東大寺蔵の快慶作坐像(1201)が代表作例。(2009)(2014)
- ・**蘭溪道隆像(らんけいどうりゆうぞう)**:朗然居士(ろうねんこじ)のために描かれたもの。(2014)
- ★**平清盛坐像(たいらのきよもりざぞう)**:京都市東山区の六波羅蜜寺蔵。重要文化財。(2014)

●学者・文人

- ・**阿倍仲麻呂**:奈良初期留学生として入唐。帰国途上で暴風雨に遭い、帰国を断念。唐に留まり玄宗皇帝に仕えた。
- ★**菅原道真**:平安前期の公卿・学者。894年遣唐使の廃止を建議し認められた。のち、讒言により大宰府に左遷。(2009)(2010)
- ・**一条兼良**:室町中期の政治家・学者。関白太政大臣。有職故実(ゆうそくこじつ)・古典に通じた当代随一の学者。(2014)
- ★**北畠親房**:南北朝時代の公家・武将・学者。後醍醐天皇に仕え、建武政権成立後、東北経営にあたった。「神皇正統記」を著した。(2008)(2014)
- ・**ト部兼方(うらべかねかた)**:鎌倉中期の古典学者。ト部家は、もと神祇官(じんぎかん)の下級官僚家の一つであったが、しだいにその地位を固め、また古典伝承の家としても知られていた。(2014)
- ★**千利休**:戦国時代から安土桃山時代にかけての商人、茶人。わび茶の完成者として知られ、茶聖とも称せられる。(2009)
- ★**藤原惺窩**:戦国時代から江戸時代前期にかけての儒学者。近世儒学の祖。(2008)
- ★**契沖**:江戸時代前期の国学者。真言宗の僧。徳川光圀(みつくに)の依頼で「万葉集」を注釈し、「万葉代匠記」をあらわす。(2013)(2014)
- ★**山鹿素行**:江戸時代前期の兵法家、儒者。著作に「配所残筆」「武家事紀」など。(2014)
- ★**熊沢蕃山**:江戸前期の儒学者。中江藤樹に陽明学を学び、岡山藩主池田光政に仕えた。(2014)
- ★**林羅山**:江戸前期の朱子学者。上野忍岡に家塾を開く。(2008)(2018)
- ★**新井白石**:江戸中期の儒者・政治家。6・7代将軍の下で「**正徳の治**」を行う。著書に「読史余論」「西洋紀聞」(2016)など。(2007)(2010)(2011)(2014)(2018)
- ★**荻生徂徠**:江戸中期の儒者。古文辞学(古学一派)の祖。江戸に・園塾を開く。著書は「政談」など。
- ★**前野良沢**:江戸中期の蘭医。蘭語の解剖書「**ターヘル・アナトミア**」(2016)を杉田玄白らと共に翻訳、「**解体新書**」(2016)として刊行。(2009)(2016)
- ★**杉田玄白**:江戸中期の蘭医。「**ターヘル・アナトミア**」(2016)翻訳の苦労を記した「蘭学事始」はつとに知られる。(2009)(2010)(2016)
- ★**青木昆陽**:江戸時代中期の儒学者、蘭学者。甘藷(現在のサツマイモ)の栽培で有名。(2009)
- ★**大槻玄沢**:一関藩出身の江戸時代後期の蘭学者。「解体新書」の翻訳で有名な杉田玄白・前野良沢の弟子。著書「**蘭学階梯**」(2016)(蘭学の入門書)(2009)
- ★**稲村三伯**:(2009)
- ★**本居宣長**:江戸中期の国学者。「**古事記伝**」などを著し、儒教・仏教を排して「もののあはれ」・「古道」を賞揚した。(2010)(2011)
- ★**高野長英**:江戸後期の蘭学者。長崎でシーボルトに学ぶ。1839年「**蛮社の獄**」で渡辺崋山らとともに弾圧される。(2012)
- ★**吉田松陰**:1854年ペリー来航の際海外密航を企て幽閉。**松下村塾**から優秀な人材を輩出するも、安政の大獄で斬首。(2017)
- ★**岡倉天心**:**東京美術学校**の設立(2010)(2018)
- ★**福澤諭吉**:日本の武士、蘭学者、著述家、啓蒙思想家、教育者。慶應義塾の創設者。著書「学問のすすめ」(2008)(2010)(2011)(2017)(2018)
- ★**中江兆民**:思想家、ジャーナリスト、政治家。フランスの思想家ジャン＝ジャック・ルソーを日本へ紹介して自由民権運動の理論的指導者となった。東洋のルソーと評される。(2008)
- ・**吉野作造**:明治・大正の政治学者。彼が提唱した「民本主義」は大正デモクラシーの理論的支柱となった。(2010)
- ・**朝永振一郎**:物理学者。東京の生まれ。東京教育大学学長。量子電磁力学の発展に寄与し、昭和40年

(1965)ノーベル物理学賞受賞。同 27 年には文化勲章受章。(2014)

- ★**江崎玲於奈**:物理学者。筑波大学学長。大阪の生まれ。昭和 32 年(1957)エサキダイオードを発明。昭和 48 年(1973)、半導体の研究でノーベル物理学賞受賞。翌年、文化勲章受章。(2014)

●実業家

- ★**角倉了以(すみのくらしょうい)**(1554~1614):戦国期の京都の豪商。朱印船貿易の開始とともに安南国との貿易を行い、山城(京都)の大堰川、高瀬川を私財を投じて開削した。(2012)
- ★**茶屋四郎次郎**:安土桃山時代から江戸時代にかけての公儀呉服師を世襲した京都の豪商。(2013)
- ★**高田屋嘉兵衛**(1769~1827):江戸時代後期の廻船業者、海商である。ゴローニン事件でカムチャツカに連行されるが、日露交渉の間に立ち、事件解決へ導いた。(2013)

●歌人

- ★**藤原定家**:平安末期・鎌倉初期の歌人・歌学者。「新古今和歌集」(共撰)、「新勅撰和歌集」を撰した。歌論書「近代秀歌」「毎月抄」、撰集「小倉百人一首」、日記「明月記など。「来ぬ人を松帆の浦の夕なぎに焼くや藻塩の身もこがれつつ」(承久の変で、隠岐に流された後鳥羽上皇を偲んで、の説あり)(2011)(2014)
- ★**藤原家隆**:鎌倉初期の歌人。和歌を俊成に学び、抒情清艶な歌風で、定家とともに後鳥羽院歌壇の主要歌人。「新古今和歌集」撰者の一人。(2011)(2014)
- ★**松尾芭蕉**:江戸前期の俳人。その句の多くは「俳諧七部集」に収められている。紀行に「野ざらし紀行」「笈(おい)の小文」「奥の細道」「更科紀行」、日記に「嵯峨日記」など。(2007)(2009)(2011)(2014)
- ★**与謝蕪村**:蕪村句集(2007)
- ★**正岡子規**:俳人、歌人、国語学研究者。俳句、短歌、新体詩、小説、評論、随筆など多方面に亘り創作活動を行い、日本の近代文学に多大な影響を及ぼした。(2008)(2018)
- ★**与謝野晶子**:歌人、作家、思想家。「みだれ髪」(2009)(2007)

●歌集

- ★**懐風藻**:現存する最古の日本漢詩集。(2009)
- ★**万葉集**:7 世紀後半から 8 世紀後半ころにかけて編まれた日本に現存する最古の和歌集である。さまざまな身分の人間が詠んだ歌を 4500 首以上も集めたもので、成立は 759 年以後とみられる。(2009)
- ★**古今和歌集**:醍醐天皇の詔により撰ばれた最初の勅撰和歌集。歌数は 1111 首。(2006)(2011)(2014)(2015)
- ★**後撰和歌集**:略称<後撰集>。<古今和歌集>をつぐ平安時代第 2 の勅撰和歌集。(2014)
- ★**拾遺和歌集**:<三代集>の一つとして第 3 番目の勅撰和歌集。(2014)
- ★**三代集**:平安初期の三つの勅撰和歌集、<古今和歌集><後撰和歌集><拾遺和歌集>をいう。勅撰集の最初の 3 集として重んぜられ、編集その他、後の模範とされた。三代とは撰集を命じた醍醐・村上・花山天皇の時代の意。
- ★**後拾遺和歌集**:第四番目の勅撰和歌集。白河法皇下命、藤原通俊撰。女流歌人の歌が多く、また叙景歌に新しい方向が示されている。(2014)
- ★**山家集**:平安末期の歌僧西行法師の家集。(2008)(2011)
- ★**新古今和歌集**:後鳥羽院の命によって編纂された勅撰和歌集。(2011)
- ★**金槐和歌集**:鎌倉時代前期の私家集。源実朝著。(2008)(2010)
- ★**みだれ髪**:与謝野晶子作の処女歌集。(2008)(2009)(2010)

●歴史書

- ★**古事記**(712 年):日本最古の歴史書である。712 年に**太安万侶**が**稗田阿礼**とともに編纂し元明天皇に献上された。(2015)
- ★**日本書紀**(720 年):奈良時代に成立した日本の歴史書(720 年)。日本に伝存する最古の正史で、六国史の第一にあたる。舎人親王らの撰で、養老 4 年に完成した。神代から持統天皇の時代までを扱う。(2009)
- ★**風土記**:(713 年):一般には地方の歴史や文物を記した地誌のことをさすが、狭義には、日本の奈良時代に地方の文化風土や地勢等を国ごとに記録編纂して、天皇に献上させた報告書をさす。(2009)
- ★**愚管抄**:鎌倉時代初期の史論書。作者は天台宗僧侶の慈円。(2010)
- ★**吾妻鏡**:鎌倉時代に成立した日本の歴史書。鎌倉幕府の初代将軍・源頼朝から第 6 代将軍・宗尊親王まで 6 代の将軍記という構成。(2007)(2011)(2012)(2013)

●四鏡(しきょう)

平安時代後期から室町時代前期までに成立した「鏡物(かがみもの)」と呼ばれる4つの歴史物語(歴史書)。

- ・大鏡:(2007)(2012)
- ・今鏡:(2012)
- ・水鏡:(2012)(2013)
- ・増鏡:(2012)(2013)

※覚え方:「四鏡は、だいこんみずまし」

「だい」:大鏡・「こん」:今鏡・「みず」:水鏡・「まし」:増鏡

●日記・紀行

- ★[土佐日記](#):紀貫之(2015)
- ・蜻蛉日記:藤原道綱の母(2010)
- ・和泉式部日記:和泉式部(2010)
- ・更級日記:菅原孝標の女(2010)
- ・十六夜日記:阿仏尼(2010)(2011)
- ・笈の小文:松尾芭蕉(2011)

●物語

- ★[竹取物語](#):(2011)(2015)
- ★[源氏物語](#):紫式部(2009)(2015)
- ★[平家物語](#):(2009)
- ・伊勢物語:(2011)
- ・宇津保物語:(2011)
- ・落窪物語:(2011)

●随筆

- ★[枕草子](#):清少納言(2009)
- ★[方丈記](#):鴨長明(2009)(2010)(2013)
- ★[徒然草](#):吉田兼好(2009)(2010)

●小説家

- ★[井原西鶴](#):江戸時代前期の俳人、浮世草子作者。「好色五人女」「好色一代女」、武家物「武道伝来記」、町人物「日本永代蔵」「世間胸算用」。(2011)(2013)(2014)(2018)
- ★[近松門左衛門](#):江戸中期の浄瑠璃・歌舞伎作者。坂田藤十郎のために脚本を書き、その名演技と相まって上方歌舞伎の全盛を招いた。代表作「国性爺合戦」「曾根崎心中」「心中天網島」。(2008)(2011)(2012)(2013)(2018)
- ★[島崎藤村](#):若菜集、破戒(2010)(2017)
- ★[坪内逍遙](#):小説神髓(2008)
- ★[幸田露伴](#):五重塔(2010)
- ★[高野聖](#):泉鏡花(2011)
- ★[長塚節](#):土(2011)
- ★[芥川龍之介](#):羅生門(2011)
- ★[小林多喜二](#):蟹工船(2011)
- ★[有島武郎](#):或る女(2011)
- ★[谷崎潤一郎](#):痴人の愛、細雪(2014)
- ★[志賀直哉](#):暗夜行路(2011)
- ★[森鷗外](#):舞姫(2009)(2017)
- ★[夏目漱石](#):(2017)(2018)
- ★[尾崎紅葉](#):金色夜叉「宮さん、アイや、お宮。ダイヤモンドに目が眩み。よくも、よくも僕を裏切ってくれたな」(2008)(2009)
- ★[二葉亭四迷](#):浮雲(2008)
- ★[樋口一葉](#):たけくらべ、にごりえ(2008)(2009)

●日本に関係の深い外国人

- ・朝鮮通信使:李氏朝鮮の国王が日本国王(日本の外交権者)に国書を手交するために派遣した使節。日本では朝鮮来聘(らいへい)使とも呼ぶ。(2014)
- ★鑑真(688～763):唐の僧。日本の律宗の祖。8世紀中頃に来朝、東大寺に戒壇を設け聖武上皇以下に授戒。唐招提寺を創建。(過去3回以上出題された)(2017)
- ★フランシスコ・ザビエル(1506～1552):1549年鹿児島に来日。のち平戸、山口で伝道し、日本で最初のキリスト教(カトリック)伝道者となる。(2008)(2017)
- ★ルイス・フロイス(1532～1597):16世紀半ばにイエズス会宣教師として来日。信長、秀吉と親交を深める。名著「日本史」を残した。(2006)(2013)
- ・ヴァリニャーニ(1539～1606):安土桃山時代から江戸時代初期の日本を訪れたイエズス会員、カトリック教会の司祭。(2008)(2011)(2013)
- ★ウィリアム・アダムズ(1564～1620):江戸時代初期に徳川家康に外交顧問として仕えたイギリス人航海士・水先案内人・貿易家。三浦按針(みうらあんじん)の日本名でも知られる。("按針"の名は、彼の職業である水先案内人の意。姓の"三浦"は領地のある三浦郡にちなむ)(2010)
- ★ヤン・ヨーステン(1556～1623)は、オランダの航海士、朱印船貿易家。オランダ船リーフデ号に乗り込み、航海長であるイギリス人ウィリアム・アダムズ(三浦按針)とともに1600年4月19日、豊後に漂着。徳川家康に信任され、江戸城内堀内に邸を貰い、日本人と結婚した。屋敷のあった場所は現在の八重洲のあたりだが、この「八重洲」の地名は彼自身の名に由来する。「ヤン=ヨーステン」が訛った日本名「耶楊子」(やようす)と呼ばれるようになり、これがのちに「八代洲」(ややす)となり、「八重洲」(やえす)になったとされる。
- ・ケンペル(1651～1716):ドイツ人の医師、博物学者。ヨーロッパにおいて日本を初めて体系的に記述した『日本誌』の原著者。(2011)
- ★シドッチ(1668～1714):イタリア人イエズス会の宣教師で、1708年に屋久島に上陸したが捕らえられ、江戸に送られ5年後に亡くなる。(2011)(2013)
- ・レザノフ(1764～1807):ロシアの実業家。1804年に通商を開くため遣日使節として長崎に来航したが幕府に拒絶され、報復として樺太(からふと)・択捉(えとろふ)などを攻撃した。(2010)(2014)
- ★アダム・ラクスマン(1766～1806):ロシア最初の遣日使節として、1792年にエカテリーナ号でオホーツクを出発し根室に到着した。(2010)(2013)(2015)
- ★シーボルト(1796～1866):19世紀前期に来日、長崎郊外に鳴滝塾を開き医学などを教える。1828年シーボルト事件により国外追放。(2007)(2011)(2013)(2016)
- ★ペリー(1794～1858):アメリカ海軍軍人。東インド艦隊司令官として、1853年7月8日、フィルモア大統領の将軍あて書簡をたずさえ、軍艦4隻で江戸湾に到着、威圧的に開港を迫り、翌年再び江戸へ来て日米和親条約を締結した。(2009)(2010)
- ・プチャーチン(1803～1883):ロシアの提督、政治家。海軍兵学校の出身。1842年カスピ海におけるロシアの権益を守るためイランに派遣された。(2014)
- ★ハリス(1804～1878):初代駐日米総領事として下田に着任。1858年日米修好通商条約の締結に成功する。(2010)
- ・ヘボン(1815～1911):アメリカ人宣教師。1859年来日。ヘボン式ローマ字を考案し、「英和学院」(現明治学院大学)を開いた。(過去3回以上出題された)
- ・シュタイン(1815～1890):ドイツの法学者・思想家。伊藤博文にドイツ式の立憲体制を薦めて、大日本帝国憲法制定のきっかけを与えた人物(2011)
- ・グナイスト(1816～1895):プロイセン時代のドイツの法学者で政治家。伊藤博文、伊東巳代治ら日本の憲法調査団にドイツ国法学を講義し、明治憲法にも影響を及ぼした。(2011)
- ★ボアソナード(1825～1910):フランスの法学者で、幕末に締結された不平等条約による治外法権に代表される不平等条項の撤廃のため、日本の国内法の整備に大きな貢献を果たし、「日本近代法の父」と呼ばれている。(2011)(2012)
- ★ウィリアム・スミス・クラーク(1826～1886):アメリカ合衆国の教育者。化学、植物学、動物学の教師。農学教育のリーダー。1876年(明治9年)札幌農学校(現北海道大学)開校。初代教頭。同大学では専門の植物学だけでなく、自然科学一般を英語で教えた。「Boys, be ambitious.」(2012)(2016)
- ・ポンペ(1829～1908):幕末に来日したオランダの海軍軍医。日本が系統的な西洋医学を導入するのに大きな役割を果たした。(2014)
- ・フルベッキ(1830～1898):オランダ出身で、アメリカ合衆国に移住し、日本に宣教師として派遣され活躍した法学者・神学者、宣教師。(2011)(2013)
- ★モース(1838～1925):明治初期に来日、動物学を講じた。大森貝塚を発掘し日本の考古学の祖となる。著

書「日本その日その日」。(2012)(2013)

- ★**ラファディオ・ハーン**(1850～1904):明治中期に来日、帰化して小泉八雲となる。著書に「怪談」「神国日本」「人生と文学」など。(出題多数)
- ・**ジョサイア・コンドル**(1852～1920):イギリスのロンドン出身の建築家。お雇い外国人として来日し、政府関連の建物の設計を手がけた。(2006)(2010)(2014)
- ★**フェノロサ**(1853～1908):明治初期に来日、日本の伝統美術の復興に尽力し、岡倉天心とともに東京美術学校を創立した。(2006)(2010)(2011)(2013)(2014)(2016)

●外国船に関わる事件

- ・**アロー号事件**(1856～1860):清とイギリス・フランス連合軍との間で起こった戦争。最終的に北京条約で終結し、清の半植民地化が決定的なものとなった。(2009)
- ・**フェートン号事件**(1808):鎖国体制下の日本の長崎港で起きたイギリス軍艦侵入事件。(2009)
- ・**モリソン号事件**(1837):日本人漂流民を乗せたアメリカ合衆国の商船を日本側砲台が砲撃した事件。(2009)
- ・**サン＝フェリペ号事件**(1596):土佐にスペインのサン＝フェリペ号が漂着した事件。豊臣秀吉の唯一のキリスト教徒への直接的迫害(日本二十六聖人殉教)のきっかけとなったとされる。(2009)

●教育機関

- ★**綜芸種智院**:空海が庶民教育や各種学芸の総合的教育を目的に、京都の左京九条に設置した私立学校。(空海)(2012)
- ★**鳴滝塾**(長崎県)(1824):シーボルトが長崎郊外に設けた私塾。診療所も兼ねていた。(2007)(2011)(2013)
- ★**松下村塾**:幕末に、長州萩城下の松本村に吉田松陰が指導した私塾。塾生の中から、幕末より明治期の日本を主導した人材を多く輩出したことで知られる。(2007)
- ★**適塾**:蘭学者・医者として知られる緒方洪庵が江戸時代後期に大坂・船場に開いた蘭学の私塾。第10代塾頭が福澤諭吉。(2007)
- ・**古義堂**:江戸時代の1662年、京都に、伊藤仁斎がその生家で開いた儒学を教える家塾。(2007)

●重要施設

- ★**八幡製鉄所**:明治34年(1901)日本初の銑鋼一貫操業を開始した官営製鉄所。(2006)(2012)(2014)
- ・**横須賀造船所**:江戸幕府により横須賀市に開設された造船所。江戸開城後は明治政府が引き継ぎ、のちに海軍省の管轄となる。現在は在日米軍横須賀海軍施設となっている。(2012)
- ・**三池炭鉱**(福岡県):日本の近代化を支えてきた炭鉱であったが1997年に閉山した。2015年7月に世界文化遺産として登録された。(2006)
- ★**富岡製糸場**:日本初の本格的な製糸工場。「富岡製糸場と絹産業遺産群」として、2014年6月に世界文化遺産として登録された。(2006)(2017)
- ・**長崎造船所**:長崎県長崎市と諫早市にある三菱重工業の造船所・工場。「明治日本の産業革命遺産製鉄・製鋼、造船、石炭産業」として、2014年6月に世界文化遺産として登録された。(2006)
- ・**東洋拓殖会社**:日露戦争後の1908年に設立され、1945年の第二次世界大戦の終結まで、京城府及び満州国、モンゴル、サハリン、南洋諸島、マイクロネシアに存在した大日本帝国の特殊会社。(2006)

●重要名数

- ★**三筆**:嵯峨天皇、橘逸勢、空海(弘仁・貞観文化)(平安時代初期)(唐様)
- ★**三蹟**:小野道風、藤原佐理、藤原行成(国風文化)(平安時代中期)(和様)
- ・**三管領**:斯波家、細川家、畠山家
- ★**御三家**:尾張家、紀伊家、水戸家
- ★**江戸の三大改革**:享保の改革(徳川吉宗)、寛政の改革(松平定信)、天保の改革(水野忠邦)
- ★**明治維新の三傑**:西郷隆盛、大久保利通、木戸孝允
- ・**国学四大人**(うし):荷田春満、賀茂真淵、本居宣長、平田篤胤
- ・**四天王**:持国天、広目天、増長天、多聞天
- ★**五街道**:東海道、中山道、日光道中、奥州道中、甲州道中

●歴史用語

- ★**封建制度**: 中世社会の基本的な支配形態。封土の給与とその代償としての忠勤奉仕を基礎として成立する、領主・家臣の間の主従関係に基づく統治制度。また、領主が生産者である農民を身分的に支配する社会経済制度。もとは、Feudalism の訳語として、近・現代になって、中国語の「封建制」という言葉を援用・転用したもの。
- **得宗専制**: 鎌倉幕府において執権を務める北条氏の惣領である得宗(とくそう)に幕府権力が集中して専制政治が行われたこと、またその時期を指す。鎌倉幕府の歴史を 3 つに分けた場合、源氏将軍・執権政治に続く第 3 の時期にあたる。(2014)
- **荘園公領制**: 日本の中世における、荘園と公領(朝廷・国衙(こくが)・幕府などの領地)を土台とした、重層的土地支配構造のことである。11 世紀中後期から 12 世紀初期にかけて成立し、院政期を通じて発展し、鎌倉時代前後に最盛期を迎えた。その一方で、鎌倉時代には地頭による侵食を受け、室町時代には守護(守護大名)によって蚕食されるなど、武士の進出に伴って次第に解体への道を進み、戦国時代頃までにほぼ形骸化した。最終的には太閤検地で消滅する。
- ★**院政**: 上皇、法皇の執政を常態とする政治形態。律令政治が天皇と貴族の共同統治的官僚政治であり、摂関政治が上級官僚貴族の寡頭政治的色彩が強いのにに対し、白河上皇の専制的な権勢のもとに定着した政治形態を、後世の史家が院政と名付けたのである。(2014)(2011)

●博物館

- ★**東京国立博物館(1872)**: 日本最古の博物館。国宝 87 件、重要文化財 633 件を含む収蔵品の総数は 115,653 件ある。日本と東洋の文化財の収集保管、展示公開、調査研究、普及などを目的としている。(2014)
- **国立科学博物館(1877)**: 「自然科学及び社会教育の振興を図る」ことを目的とした博物館である。(2014)
- **奈良国立博物館(1895)**: 仏教美術を中心とした文化財の収集、保管、研究、展示を行う。毎年秋に実施される「正倉院展」の会場でもある。(2014)
- **京都国立博物館(1897)**: 主に平安時代から江戸時代にかけての京都の文化を中心とした文化財を、収集・保管・展示するとともに、文化財に関する研究、普及活動を行っている。(2014)
- **国立民族学博物館(1977)**: 民族学・文化人類学を中心とした研究・展示を行っている、博物館を持った研究所である。大阪府吹田市の万博記念公園にある。(2014)
- **九州国立博物館(2005)**: 福岡県太宰府市石坂にある歴史系の博物館。独立行政法人国立文化財機構が運営する博物館の 1 つで、太宰府天満宮裏の同宮所有の丘陵地に建設された。(2016)

【大問 1】(2 点×4=8 点)

(1)正解①A(1875 年)→B(1876 年)→C(1950 年)→D(1972 年)(正答できなくてもよい難問)

(2)正解③辺境警備と開拓

屯田兵制度の目的は二つ①樺太と北海道の警備 ②旧松前藩と東北諸藩の貧窮士族の救済(wiki)。「開拓」が屯田兵制度のキーワード。「1874 年(明治 7)年には士族授産の意味もあって屯田兵制度を設けて開拓とあわせて北のロシアに対する備えとした。」(山川教科書 P.268)

(3)正解④新渡戸稲造(2016)(2018)

新渡戸稲造は、1900 年にアメリカ合衆国で Bushido: The Soul of Japan を刊行した。
内村鑑三も札幌農学校(2016)(2018)の出身者。

(4)正解②大通公園

中心会場である大通公園の他に、すどーむ会場(札幌コミュニティドーム)、すすきの会場がある。

【大問 2】(3 点×1=3 点)

正解③(正答できなくてもよい難問)

瑞巖寺は、平安時代の創建で、宗派と寺号は天台宗延福寺、臨済宗建長寺派円福寺、現在の臨済宗妙心寺派瑞巖寺と変遷した。古くは松島寺とも通称された(wiki)。藩の版籍奉還により大きな打撃を受けた。

【大問 3】(3 点×1=3 点)

正解④(消去法で正解を絞り込む)

出羽三山は、羽黒山、湯殿山、月山の総称。→①の不正解が分かる。

出羽三山の修験道の開祖は、安倍晴明(平安時代の陰陽師)ではなく、役小角(えんのおずぬ)(飛鳥時代の呪術者)、または、空海(wiki)。→②の不正解が分かる、かな？

芭蕉の句は、立石寺(りっしやくじ)(山形市)で詠んだもの。→③の不正解が分かる、かな？

出羽三山の覚え方→「歯が黒い羽黒山(相撲取)が、露天風呂(湯殿)で、月を見た」とイメージする。

【大問 4】(2 点×3=6 点)

(1)正解②参勤交代の制度化(1636)／島原の乱(1637～1638)(2017)(2018)(正答できなくてもよい難問)

徳川家光の在位は、1623～1651。

(2)正解②(輪王寺)大猷院(だいゆういん)(家光の霊廟。家康の東照宮より少し地味に建造された。)

山川教科書には、東照宮の記載はあるが(P.183)、(輪王寺)大猷院の記載はない。

(3)正解④天海(1536～1643)(正答できなくてもよい)

天海は、徳川家康の側近として、江戸幕府初期の朝廷政策・宗教政策に深く関与した。

【大問 5】(2 点×3=6 点)

(1)正解③朝廷

奉幣使とは、朝廷(天皇)が神社に幣帛を届ける使いのこと。山川教科書に記載はない。

(2)正解④柳沢吉保(徳川綱吉の寵愛を受けて、元禄時代には大老格として幕政を主導した。)

①新井白石 ②田沼意次 ③林羅山

(3)正解①伊能忠敬(1745～1818)

下総佐原(しもおささわら)の商人で天文方(てんもんかた)に学んだ伊能忠敬は、幕府の命を受けて全国の沿岸を実測し、「大日本沿海輿地全図」の完成に道を開いた。山川教科書(P.245)。

(4)正解①

【大問 6】(3 点×1=3 点)

正解④

①東海道本線の起点は新橋だった。②暗殺されたのは原敬。③大きな被害はなかった。

【大問 7】(3 点×1=3 点)

正解③(写真は、[皇居東御苑](#)の入口。[天守閣跡の石垣](#)など無料でみることができる)

- ①北条早雲ではなく、[太田道灌](#)(1432～1486)。②「大御所政治」は、隠居していた駿府城(静岡市)から。
④江戸城は、無血開城された。(勝海舟(2017)(2018)、[西郷隆盛](#))

【大問 8】(3 点×2=6 点)

(1)正解②

(b)は、「居留地」が正しい。(d)は「日清戦争」が正しい。

(2)正解②孫文(1866～1925)[三民主義](#)とは、民族主義、民権主義、民生主義。

三民主義をとなえる革命指導者孫文を臨時大総統とする中華民国が成立して、清朝が倒れた。山川教科書(P.298)

【大問 9】(3 点×1=3 点)

正解①

②暗殺されたのは[源実朝](#)。③正しくは、上杉謙信。④正しくは、[徳川家斉](#)。家斉は、特定されるだけで 16 人の妻妾を持ち、男子 26 人、女子 27 人を儲けた(wiki)。

【大問 10】(3 点×1=3 点)

正解③

①「庸・調に加え」→「庸・調に代わり」②「鎌倉時代」→「江戸時代」④「[勝海舟](#)」(2017)(2018)→「[山岡鉄舟](#)」。[幕末の三舟](#)とは幕末から明治初期に活躍した 3 名の幕臣：[勝海舟](#)(1823～1899、[山岡鉄舟](#)(1836～1888)、[高橋泥舟](#)(1835～1903)

【大問 11】(3 点×1=3 点)

正解④

①正しくは、九男[徳川義直](#)②最高の石高は加賀藩 100 万石(実際は、119 万 5 千石)③尾張藩は将軍を出していない。

【大問 12】(2 点×4=8 点)

(1)正解②[長安](#)(現在の西安市)

(2)正解④[高野山金剛峰寺](#)

②[石山本願寺](#)(2017)(2018) ③[仁和寺](#)(2016)(2017)(2018)

(3)正解②[真言宗](#)

【[真言宗](#)—[空海](#)—[高野山金剛峰寺](#)】【[天台宗](#)—[最澄](#)—[比叡山延暦寺](#)】の覚え方

「真空状態、高野山」→ 真=真言宗、空=空海、高野山

「天才だ、ヒュー」→ 天=天台宗、才=最澄、ヒュー=比叡山延暦寺

(4)正解③(正答できなくてもよい難問)

①「[善通寺](#)」は、[四国八十八箇所](#)霊場の第七十五番札所。和歌山県の[高野山](#)、京都府の[東寺](#)と共に弘法大師三大霊場に数えられる。②[弘法大師](#)の御影(おすがた)→各寺のご本尊 ④「[玄奘](#)」→「[鑑真](#)」

【大問 13】(3 点×2=6 点)

(1)正解②[四天王寺](#)

①[飛鳥寺](#) ③[法隆寺](#)(2015)(2016)(2018) ④[中宮寺](#)は、いずれも奈良県にある。四天王寺の写真、伽藍配置図が示されていたが、解答には全く必要なかった。「大阪市にある○○」で四天王寺を特定できる。

(2)正解①A→D→C→B

[近江大津宮](#)(667)→[藤原京](#)(694)→[平城京](#)(710)→[平安京](#)(794)

【大問 14】(3 点×1=3 点)

正解①[天智天皇](#)の和歌(2016)(2018)

②[持統天皇](#) ③[山部赤人](#) ④[柿本人麻呂](#)

【大問 15】(3 点 × 1 = 3 点)

正解④

① 島津斉彬 → 島津家久 ② 薩摩、藩主 → 将軍、幕府 ③ 清の時代も 朝貢貿易 はあった。

【大問 16】(3 点 × 2 = 6 点)

(1) 正解④ 近松門左衛門

① 井原西鶴: 江戸時代の大坂の浮世草子・人形浄瑠璃作者、俳諧師。
② 竹田出雲: 江戸時代の浄瑠璃作者。
③ 竹本義太夫: 江戸時代の浄瑠璃語り。義太夫節浄瑠璃の創始者。

(2) 正解③ 燕子花図(かきつばた) 屏風(尾形光琳)(2015)(2018)

① 舟橋蒔絵硯箱(ふなはしまきえすずりばこ)(本阿弥光悦) ② 風神雷神図屏風(俵屋宗達)
④ 色絵雛香炉(野々村仁清)

【大問 17】(3 点 × 2 = 6 点)

(1) 正解③

① 京都守護職 → 六波羅探題
② 貞観・延喜格式 → 御成敗式目
④ 建仁寺(2017)(2018)に 臨濟宗を開いたのは 栄西であり、立正安国論を著したのは 日蓮である。

(2) 正解② 隠岐

① 佐渡 ③ 土佐 ④ 伊豆

【大問 18】(2 点 × 3 = 6 点)

(1) 正解④(a) 織田信長 (b) 足利義昭

(2) 正解③ 観阿弥・世阿弥父子が 足利義満の保護を受け、猿楽能を完成させた。

① 天龍寺(方丈裏庭は曹源池(そうげんち)を中心とした 池泉回遊式庭園で、夢窓疎石の作庭。)
② 鹿苑寺金閣(金閣は三層の 楼閣建築。世界遺産「古都京都の文化財」)
④ 慈照寺銀閣(銀閣は、足利義政(2015)(2018)が 鹿苑寺金閣を模して造営した木造 2 階建ての 楼閣建築)

(3) 正解③ 勘合貿易(日明貿易)

① 応仁の乱(室町幕府管領家の畠山氏、斯波氏の家督争いから、細川勝元と山名宗全の勢力争いに発展し、室町幕府 8 代将軍 足利義政(2015)(2018)の継嗣争いも加わって、ほぼ全国に争いが拡大した。)
② 九鬼水軍は、倭寇とは関係ない。
④ 室町将軍の補佐役管領には 三管領と呼ばれた畠山・細川・斯波 の三家から就任、管領に準ずる侍所の所司には 四職とよばれた赤松・一色・京極・山名の四氏から任じられた。

【大問 19】(3 点 × 2 = 6 点、2 点 × 1 = 2 点、計 8 点)

(1) 正解② 姉川の戦い

① 信長(2017)(2018)は、桶狭間の戦いにより今川氏に勝利した。③ 堺に 楽市令は出していない。④ 天正遣欧使節には関係していない。

(2) 正解② (B → A → C → D)

(B) 太閤検地 (1582 ~ 1583) → (A) 関白となり太政大臣となる (1585 ~ 1586) → (C) 刀狩令 (1588) → (D) 人掃令 (1592)

(3) 正解④ 長谷川等伯 (1539 ~ 1610)

① 狩野永徳 (1543 ~ 1590) ② 狩野山楽 (1559 ~ 1635) ③ 海北友松 (1533 ~ 1615)

(4) 正解④ 聚楽第

① 伏見城(桃山城) ② 大坂城 ③ 安土城

【大問 20】(3 点 × 1 = 3 点)

正解② 福沢諭吉「学問のすすめ」「西洋事情」

① 大隈重信 ③ 支倉常長 ④ 渡辺崋山

【大問 1】(2 点×2=4 点)

(1)正解③高徳院

①奥の院 ②妙法院(京都市) ④平等院(宇治市)(2016)(2017)

(2)正解②鶴岡八幡宮

①熱田神宮(名古屋市) ③櫛田神社(福岡市) ④春日大社(宇治市)

【大問 2】(2 点×1=2 点、3 点×3=9 点、計 11 点)

(1)正解②富岡製糸場(2016)(2017)(明治日本の産業革命遺産)

①小菅修船場 ③三菱長崎造船所 ④八幡製鉄所

(2)正解①官営

②軍需 ③製鉄 ④民間

(3)正解②殖産興業

①国民皆兵 ③廃仏毀釈(2016)(2017)(2018) ④文明開化

(4)正解③フランス

①アメリカ ②イギリス ④ロシア

「政府は、1872 年、群馬県に官営模範工場として富岡製糸場(2016)(2017)を設け、フランスの先進技術の導入・普及と工女の養成をはかった。」山川の教科書(P.268)

【大問 3】(3 点×2=6 点)

(1)正解① a と b(正答できなくてもよい難問)

式年遷宮は、20 年ごと。式年遷宮の開始は 690 年。

「式年遷宮の制度は、天武天皇の発意により始まり、次の持統天皇 4 年(690)に第 1 回が行われました。長い歴史の間には一時の中断はあったものの、これまで 20 年に一度、約 1300 年の長きにわたり繰り返し行われ、平成 25 年 10 月には 62 回目の遷宮が行われました。」(式年遷宮の歴史)

(2)正解③

①鎌倉時代(2015)(2016)(2018)より②他所に行くことも自由④「伊勢参宮・宮川の渡し」は歌川広重作。

【大問 4】(3 点×1=3 点)

正解①仁和寺(2016)(2017)(2018)

②東寺(2016)(2017)(2018) ③知恩院 ④広隆寺(2016)(2017)

東寺、広隆寺は真言宗寺院だが、門跡寺院ではない。知恩院は門跡寺院だが、真言宗ではなく浄土宗である。

【大問 5】(3 点×1=3 点)

正解②二条城

①龜山城(明智光秀) ③伏見城(豊臣秀吉) ④淀城(松平定綱)

【大問 6】(3 点×1=3 点)

正解③鑑真(2015)(2017)(唐招提寺)(688~763)(2015)(2016)(2017)

①行基(668~749) ③玄奘(602~664) ④最澄(767~822)

【大問 7】(3 点×2=6 点)

(1)正解①吉田松陰(1830~1859)(松下村塾)

②久坂玄瑞(1840~1864)(塾生) ③木戸孝允(1833~1859)(2015)(2017)④伊藤博文(1841~1864)(塾生)

(2)正解④奇兵隊(高杉晋作)(1839~1867)

①陸援隊(武力討幕のための武力集団) ②海援隊(土佐藩脱藩の浪士組織) ③歩兵隊

【大問 8】(2 点×1=2 点、3 点×1=3 点、計 5 点)

(1)正解④(戊辰戦争)

鳥羽・伏見の戦い(1868)→会津戦争(1868)→函館戦争(五稜郭の戦い)(1868～1869)
彰義隊の戦いの舞台は、上野寛永寺であった。

(2)正解④土方歳三(新選組副長)

- ①沖田総司(1842～1868)(一番隊組長)「刀で斬るな！体で斬れ！」
②近藤勇(1834～1868)(新選組局長)
③永倉新八(1839～1915)(二番隊組長)(新選組顛末記)、三名とも池田屋事件で切り込んだ。

【大問 9】(3 点×1=3 点、2 点×2=4 点、計 7 点)

(1)正解①(織田信長)(1534～1582)(2017)(2018)(桶狭間の戦い)(1560)(長篠の戦い)(1575)

(2)正解③(楽市楽座)

①太閤検地(2017)(2018) ②地租改正 ④兵農分離

(3)正解④(本能寺の変)、(明智光秀)(生年不詳～1582)

①石山本願寺(2017)(2018) ②聚楽第(2017)(2018) ③建仁寺(2017)(2018)

【大問 10】(3 点×4=12 点)

(1)正解①(島崎藤村)(1872～1943)(夜明け前)

②夏目漱石(1867～1916) ③福沢諭吉(1835～1901)(2016)(2017)(2018) ④森鷗外(1862～1922)

(2)正解③(入鉄砲に出女)

①通行手形 ②「浮世絵」又は「浮世絵(春画)」 ④抜荷

(3)正解③(「甲州道中膝栗毛」)(仮名垣魯文)(1829～1894)

①「富嶽三十六景」(葛飾北斎) ②「東海道五十三次」(歌川広重) ④「奥の細道」(松尾芭蕉)

(4)正解④(日光東照宮「陽明門＝日暮の門」)

①祭神は家康 ②造営は家光 ③「眠り猫」(左甚五郎作)

【大問 11】(3 点×1=3 点)

正解②(慈覚大師円仁)(794～864)

①弘法大師空海(774～835) ③親鸞上人(1173～1263)(2016)(2017) ④伝教大師最澄(767～822)

【大問 12】(2 点×1=2 点、3 点×2=6 点、計 8 点)

(1)正解③(彦根城)(天守が国宝五城)→(他は、犬山城、松本城(2015)(2016)、姫路城、松江城)

①長浜城 ③佐和山城 ④安土城

※天守が国宝五城:引越(彦根)して、姫(姫路城)が待つ(松本)待つ(松江)、ネコが来なくて、犬(犬山)がワンワン

※天守がある国宝以外の七城:うわっ(宇和島)、広っ(弘前)、高っ(高知)、二人の松山秀樹(松山、(備中)松山)が、マル(丸岡)マル(丸亀)パーディー。

(2)正解②(桜田門外の変)(1860)

①坂下門外の変(1862) ③天誅組の変(1863) ④蛤御門の変(禁門の変)(1864)

【大問 13】(3 点×4=12 点)

(1)正解②(後醍醐天皇)(1288～1339)(建武の新政)-天龍寺(古都京都の文化財、京都五山の第一位)

②楠木正成(1294～1336) ③新田義貞(1301～1338) ④北条高時(1304～1333)

(2)正解②(元)(1271～1635)(天龍寺船)

①宋(960～1279)(日宋貿易) ③明(1368～1644)(勘合貿易)(2015)(2016) ④清(1616～1912)(日清貿易)

(3)正解①(南禅寺)(京都五山)(参道の湯豆腐)

②相国寺 ③東福寺 ④大徳寺

京都五山

南禅寺(別格)、天龍寺(第一位)(2015)(2016)(2017)(2018)、相国寺(第二位)、建仁寺(第三位)(2017)(2018)、東福寺(第四位)、万寿寺(第五位)

※京都五山の覚え方

ナン(南禅寺)テ(天竜寺)ソウ(相国寺)ケン(建仁寺)トウフ(東福寺)マンジュ(万寿寺)

『京都五山、ナンテソーケントーフとマンジュウ』と発音して覚えます。ソウケンとは、壮健の意味。カタカナの箇所が寺の名前の要素になります。

鎌倉五山

南禅寺(別格)、建長寺(第一位)、円覚寺(第二位)、寿福寺(第三位)、浄智寺(第四位)、浄妙寺(第五位)

※鎌倉五山の覚え方

ケン(建長寺)エン(円覚寺)ジュ(寿福寺)チ(浄智寺)ミョウ(浄妙寺)

『鎌倉五山、ケンエンジュチミョー』と発音して覚えます。

浄智寺と浄妙寺は「浄」がダブっているので、「智」と「妙」を要素として使います。

【大問 14】(3点×1=3点)

正解②厳島神社(2015)(2017)

①厳島神社は593年に建立。③平氏は「壇ノ浦の戦い」で滅亡。④厳島神社は世界文化遺産。

【大問 15】(3点×2=6点、2点×1=2点、計8点)

(1)正解②遣唐使停止(894)(2015)(2017)(年号の覚え方:白紙(894)に戻す遣唐使)

①現地に赴任している。③藤原時平の箴言による。時平は、39歳で死去した。その死は怨霊となった道真の祟りと噂された。④「続日本後紀」とは無関係

(2)正解②梅

東風吹かば 匂ひおこせよ 梅の花 主なしとて 春な忘れそ

(3)正解①北野天満宮(全国約1万2000社の天満宮、天神社の総本社)

②長岡天満宮(京都府) ③防府天満宮(山口県) ④滝宮天満宮(香川県)

【大問 16】(2点×4=8点)

(1)正解③石見銀山(世界文化遺産) 地図上の位置:ウ

①佐渡金山 ②生野銀山

(2)正解②(備中)倉敷 地図上の位置:い

①(飛騨)高山(世界遺産) ③(豊後)日田

【大問 17】(3点×2=6点)

(1)正解④

①オランダ国王→ポルトガル国王が正しい。

②鉄砲伝来(1543)(以後、予算食う鉄砲伝来)→ザビエル来日(以後、よく広まるキリスト教)

④ザビエルの布教は、九州、山口地方。

(2)正解①(A)→(B)→(C)

(A)禁教令(1612)

(B)島原の乱(1637)

(C)ポルトガル船の来航禁止(1639)

【大問1】

(1)正解④夢殿

①西円堂 ②大宝蔵院 ③伝法堂(←すべて、法隆寺(2015)(2016)(2018)の中にある建物である)
山川の教科書には、中門、金堂(2016)(2018)、五重塔(2016)(2018)、歩廊(回廊(2016)(2018))の記載はある(P.36,37)が、西円堂、大宝蔵院、伝法堂についての記載は一切ない。

(2)正解④薬師寺(2015)(2016)

①元興寺(2015)(2016) ②唐招提寺(2015)(2016)(2017) ③室生寺(2015)(2016)

(3)正解②

(b)は、桓武天皇ではなく、聖武天皇が正しい。

(4)仏像: 正解①阿修羅像

②迦楼羅像(かるらぞう) ③帝釈天像(たいしゃくてんぞう) ④梵天像(ぼんてんぞう)

寺院: 正解①興福寺(2015)(2016)

②東大寺(2015)(2016) ③室生寺(2015)(2016) ④薬師寺(2015)(2016)

(5)正解①教王護国寺(東寺)

②高山寺 ③西芳寺 ④清水寺(2015)(2016)

(6)正解③平等院(2016)(2017)

①西大寺 ②仁和寺(2016)(2017)(2018) ④蓮華王院

(7)正解②大覚寺

①神護寺 ③天龍寺(2015)(2016)(2017)(2018) ④妙心寺

(8)正解②四天王寺(2016)(2018)

①広隆寺 ③橘寺 ④法起寺

(9)神社: 正解①赤間神宮

②宇佐神宮 ③大山祇神社 ④香椎宮(かしいぐう)

物語: 正解④耳なし芳一

①浦島太郎 ②笠地蔵 ③舌切り雀

(10)[問1]正解③cとd

[問2]正解①クラーク

②ケプロン ③フェノロサ ④メーゾン

[問3]正解③小樽市

①江別市 ②余市町 ④函館市

(11)[問1]正解①「解体新書」

②「西洋紀聞」 ③「ハルマ和解」 ④「蘭学階梯」

[問2]正解②東大寺

①興福寺(2015)(2016) ③法隆寺(2015)(2016)(2018) ④薬師寺(2015)(2016)

[問3]正解②神仏分離令

①王政復古の大号令 ③大教宣布の詔 ④大政奉還

[問4]正解④和紙

①藍玉 ②藺草 ③黒砂糖

【大問2】

(1)(A)(銅鐸)正解④弥生時代

(B)(埴輪)正解②古墳時代

(C)(土偶)正解③縄文時代

(2)名称(A) **正解②**[三内丸山遺跡](#)(さんないまるやまいせき)

名称(B) **正解③**[大仙陵古墳](#)(だいせんりょうこふん)

名称(C) **正解⑥**[吉野ヶ里遺跡](#)(よしのがりいせき)

地図上の位置(A) **正解ア**

地図上の位置(B) **正解オ**

地図上の位置(C) **正解カ**

①[岩宿遺跡](#) ④[登呂遺跡](#) ⑤[箸墓古墳](#)(はしはかこふん)

(3)発見場所: **正解②**[福岡県志賀島](#)

①[長崎県壱岐島](#) ③[長崎県平戸島](#) ④[福岡県能古島](#)(のこのしま)

博物館名: **正解③**[福岡市博物館\(福岡市\)](#)

①一支国博物館(壱岐市) ③九州国立博物館(太宰府市) ④長崎歴史文化博物館(長崎市)

(4)**正解②**[中臣鎌足](#)(2015)(2016)(2018)

①[橘諸兄](#)(たちばなのもろえ) ③[長屋王](#) ④[和気清麻呂](#)

(5)記述: **正解④**

遺構: **正解②**[防塁](#)

①名護屋城跡 ③防人 ④平戸城

(6)**正解④**(aとbとc)

(a)[浄土真宗\(一向宗\)](#)([親鸞](#))(2016)(2017))([悪人正機説](#))

(b)[浄土宗](#)([法然](#))([南無阿弥陀仏](#))

(c)[法華宗](#)([日蓮宗](#))([日蓮](#))([南無妙法蓮華經](#))

(7)**正解④**

[朱印船貿易](#)ではなく、[日明貿易\(勘合貿易\)](#)が正しい。

(8)[問1]**正解①**(a)と(b)

(a)は、[島原の乱](#)(2017)(2018)が正しい。(b)は、[平戸](#)が正しい。

[問2]**正解④**[鳴滝塾](#)

①[気吹舎](#)(いぶきのや) ②[咸宜園](#)(かんぎえん) ③[芝蘭堂](#)(しらんどう)

[問3]**正解①**[緒方洪庵](#)

②[佐久間象山](#) ③[二宮尊徳](#) ④[福沢諭吉](#)(2016)(2017)(2018)

[問4]**正解③**[反射炉](#)

①[台場](#) ②造船所 ④紡績工場

(9)[問1]**正解③**[支倉常長](#)

①[高山右近](#) ②[田中勝介](#) ④[山田長政](#)

[問2]**正解①**[小田原城](#)

②[春日山城](#) ③[竹田城](#) ④[松本城](#)(2015)(2016)

[問3]**正解②**[北上川](#)

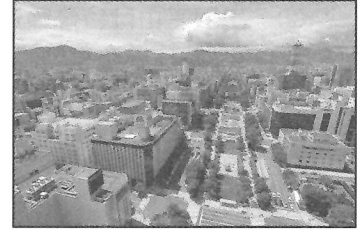
①[阿武隈川](#) ③[仙台港](#) ④[松島湾](#)

各問題に対する解答は配付したマークシートの解答欄にマークすること。例えば と表示のある問題に対して④と解答する場合は、解答番号 の解答欄の④にマークすること。

次の(1)~(20)の写真・地図や説明文について、それぞれの問いに答えなさい。

(1) 札幌に関する A~D の出来事に関し、以下の問いに答えなさい。

- A 琴似村（当時）に最初の屯田兵入植
- B 札幌農学校開校
- C 第 1 回さっぽろ雪まつり開催
- D 第 11 回冬季オリンピック開催



問 1 上の出来事を古い順番に正しく並べたものを、次の①~④から選びなさい。 (2 点)

- ① A-B-C-D ② A-B-D-C ③ B-A-C-D ④ B-A-D-C

問 2 A の屯田兵制度の目的について正しいものを、次の①~④から一つ選びなさい。 (2 点)

- ① 札幌の道路整備
- ② 先住民族との間の紛争処理
- ③ 辺境警備と開拓
- ④ 北海道庁警護

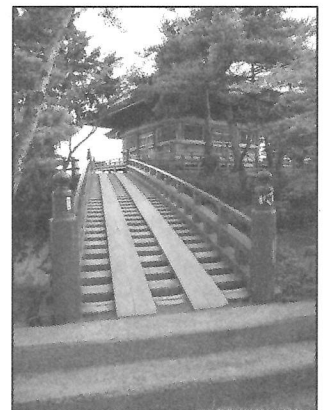
問 3 B の札幌農学校を卒業し、後に『武士道』を著した教育家・思想家は誰か、次の①~④から一つ選びなさい。 (2 点)

- ① 内村鑑三
- ② 岡倉天心
- ③ 新島襄
- ④ 新渡戸稲造

問 4 C の雪まつりは地元の中・高校生が雪像をそこに設置したことをきっかけに始まったが、以後も雪まつりの中心会場となっているその場所とはどこか、次の①~④から一つ選びなさい。 (2 点)

- ① 大倉山
- ② 大通公園
- ③ 羊ヶ丘展望台
- ④ 北海道大学

(2) 正式名称を「松島青龍山瑞巖円福禅寺」とする瑞巖寺は、現在 a 真言宗妙心寺派に属する。関ヶ原の戦い後に仙台城に移った b 伊達政宗は、それまで円福寺という名称であったこの寺の復興に着手し、1609 年に工事を完成させた。その間、景勝地松島にとっても景観上重要な建物である c 五大堂が再建され、瑞巖寺と改称されたこの寺の管理下に置かれた。明治維新を迎え、廃仏毀釈の動きや藩の d 地租改正によって瑞巖寺は大きな打撃を受けたが、1876 年、明治天皇の行在所となった際に下賜金があり、それが復興の契機となった。



問 1 上記の説明の中で、下線部 a~d について正しいものを選んだ組み合わせを次の①~④から一つ選びなさい。 (3 点)

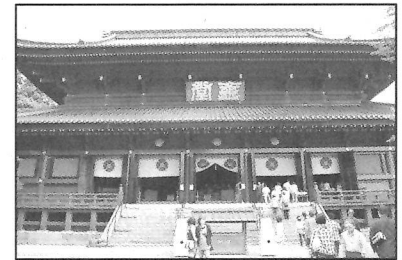
- ① a と c
- ② a と d
- ③ b と c
- ④ b と d

- (3) 右の写真は出羽三山のひとつ羽黒山にある五重塔であるが、出羽三山に関連する次の①～④の記述の中で、正しいものを一つ選びなさい。(3点)



- ① 出羽三山とは、羽黒山、鳥海山、蔵王山の総称である。
- ② 出羽三山は、修験道を中心とした山岳信仰の場として多くの修験者、参拝者を集めているが、その修験道の開祖は安倍晴明である。
- ③ 羽黒山を参詣した松尾芭蕉は、ここで『閑さや 岩にしみいる 蟬の声』の句を詠んだ。
- ④ 羽黒山の三神合祭殿には、出羽三山の神々が併せて祀られている。

- (4) 日光の輪王寺は、本堂(三仏堂)の他、徳川三代将軍、a 家光を祀る や、徳川家の信任が厚く日光の中興に大きく貢献した天台宗の僧 の墓所がある慈眼堂など多くの堂、本坊、支院からなっている。



- 問 1 下線部 a 家光の将軍在位期間に行われた事柄、出来事の正しい組み合わせを次の①～④から一つ選びなさい。(2点)

- ① 武家諸法度の制定 / 大坂夏の陣
- ② 参勤交代の制度化 / 島原の乱
- ③ 玉川上水の開削 / 慶安の変(由比正雪の乱)
- ④ 『大日本史』編纂 / 赤穂事件

- 問 2 空欄 に入る語句として正しいものを、次の①～④から選びなさい。(2点)

- ① 紫雲閣
- ② 大猷院
- ③ 中禅寺
- ④ 東照宮

- 問 3 空欄 に入る人物として正しいものを、次の①～④から選びなさい。(2点)

- ① 隠元
- ② 崇伝
- ③ 沢庵
- ④ 天海

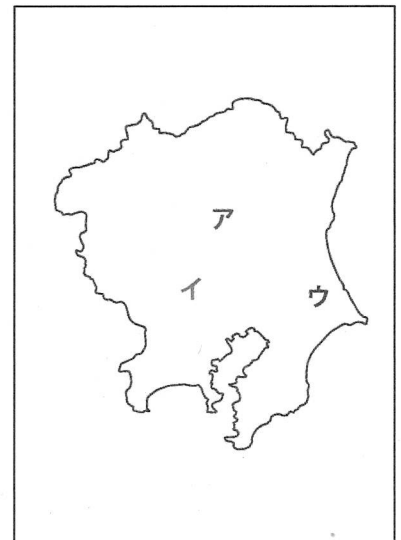
- (5) 江戸との関わりが深く、江戸のように栄えた町という意味合いで「小江戸」と呼ばれる都市は、今日も江戸の風情が漂う古い町並みが残っており、観光地になっているところが多い。次の 3 つの都市について、それぞれの問いに答えなさい。

A 栃木

市街の中央を流れる巴波川を利用した舟運による物資の集散地として、また、日光東照宮の大祭に から派遣される奉幣使が通行した日光例幣使街道の宿場町として北関東屈指の賑わいをみせた。また、1873年には、当時の宇都宮県と栃木県が合併してできた栃木県の県庁所在地でもあった。

B 川越

松平信綱や徳川綱吉の側用人として著名な など、江戸幕府の重臣や親藩が藩主を務めた川越藩の城下町として、新河岸川の舟運によって江戸と深く結びついた商業の町として栄えた。また、市制施行が埼玉県で一番早かった都市である。



C 佐原（現在の香取市）

利根川の付け替え事業によって、その水運を利用した江戸との交流が隆盛を極め、醸造業をはじめとする商業が繁栄した。また、実測日本地図を作成した が養家の酒造業を再興し、名主となるなど佐原の村政に尽くしたことも知られている。

問 1 空欄 に入る語句として正しいものを、次の①～④から選びなさい。 (2点)

- ① 伊勢神宮 ② 大名 ③ 朝廷 ④ 幕府

問 2 空欄 に入る人物として正しいものを、次の①～④から選びなさい。 (2点)

- ① 新井白石 ② 田沼意次 ③ 林羅山 ④ 柳沢吉保

問 3 空欄 に入る人物として正しいものを、次の①～④から選びなさい。 (2点)

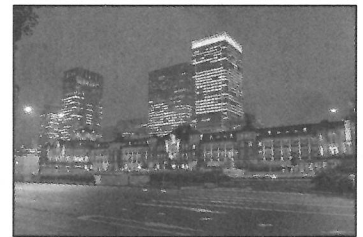
- ① 伊能忠敬 ② 関孝和 ③ 平賀源内 ④ 間宮林蔵

問 4 三つの都市について、正しく地図上に示したものを、次の①～④から選びなさい。 (2点)

- ① 栃木・・・ア 川越・・・イ 佐原・・・ウ
 ② 栃木・・・イ 川越・・・ウ 佐原・・・ア
 ③ 栃木・・・ウ 川越・・・ア 佐原・・・イ
 ④ 栃木・・・ア 川越・・・ウ 佐原・・・イ

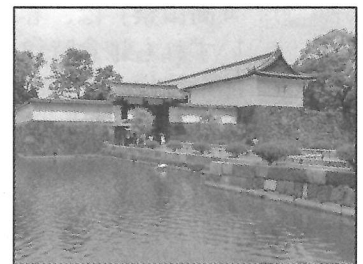
(6) 東京駅に関連する次の①～④の記述の中で正しいものを一つ選びなさい。 (3点)

- ① 1872年、東海道本線の起点として開業した。
 ② 1921年、丸の内南口で犬養毅首相が暗殺された。
 ③ 1923年に起こった関東大震災によって全壊した。
 ④ 1964年、東京～新大阪に東海道新幹線が開業した。

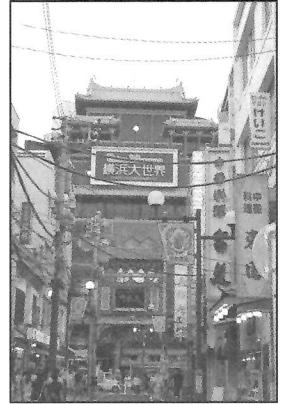


(7) 江戸城に関連する次の①～④の記述の中で正しいものを一つ選びなさい。 (3点)

- ① 1457年に北条早雲によって築城された。
 ② 徳川家康は1605年に将軍職を秀忠に譲った後も、死去するまで江戸城にて「大御所政治」をとった。
 ③ 天守閣は1657年の「明暦の大火」によって焼失し、以後、再建されることはなかった。
 ④ 1868年、新政府軍の攻撃によって落城した。



- (8) 日米修好通商条約など安政五カ国条約が結ばれた翌年の a 1859 年に横浜が開港となり、アメリカやイギリスなど諸外国から訪れた商人は、外国人居住地として設けられた b 「逗留地」に商館を開いた。彼らの横浜進出に伴って来日した中国人や、香港・上海との間の定期航路の開通によって来日した華僑貿易商などが集まり住むようになり、c 関帝廟や中華会館などを設け中華街を築いた。1894 年に d 日露戦争が勃発したことにより、中華街は一時厳しい状況となったが、戦争終結後再び活況を呈し、三民主義で知られる中国の革命家 A の来日に影響され、華僑の学校が創設された。



問 1 上記の説明の中で、下線部 a~d について正しいものを選んだ組み合わせを次の①~④から一つ選びなさい。(3点)

- ① a と b ② a と c ③ a と d ④ b と d 16

問 2 空欄 A に入る人物として正しいものを、次の①~④から選びなさい。(3点)

- ① 周恩来 ② 孫文 ③ 毛沢東 ④ 魯迅 17

- (9) 鎌倉の鶴岡八幡宮に関する次の①~④の記述の中で正しいものを一つ選びなさい。(3点)

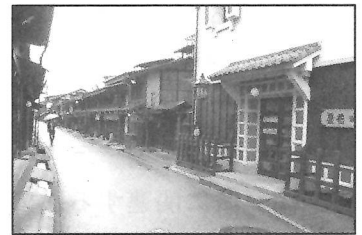
- ① 1180 年、源頼朝によって現在地に遷された。
 ② 1219 年、境内で源頼家が公暁に暗殺された。
 ③ 1561 年、関東管領職を相続した武田信玄が参拝した。
 ④ 1828 年、徳川慶喜の命により本殿が造営された。



18

- (10) 飛騨高山に関連する次の①~④の記述の中で正しいものを一つ選びなさい。(3点)

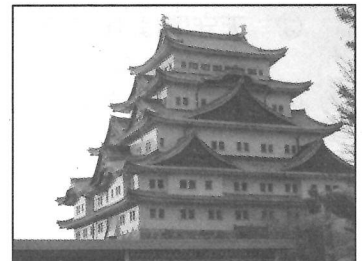
- ① 古代律令時代の飛騨国においては、庸・調に加え、都で寺院などの大工仕事に従事する者の派遣が課せられた。
 ② 「高山祭」は、春の「山王祭」と秋の「八幡祭」の総称であるが、いずれも鎌倉時代に始まった。
 ③ 江戸時代、金森氏が国替えされた後、高山は幕府の直轄地になった。
 ④ 「幕末の三舟」のひとりである勝海舟は、飛騨郡代となった父に従い幼少時を高山で過ごした。



19

- (11) 名古屋（尾張）藩に関する次の①~④の記述の中で正しいものを一つ選びなさい。(3点)

- ① 藩祖は徳川家康の四男、忠吉であり、忠吉は名古屋城に入った。
 ② 徳川御三家の筆頭であり、石高も全国の諸大名の中で最高であった。
 ③ 第七代藩主の宗春は、将軍位に就いた。
 ④ 藩領となった木曾地域はひのき等の木材資源で知られ、これらの木材は藩の重要な収入源の一つであった。



20

(12) 讃岐出身の弘法大師空海は、上京して大学などで儒教・仏教・道教を学び、804 年遣唐使の一員として唐に渡り、 で密教を学んだ 2 年後に帰国、 を建てて を開いた。また、弘法大師空海は嵯峨天皇から平安京の教王護国寺（東寺）を賜り、密教の根本道場とした。

問 1 空欄 に入る語句として最も適切なものはどれか、次の①～④から一つ選びなさい。 (2 点)

- ① 洛陽 ② 長安 ③ 成都 ④ 北京

問 2 空欄 に入る語句として最も適切なものはどれか、次の①～④から一つ選びなさい。 (2 点)

- ① 比叡山延暦寺 ② 石山本願寺
③ 仁和寺 ④ 高野山金剛峯寺



問 3 空欄 に入る語句として最も適切なものはどれか、次の①～④から一つ選びなさい。 (2 点)

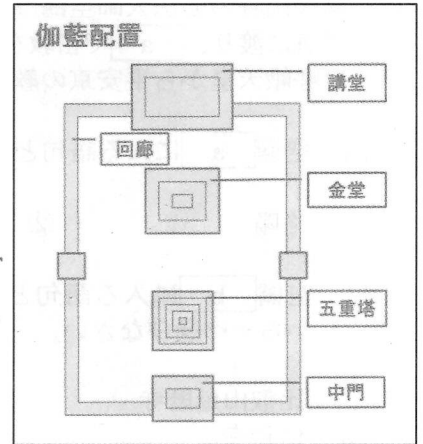
- ① 天台宗 ② 真言宗 ③ 浄土真宗 ④ 浄土宗

問 4 弘法大師空海ゆかりの四国八十八ヶ所霊場に関する記述のうち正しいものはどれか、次の①～④から一つ選びなさい。 (2 点)

- ① 札所を番号順に巡拝する遍路は、第 1 番札所のある阿波から四国を時計回りに土佐、伊予を廻り、讃岐の弘法大師空海誕生の地「善通寺」が八十八ヶ所結願の霊場となる。
② 八十八ヶ所すべての札所の納経所において、参拝者の納経帳等にお納経（ご朱印）と、弘法大師の御影（おすがた）を授かることができる。
 ③ 札所の一つ石手寺（松山）には、「南無大師 石手の寺よ 稲の花」と詠んだ正岡子規や夏目漱石が落書きをしていたといわれる大師堂（別号落書き堂）や国宝の二王門（仁王門）がある。
④ 札所の一つ屋島寺（高松）は、唐の学僧「玄奘」により創建されたと伝えられ、所在地の屋島は那須与一や源義経で有名な源平合戦の古戦場史跡がある。



- (13) 現在の大阪市にある a は、593 年 b 推古天皇の時代、厩戸王（聖徳太子）により建立されたと伝えられる。また、日本仏法最初の官寺と伝えられている。その伽藍配置は南から北に向かって中門、五重塔、金堂、講堂を一直線に配置し、それを回廊で囲む「a 式伽藍配置」といわれている。



問 1 空欄 a に入る語句として最も適切なものはどれか、次の①～④から一つ選びなさい。 (3 点)

- ① 飛鳥寺 ② 四天王寺 ③ 法隆寺（斑鳩寺） ④ 中宮寺

25

問 2 下線部 b の時代から、本格的な宮都が営まれるようになった。次の A～D の造営、遷都した天皇と都の組み合わせを正しく時代順に並べたものを、次の①～④から一つ選びなさい。 (3 点)

- A 天智天皇 — 近江大津宮（大津市）
 B 桓武天皇 — 平安京（京都市）
 C 元明天皇 — 平城京（奈良市）
 D 持統天皇 — 藤原宮（橿原市）

- ① A-D-C-B ② D-A-B-C ③ A-D-B-C ④ D-A-C-B

26

- (14) 右の写真の近江神宮は、中臣鎌足とともに蘇我蝦夷、入鹿を滅ぼし、大化の改新をすすめた中大兄皇子（後の天智天皇）を御祭神とし、かるた（小倉百人一首）の殿堂として国内外から大勢の参拝者を集めている。下記の和歌のうち小倉百人一首の巻頭に詠われ、天智天皇の作と伝えられる和歌はどれか、次の①～④から一つ選びなさい。 (3 点)



- ① 秋の田の かりほの庵の 苫をあらみ わが衣手は 露にぬれつつ
 ② 春すぎて 夏来にけらし 白妙の 衣ほすてふ あまの香具山
 ③ 田子の浦に うち出でてみれば 白妙の 富士の高嶺に 雪は降りつつ
 ④ あしびきの 山鳥の尾の しだり尾の ながながしよるを ひとりかも寝む

27

- (15) 琉球王国は、1429 年に中山王の尚巴志が北山・中山・南山の三山を統一してから、1879 年に日本に統合されるまで 450 年の歴史を持ち、三山時代以来、中国との朝貢貿易をはじめ日本、朝鮮、シヤム、マラッカなどの中継交易の地として栄えた。



問 1 琉球王国の日本統合までに関する記述のうち正しいものはどれか、次の①～④から一つ選びなさい。(3 点)

- ① 17 世紀初頭、薩摩の島津齊彬の軍に征服され、薩摩藩の支配下に入った。
- ② 薩摩の支配下に入った琉球王国は、琉球国王の代わりには「謝恩使」、藩主の代わりには「慶賀使」を琉球使節として、薩摩藩に派遣した。
- ③ 明の衰退とともに朝貢貿易は縮小し、17 世紀中ごろ、清の時代となった以降は、朝貢貿易は完全に消滅した。
- ④ 明治政府は全国で廃藩置県を実施した翌年、琉球王国を琉球藩とし、その後、沖縄県を設置した。

- (16) 江戸幕府 5 代将軍徳川綱吉の時代を迎え、幕政の安定と経済の発展に伴い、これまでの公家・僧侶・武士などの特権的な富裕層の文化から、一般の町人・商人・富農に至るまでの多彩な担い手による文化が誕生した。この時期の文化を元禄文化と呼ぶ。

問 1 大坂の醤油屋の手代徳兵衛と新地の遊女お初の心中事件をもとに書かれた人形浄瑠璃「世話物」の代表作『曾根崎心中』の作者として最も適当なものはどれか、次の①～④から一つ選びなさい。(3 点)



- ① 井原西鶴
- ② 竹田出雲
- ③ 竹本義太夫
- ④ 近松門左衛門

問 2 狩野派に学び、本阿弥光悦・俵屋宗達らの装飾的な画法を取り入れた尾形光琳が琳派をおこし、画家・工芸家として活躍した。次の①～④の美術品のうち根津美術館に所蔵され、尾形光琳の作品と伝えられているものはどれか、一つ選びなさい。(3 点)

- ① 舟橋蒔絵硯箱
- ② 風神雷神図屏風
- ③ 燕子花図屏風
- ④ 色絵雉香炉

- (17) 鎌倉幕府を開いた源頼朝の死後、頼朝の妻北条政子の父である北条時政が執権という地位につき、その子北条義時に継承され、政所と侍所の別当を兼ねて地位を固めた。一方、京都では、後鳥羽上皇が朝廷の政治を立直すため皇室領の荘園を手中におさめ、西面の武士をおいて軍事力の増強をはかるなど院政の強化に取り組んだ。1221年、後鳥羽上皇は a 北条義時追討の兵をあげたが、幕府の勝利に終わり、後鳥羽上皇は に配流され、北条氏による執権政治が 1333 年まで続くこととなる。

問 1 鎌倉時代の事象にかかわる次の記述のうち正しいものはどれか、次の①～④から一つ選びなさい。(3点)

- ① 下線部 a を「承久の乱」といい、後に北条義時は京都の朝廷を監視するため、空也上人開祖の古刹六波羅蜜寺近くに「京都守護職」をおいた。
- ② 武家最初の法典となる「貞観・延喜格式」が制定され、守護や地頭の任務と権限を定め、御家人の紛争を公平に裁く基準が明らかにされた。
- ③ フビライ＝ハンがおこした元と朝鮮高麗の軍勢が、13世紀後半に対馬・壱岐を攻め、博多湾に上陸した「文永の役」、南宋を滅ぼした元が、再び博多湾岸に迫った「弘安の役」の2回に渡る元軍の襲来を「蒙古襲来(元寇)」という。
- ④ 武士のあいだに禅宗が広まり、宋から帰国した一遍上人が、東山と号する建仁寺に臨済宗を開き、『立正安国論』を著して禅を興せずして国の安泰はないと説いた。

問 2 鎌倉幕府滅亡に影響を与え、「建武の新政」を始めた後醍醐天皇も一時配流された空欄 に入る地名はどれか、次の①～④から一つ選びなさい。(3点)

- ① 佐渡 ② 隠岐 ③ 土佐 ④ 伊豆

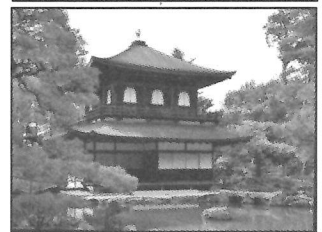
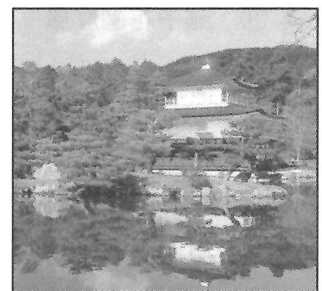
- (18) 1336年足利尊氏が「建武式目」を策定して幕府の設立を宣言し、1573年 が 15代将軍 を京都から追放するまでを室町時代という。

問 1 空欄 と空欄 に入る氏名の組み合わせのうち最も適当なものはどれか、次の①～④から一つ選びなさい。(2点)

- ① a 今川義元 - b 足利義昭 ② a 織田信長 - b 足利義政
- ③ a 今川義元 - b 足利義政 ④ a 織田信長 - b 足利義昭

問 2 室町時代の文化に関する次の記述のうち正しいものはどれか、次の①～④から一つ選びなさい。(2点)

- ① 足利尊氏が京都に創建した禅寺の天龍寺は、嵐山唯一のユネスコの世界遺産(文化遺産)で、夢窓疎石が作庭した曹源池庭園は高度な遠近法を使い、油土塀に囲まれた枯山水庭園の代表作である。
- ② 鹿苑寺金閣は、伝統的な寝殿造と禅宗様を折衷した建築様式をとり、第二次世界大戦時に焼失し、現在の金閣は再建されたもので、ユネスコの世界遺産(文化遺産)「古都京都の文化財」に登録されていない。
- ③ 歌舞・演劇の形をとる能が北山文化を代表する芸能として発達し、観世座に出た観阿弥・世阿弥父子が足利義満の保護を受け、猿楽能を完成させた。
- ④ 慈照寺銀閣は、幽玄・侘の精神的な美を基調とした数寄屋造の建築様式をとり、創建当時の建物はユネスコの世界遺産(文化遺産)「古都京都の文化財」に登録されている。



問 3 室町幕府の事象に関する次の記述のうち正しいものはどれか、次の①～④から一つ選びなさい。(2点)

- ① 足利尊氏とその弟直義の権力争いに端を発し、北朝・南朝を支持する守護大名が南北に分かれて繰り広げられた動乱を「応仁の乱」という。
- ② 瀬戸内の因島を根拠地とした九鬼水軍を起源とする海賊集団は、朝鮮半島や中国大陸沿岸を襲い、財産を奪う「倭寇」と呼ばれ恐れられていた。
- ③ 明が交付した勘合と呼ばれる証票を持参することを義務付けられた「勘合貿易(日明貿易)」が行われ、永楽通宝などの明の銅銭のほか「唐物」と呼ばれる生糸・高級織物・陶磁器が輸入された。
- ④ 「管領」は足利将軍を補佐する中心的な職で、侍所・政所の長官と、鎌倉公方を補佐する関東管領を兼務し、赤松・一色・山名・京極の4氏から任命された。

35

(19) 室町幕府が滅亡し、群雄割拠の戦国時代から全国統一をなした織田信長、羽柴(後の豊臣)秀吉の時代を安土・桃山時代と呼び、この文化を桃山文化という。

問 1 戦国大名の中から全国統一に乗り出した織田信長の足跡に関する記述のうち正しいものを、次の①～④から一つ選びなさい。(3点)

- ① 「桶狭間の戦い」において初めて鉄砲を大量に用いた戦法をとり、駿河・遠江の守護大名今川氏に勝利した。
- ② 「姉川の戦い」において徳川家康の援軍を受け、近江の浅井氏、越前の朝倉氏に勝利した。
- ③ 金属加工、貿易港として栄えてきた「堺」の鉄砲職人や貿易商人から経済的な支援を得るため、「楽市令」を出し、堺の会合衆による自治を保証した。
- ④ 南蛮貿易の保護、拡大のためキリスト教の日本布教を認め、イエズス会フランシスコ・ザビエルの勧めにより、「天正遣欧使節」をローマ教皇のもとに派遣した。

36

問 2 織田信長の後を引き継いだ羽柴(後の豊臣)秀吉の足跡に関する A～D の記述を正しく時代順に並べたものを、次の①～④から一つ選びなさい。(3点)

- A. 朝廷から関白に任じられ、翌年太政大臣となり豊臣の姓を賜る。
- B. 太閤検地を施行し、大坂城築城に着手。
- C. 一揆を防止し、百姓を農業に専念させるため「刀狩令」を出し百姓の武器を没収した。
- D. 「人掃令」により武家の奉公人が町人・百姓になることや、百姓が商人・職人になることを禁止した。

- ① A-B-D-C ② B-A-C-D ③ A-B-C-D ④ B-A-D-C

37

問 3 安土・桃山時代を代表する画家で京都東山にある智積院襖絵「楓図」の作者として伝えられ、かつ「松林図屏風(東京国立博物館蔵)」の作者としてあてはまるものを、次の①～④から一つ選びなさい。(2点)

- ① 狩野永徳 ② 狩野山楽 ③ 海北友松 ④ 長谷川等伯

38

問 4 桃山文化を象徴する城郭建築においては、全国統一の勢威を示すため雄大・華麗なものが造られた。京都市北区の「大徳寺唐門」、京都市下京区の「西本願寺飛雲閣」は、桃山文化を代表する城郭 の遺構と伝えられている。空欄 に入る最も適切な語句はどれか、次の①～④から一つ選びなさい。(2点)

- ① 聚楽第 ② 伏見城（桃山城） ③ 大坂城 ④ 安土城

(20) 1851年に万国博覧会がロンドンで初めて開催され、1862年2度目のロンドン万国博覧会には、日本から a 文久遣欧使節団 が初めて視察し、1867年第2回パリ万国博覧会において日本からの初出品が実現した。

問 1 下線部 a は徳川幕府が派遣した遣欧使節団のことで、その一員に豊前中津藩士で長崎、大坂で蘭学を学び、後に『学問のすゝめ』、『西洋事情』を著わした啓蒙思想家、教育家がいた。その人物としてあてはまるものを、次の①～④から一つ選びなさい。(3点)

- ① 大隈重信 ② 福沢諭吉 ③ 支倉常長 ④ 渡辺崋山

日本歴史—1 (解答番号 ~) 平成 29 年度

各問題に対する解答は配付したマークシートの解答欄にマークすること。例えば と表示のある問題に対して④と解答する場合は、解答番号 の解答欄の④にマークすること。

次の(1)~(17)の写真や説明文について、それぞれの問いに答えなさい。

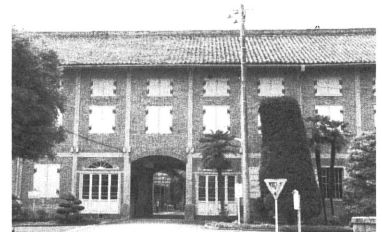
- (1) 「露坐の大仏」として名高い鎌倉大仏は、 の本尊で、国宝の銅造阿弥陀如来坐像である。
鎌倉市の「歴史的風土特別保存地区」に建長寺、円覚寺、、鎌倉大仏等が指定されている。



- 問 1 空欄 に入る語句として、最も適切なものはどれか、次の①~④から一つ選びなさい。(2点)
- ① 奥の院 ② 妙法院 ③ 高德院 ④ 平等院

- 問 2 空欄 に入る語句として、最も適切なものはどれか、次の①~④から一つ選びなさい。(2点)
- ① 熱田神宮 ② 鶴岡八幡宮 ③ 櫛田神社 ④ 春日大社

- (2) 明治新政府の政策の中で、教育の近代化と近代産業の育成のために、1872年、学制を公布して、国民に対する小学校教育の普及を旨とした。また、 等の 工場を作り、 を推し進め、近代工業の育成に努めた。



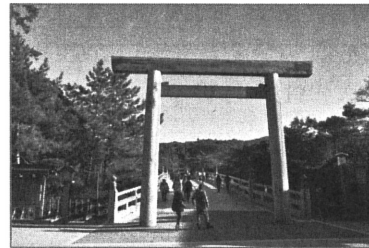
- 問 1 空欄 は、2014年に世界文化遺産に登録されたものである。最も適切なものはどれか、次の①~④から一つ選びなさい。(2点)
- ① 小菅修船場 ② 富岡製糸場 ③ 三菱長崎造船所 ④ 八幡製鉄所

- 問 2 空欄 に当てはまる語句で最も適切なものはどれか、次の①~④から一つ選びなさい。(3点)
- ① 官営 ② 軍需 ③ 製鉄 ④ 民間

- 問 3 空欄 に当てはまる語句で最も適切なものはどれか、次の①~④から一つ選びなさい。(3点)
- ① 国民皆兵 ② 殖産興業 ③ 廃仏毀釈 ④ 文明開化

- 問 4 空欄 の設立にあたり、海外より技術指導を受け、機械を導入した。これに関連した国で最も適切なものはどれか、次の①~④から一つ選びなさい。(3点)
- ① アメリカ ② イギリス ③ フランス ④ ロシア

- (3) 「お伊勢さん」と呼ばれる伊勢神宮は、正式には「神宮」といい、
a 天照大御神を祀る内宮（皇大神宮）と b 豊受大御神を祀る外宮（豊受大神宮）、および両社に所属する 123 の宮社からなっている。c 40 年ごとに行われる「式年遷宮」が始まったのは d 794 年の持統天皇の時代であるといわれる。



問 1 上記の説明の中で、下線部 a~d について正しいものを選んだ組み合わせを次の①~④から一つ選びなさい。 (3 点)

- ① a と b ② a と c ③ b と d ④ c と d 7

問 2 「伊勢参り」についての記述の中で正しいものはどれか、次の①~④から一つ選びなさい。 (3 点)

- ① 天皇以外が参拝出来るようになったのは室町時代である。
 ② 庶民の移動が厳しかった江戸時代に、伊勢神宮参詣を目的の通行手形では京や大坂に寄ることは出来なかった。
 ③ 「お蔭参り」とは江戸時代の伊勢神宮への民衆の集団参拝のことである。
 ④ 「伊勢参り」の賑わいを描いた浮世絵「伊勢参宮・宮川の渡し」の作者は葛飾北斎である。

8

- (4) 右の写真は、真言宗御室派総本山の寺院にある五重塔である。この寺院は、888 年に先帝の遺志を引き継いだ宇多天皇によって完成された。宇多天皇が譲位後、この寺院に御室を設けて住んだことから御室御所と称され、以降、皇室出身者が代々門跡を務める門跡寺院として高い格式を保った。1994 年に世界文化遺産に登録され、境内の「御室桜」でも著名なこの寺院の名称として正しいものはどれか、次の①~④から一つ選びなさい。 (3 点)



- ① 仁和寺 ② 東寺 ③ 知恩院 ④ 広隆寺 9

- (5) 右の写真の城は、徳川家康が西国の諸大名に築城を課し、1603年に完成した。1611年には家康が豊臣秀頼と会見したことで知られている。この城を舞台に行われた歴史上、最も大きな出来事は、1867年10月に徳川慶喜が二の丸御殿大広間に在京諸藩の重臣を集め、「大政奉還」の意思を表明したことである。1994年に世界文化遺産に登録されたこの城の名称として正しいものはどれか。次の①～④から一つ選びなさい。



(3点)

- ① 亀山城 ② 二条城 ③ 伏見城 ④ 淀城

- (6) 右の写真の寺院は、南都六宗の一つである律宗の総本山、唐招提寺である。この寺院のはじまりは、苦難の末、来日を果たした唐の高僧が759年にこの地に修行道場を開いたことによる。その高僧とは誰か。次の①～④から一つ選びなさい。



(3点)

- ① 行基 ② 玄奘 ③ 鑑真 ④ 最澄

- (7) 「明治維新胎動之地」として知られる萩（山口県）及び長州藩（萩藩）に関する事柄について、以下の問いに答えなさい。



- 問1 後に明治維新の原動力となる多くの逸材を輩出した「松下村塾」を主宰した人物を次の①～④から一つ選びなさい。 (3点)

- ① 吉田松陰 ② 久坂玄瑞 ③ 木戸孝允 ④ 伊藤博文

- 問2 1863年、高杉晋作によって編成された軍事組織の名称を次の①～④から一つ選びなさい。 (3点)

- ① 陸援隊 ② 海援隊 ③ 歩兵隊 ④ 奇兵隊

- (8) a 戊辰戦争とは、旧幕府軍と薩摩藩（鹿児島藩）・長州藩（萩藩）を中心とする新政府軍が 1868 年 1 月に始まった鳥羽・伏見の戦いを皮切りとして、会津戦争、b 箱館戦争で旧幕府軍を降伏させた戦争をいう。



問 1 下線部 a に関連した記述の中で正しいものはどれか、次の①～④から一つ選びなさい。 (3 点)

- ① 鳥羽・伏見の戦いとは、土佐藩（高知藩）を中心とした旧幕府側が新政府軍に負けた戦いである。
- ② 彰義隊の戦いとは、旧幕府軍の彰義隊が徳川慶喜を擁護するため、浅草寺にて新政府軍に反抗した戦いである。
- ③ 甲州勝沼の戦いとは、勝海舟が甲陽鎮撫隊の隊長になり甲州勝沼にて一戦を交えた戦いである。
- ④ 会津戦争では、白虎隊の若い隊士が飯盛山で自刃した。

問 2 下線部 b に関連して、箱館戦争で戦死した人物は誰か、次の①～④から一つ選びなさい。 (2 点)

- ① 沖田総司 ② 近藤勇 ③ 永倉新八 ④ 土方歳三

- (9) 尾張の戦国大名であった織田信長は、a 桶狭間の戦いで今川義元を破り、b 長篠の戦いでは鉄砲を有効に使用した戦法で c 甲斐の上杉謙信を破り、翌年、d 豪華な天守閣の大坂城を築いた。その城下では市や座で特権を持っていた商工業者の権利を取り上げ、自由に商工業ができる政策をすすめた。



問 1 下線部 a～d で、正しいものの組合せはどれか、次の①～④から一つ選びなさい。 (3 点)

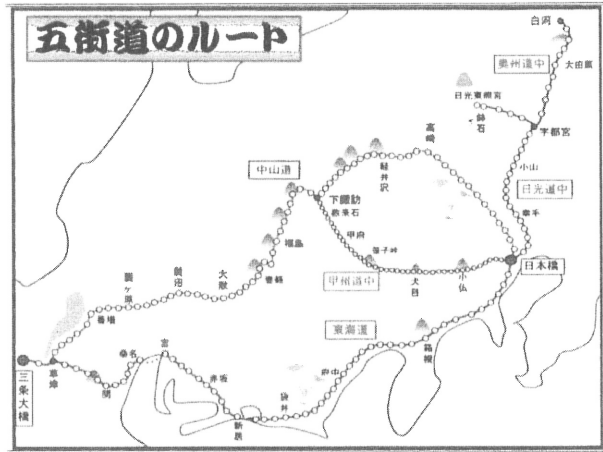
- ① a・b ② b・c ③ c・d ④ a・d

問 2 織田信長が行った、「城下で市や座で特権を持っていた商工業者の権利を取り上げ、自由に商工業ができる政策」で最も適切なものはどれか、次の①～④から一つ選びなさい。 (2 点)

- ① 太閤検地 ② 地租改正 ③ 楽市楽座 ④ 兵農分離

問 3 1582 年、織田信長は家臣の明智光秀の謀反により京都に滞在していた時、自害に追い込まれた。その滞在していた施設の名前で最も適切なものはどれか、次の①～④から一つ選びなさい。 (2 点)

- ① 石山本願寺 ② 聚楽第 ③ 建仁寺 ④ 本能寺



(10) 徳川幕府は、江戸と地方を結ぶ重要な交通路として江戸の日本橋を起点に a 東海道、中山道、甲州道中 (街道)、奥州道中 (街道)、 b 日光道中 (街道)、の五街道を整備した。その沿道には宿場町が発達し、現在もその町並みを残す宿場町は、今では多くの外国人観光客が訪れる観光スポットとなっている。

問 1 下線部 a に関連して、次の文章の空欄に入る人物で最も適切なものはどれか、次の①～④から一つ選びなさい。 (3点)

中山道にある「馬籠宿」は、木曾十一宿の一つで美濃との境にあり、急な坂道の両側に石を積んで家を建て、旅籠や飯屋が軒を並べていた。その宿場町の本陣跡には 記念館がある。

- ① 島崎藤村 ② 夏目漱石 ③ 福沢諭吉 ④ 森鷗外 19

問 2 下線部 a に関連して、次の文章の空欄に入ることがらで最も適切なものはどれか、次の①～④から一つ選びなさい。 (3点)

東海道の箱根関所では、特に の監視が関所の重要な役割とされていた。

- ① 通行手形 ② 「浮世絵」又は「浮世絵(春画)」 ③ 入鉄砲に出女 ④ 抜荷 20

問 3 下線部 a に関連して、次の文章で正しいものはどれか、次の①～④から一つ選びなさい。 (3点)

- ① 『富嶽三十六景』の作者は、松尾芭蕉である。
 ② 『東海道五十三次』の作者は、葛飾北斎である。
 ③ 『甲州道中膝栗毛』の作者は、仮名垣魯文である。 21
 ④ 『奥の細道』の作者は、歌川(安藤)広重である。

問 4 下線部 b に関連して、2017 年に「平成の大修理」を終了した日光東照宮についての文章で正しいものはどれか、次の①～④から一つ選びなさい。 (3点)

- ① 日光東照宮の祭神は徳川家光である。
 ② 日光東照宮を造営したのは徳川家康である。
 ③ 日光東照宮の「眠り猫」の作者は俵屋宗達といわれる。
 ④ 日光東照宮の「陽明門」は「日暮の門」といわれる。 22

(11) 世界文化遺産の a 中尊寺のある平泉は、東北地方を治めていた奥州藤原氏一族が 4 代にわたり統治し、平安時代の約 100 年もの間栄えた。豊富だった金や馬等を利用して、当時の都をしのぐ都市を平泉に築いたとされている。



下線部 a に関連して、次の文章の空欄に入る人物で最も適切なものはどれか、次の①～④から一つ選びなさい。(3 点)

中尊寺は、850 年に比叡山延暦寺の高僧 によって開かれたとされる。その後、12 世紀初めに奥州藤原氏初代清衡によって大規模な堂塔造営が行われた。

- ① 弘法大師空海 ② 慈覚大師円仁 ③ 親鸞上人 ④ 伝教大師最澄

(12) 右の写真は、「関ヶ原の戦い」後に入封した井伊氏によって 1622 年に完成したとされる で、その天守は国宝に指定されている。歴代藩主の中には幕末期に大老となった井伊直弼がいる。開国論を展開、尊王攘夷派の志士等を厳しく取り締まった直弼は、1860 年に水戸の浪士らによって暗殺された。この事件は、 と呼ばれる。



問 1 空欄 に入る語句で正しいものはどれか、次の①～④から一つ選びなさい。(2 点)

- ① 長浜城 ② 佐和山城 ③ 彦根城 ④ 安土城

問 2 空欄 に入る語句で正しいものはどれか、次の①～④から一つ選びなさい。(2 点)

- ① 坂下門外の変 ② 桜田門外の変 ③ 天誅組の変 ④ 蛤御門の変

(13) 右の写真は、足利尊氏を開基とし、夢窓疎石を開山として京都嵐山に建つ臨濟宗の寺院、 である。この寺に関連する問 1～問 3 の各問に答えなさい。



問 1 空欄 は、足利尊氏が敵対関係にあった人物の菩提を弔うことを目的に建立された。その人物と空欄 の組み合わせで正しいものを次の①～④から一つ選びなさい。(2 点)

- ① 楠木正成—観心寺 ② 後醍醐天皇—天龍寺 ③ 新田義貞—大光院 ④ 北条高時—東勝寺

問 2 空欄 造営費用の捻出のため、後に「 船」と呼ばれる貿易船を中国に派遣することになるが、当時の中国の国名を次の①～④から一つ選びなさい。(3 点)

- ① 宋 ② 元 ③ 明 ④ 清

問 3 空欄 は、1386 年には「京都五山」の第一位と位置付けられたといわれている。その時以来「五山」の上に置かれたとされ、琵琶湖疎水の水道橋（水路閣）や参道の「湯豆腐」で有名な寺院はどこか、次の①～④から一つ選びなさい。(3 点)

- ① 南禅寺 ② 相国寺 ③ 東福寺 ④ 大徳寺

(14) 厳島（宮島）に関する①～④の記述の中で、正しいものを一つ選びなさい。(3 点)



- ① 厳島神社は、平清盛によって創建された。
② 後白河法皇・高倉上皇・建礼門院ら多くの皇族・貴族が厳島神社を参詣した。
③ 1185 年、「厳島の戦い」によって平氏は滅亡した。
④ 厳島神社は 1996 年にユネスコの「世界自然遺産」に登録された。

(15) 右の写真は太宰府天満宮である。以下、太宰府天満宮に関連する問 1～問 3 の各問に答えなさい。



問 1 太宰府天満宮の祭神である菅原道真に関する①～④の記述の中で正しいものを一つ選びなさい。

(3 点)

- ① 886 年に讃岐守となるが、現地には赴任していない。
② 唐の国情や航海の危険などを理由に遣唐使停止を建議した。
③ 藤原道長の讒言によって大宰府に左遷された。
④ 宇多天皇の命で「続日本後紀」を編纂した。

問 2 菅原道真が詠んだ和歌にも登場し、太宰府のみならず多くの天満宮・天神社の神紋になっている花木を①～④から一つ選びなさい。(2 点)

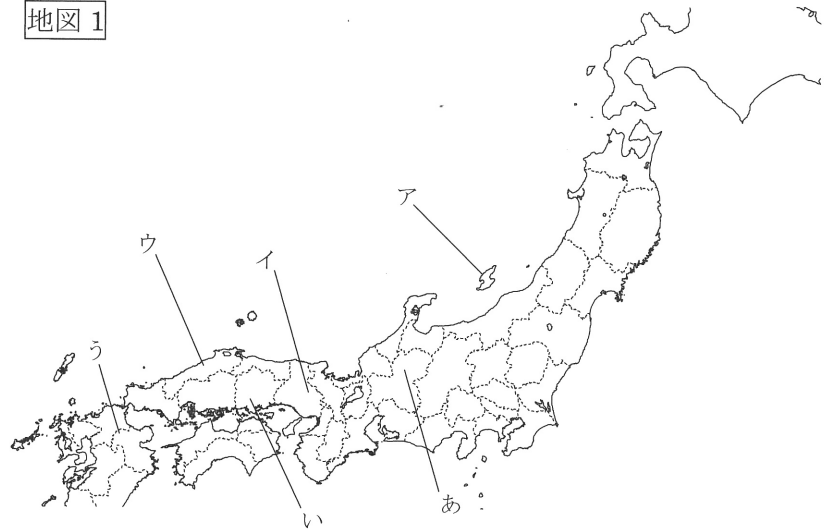
- ① 桜 ② 梅 ③ 桃 ④ 椿

問 3 太宰府天満宮と並んで全国の天満宮・天神社の総本社とされている神社を次の①～④の中から一つ選びなさい。(3 点)

- ① 北野天満宮（京都府） ② 長岡天満宮（京都府）
③ 防府天満宮（山口県） ④ 滝宮天満宮（香川県）

(16) 「天領」とは本来、天皇、朝廷の直轄地を指すものであったが、明治維新以降は、江戸幕府が直轄していた領地も「天領」とよぶことが定着した。江戸幕府は、金銀など豊かな鉱物資源を産出する地や交通の要衝などを「天領」としたが、この「天領」においては、繁栄をもたらされると同時に独自の文化を开花させ、今日でも、外国人旅行者にも魅力的な観光地となっているところが多い。

地図 1



問 1 次の A は「天領」となった鉱山に関する記述であるが、その内容に当てはまる名称を①～③から一つ選び、地図上の位置をア～ウから一つ選びなさい。(各 2 点)

A 1601 年、江戸幕府は大久保長安を初代奉行に任命した。当時、世界の産銀量の約 3 分の 1 を占めた日本銀のかなりの部分がここで産出されたと考えられている。支配の中心地区であった大森は、1800 年の大火により町の大半が焼失するが、新しい町づくりが始まり、建物のほとんどが特徴的な瓦屋根に再建された。1866 年には幕府の制裁に対抗して長州軍が大森に進駐した。

- ① 佐渡金山 ② 生野銀山 ③ 石見銀山

名称：33

地図上の位置：34

問 2 次の B は「天領」となった要地に関する記述であるが、その内容に当てはまる地名を①～③から選び、地図上の位置を「あ」～「う」から一つ選びなさい。(各 2 点)

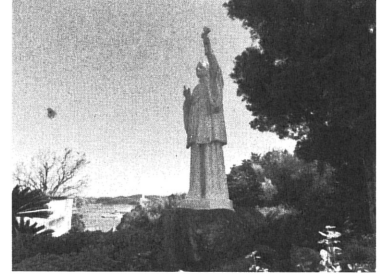
B 1642 年に江戸幕府直轄の「天領」となり代官所が置かれたこの地は、物資輸送の集積地として、川沿いには塗屋造りの町家や白壁土蔵造りを中心とする町並みが形成された。江戸時代中後期には、周辺地域で行われていた綿作の発展により綿加工業が展開され、後の繊維産業発展の礎となった。当地は明治維新によって不振に陥ったが、大原氏が中心となり 1888 年に創設された紡績所の隆盛とともに再び発展していくことになる。

- ① (飛騨) 高山 ② (備中) 倉敷 ③ (豊後) 日田

地名：35

地図上の位置：36

(17) 1549 年に来日したフランシスコ・ザビエルと日本におけるキリスト教に関する事柄について以下の問いに答えなさい。



問 1 ザビエルに関する①～④の記述の中で正しいものを一つ選びなさい。 (3 点)

- ① ザビエルが来日するきっかけとなったのは、オランダ国王の要請を受けインドに派遣されたことによる。
- ② ポルトガル人により種子島に火縄銃が伝わったのは、ザビエルの来日後である。
- ③ 天皇と室町幕府の許可を得て、京都で布教活動を行った。
- ④ ザビエルを豊後府内（現：大分市）に招いた大友宗麟は、後にキリスト教の洗礼を受けた。

問 2 以下の A～C は徳川幕府成立後に起きた事柄である。A～C を起こった順に正しく並べたものを、①～④から一つ選びなさい。 (3 点)

- A 禁教令（キリスト教を禁止する法令）が全国に及ぼされた。
- B キリスト教徒の農民らによる島原の乱（島原・天草一揆）
- C 寛永十六年禁令（第五次鎖国令ともいわれる、ポルトガル船の来航禁止）

- ① A-B-C
- ② A-C-B
- ③ B-A-C
- ④ C-B-A

日本歴史—1 (解答番号 ~) 平成 28 年度

各問題に対する解答は配付したマークシートの解答欄にマークすること。例えば と表示のある問題に対して⑤と解答する場合は、解答番号 の解答欄の⑤にマークすること。

1 次の(1)~(11)は、日本の観光地等の写真とそれに関する説明である。それらを参照しつつ、それぞれの問いに答えなさい。



(1) この写真は、聖徳太子（厩戸皇子）が住んでいた斑鳩宮跡に行信僧都という高僧が聖徳太子の遺徳を偲び8世紀に建設した上宮王院（法隆寺東院伽藍）の中心となる建物で、八角円堂の中央の厨子には聖徳太子等身と伝えられる秘仏救世観音像が安置されている。この建築物の名称として適当なものはどれか。次の①~④から選びなさい。 (2点)

- ① 西円堂 ② 大宝蔵院 ③ 伝法堂 ④ 夢殿



(2) この写真は、680年天武天皇が皇后（後の持統天皇）の病氣平癒を祈願するために寺院の建立を発願し、天武天皇が崩御された後、持統天皇により藤原京に建設された寺院の金堂であり、この寺院は、平城京遷都に伴い718年に現在の西ノ京に移転されたものである。730年に建てられた東塔（現在修理解体中）を除き多くの堂宇が火災や戦乱によって焼失したものの、往時の姿に戻りつつある。この建築物のある寺院の名称として適当なものはどれか。次の①~④から選びなさい。 (2点)

- ① 元興寺 ② 唐招提寺 ③ 室生寺 ④ 薬師寺



(3) 下記の説明の中で、下線部 a~d のうち、誤っているものはどれか。次の①~④から選びなさい。

この写真は、東大寺の正倉院で、756年に a 光明皇后 が、b 桓武天皇 の冥福を祈念して天皇の遺品を奉獻したのが始まりで、同寺の大仏開眼供養や重要な法会に用いられた仏具や什器類などが多数保存されてきた。
c 中国の唐との交流から国際色豊かな文化が最も栄えた時期の文化は、この天皇が治めた年号をとって d 天平文化 と呼ばれている。 (2点)

- ① a ② b ③ c ④ d



(4) この写真は、奈良時代（8世紀）に制作された仏像である。この仏像の名称を①~④から選び、この仏像を収蔵している寺院を①~④から選びなさい。

(各2点×2)

- 仏像： ① 阿修羅像 ② 迦楼羅像 ③ 帝釈天像 ④ 梵天像
寺院： ① 興福寺 ② 東大寺 ③ 室生寺 ④ 薬師寺



- (5) この写真は、794 年の平安京造営の 2 年後国家鎮護のために羅城門の東に創建された寺院の講堂である。この講堂は弘法大師空海に下賜された後に真言密教の根本道場として創建されたが、1486 年焼失したため 1491 年に再建された。この建築物のある寺院の名称として適当なものはどれか。次の①～④から選びなさい。(2 点)

① 教王護国寺 (東寺)

② 高山寺

③ 西芳寺

④ 清水寺



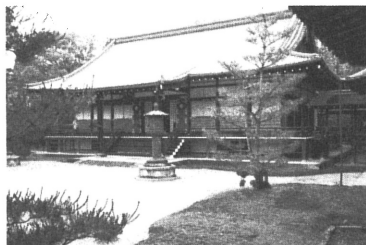
- (6) この写真は、1052 年関白藤原頼通が父の道長より譲り受けた別業(別荘)を仏寺としたものであり、翌年の 1053 年にはこの阿弥陀堂が落慶し、堂内には平安時代の仏師定朝が制作した阿弥陀如来座像が安置された。約 1000 年前の建築物や仏像が今に伝えられている。この寺院の名称として適当なものはどれか。次の①～④から選びなさい。(2 点)

① 西大寺

② 仁和寺

③ 平等院

④ 蓮華王院



- (7) この写真は、ある寺院の御影堂である。この寺院の前身は、平安初期に嵯峨天皇が皇后と御成婚された時に離宮として建立されたのが始まりで、離宮嵯峨院と呼ばれていた。その後、876 年に天皇の皇孫恒寂入道親王が開山(寺院の創始者)として開創し寺院となった。弘法大師空海のおすすめにより嵯峨天皇が浄書された般若心経が勅封され、般若心経の写経の根本道場として知られている。この寺院の名称として適当なものはどれか。次の①～④から選びなさい。(2 点)

① 神護寺

② 大覚寺

③ 天龍寺

④ 妙心寺



- (8) この写真は、593 年に建立された寺院である。『日本書紀』によると、蘇我馬子と物部守屋との合戦の際、崇仏派の蘇我氏についての聖徳太子が形勢の不利を打破するための誓願をして、勝利の後にその誓いを果たすために建立されたと伝えられている。この寺院の伽藍配置は、南から北へ向かって、中門、五重塔、金堂、講堂を一直線に並べ、それを回廊が囲む形式で、6～7 世紀の大陸の様式を今日に伝える貴重な建築様式といわれる。この寺院の名称として適当なものはどれか。次の①～④から選びなさい。(2 点)

① 広隆寺

② 四天王寺

③ 橘寺

④ 法起寺



- (9) この写真は、1185 年平家滅亡の際に平家とともに崩御された安徳天皇をお祀りした神社である。この神社は、かつては阿弥陀寺と称していたが、明治時代に寺を廃し、神社となり現在に至っている。この神社の名称を①～④から、この阿弥陀寺が舞台となった物語を①～④から選びなさい。

(各 3 点×2)

神社： ① 赤間神宮

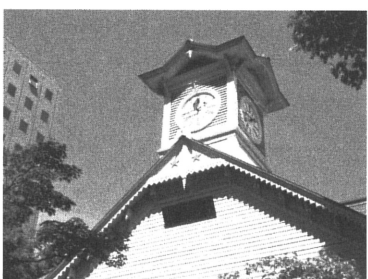
② 宇佐神宮 ③ 大山祇神社 ④ 香椎宮

10

物語： ① 浦島太郎

② 笠地蔵 ③ 舌切り雀 ④ 耳なし芳一

11



- (10) この写真は、北海道札幌市にある札幌市時計台（正式名称は旧札幌農学校演武場）である。札幌市を代表する観光名所として広く知られている。札幌農学校は a 北海道大学 の前身であり、開拓使によって 1876 年に開校された。卒業生には、『代表的日本人』を英文で著した内村鑑三や b『武士道』 を英文で著した新渡戸稲造、後には c『羅生門』 を著した有島武郎などがいる。学校の設置母体である開拓使には多くの官営工場が開設され、ビールを製造した開拓使麦酒醸造所もその 1 つである。この麦酒醸造所は、開拓使の象徴であった星印をビールの瓶や缶に付けて売り出した d 麒麟麦酒株式会社 の前身である。

問 1 上記の説明の中で、下線部 a～d のうち、誤っているものの組み合わせとして適当なものはどれか。次の①～④から選びなさい。 (3 点)

① a と b ② b と c ③ c と d ④ 誤っているものはない

12

問 2 札幌農学校の初代教頭として来日、日本を離れる際に「Boys, be ambitious」(少年よ大志を抱け)と語ったといわれている人物は誰か。次の①～④から選びなさい。 (2 点)

① クラーク ② ケプロン ③ フェノロサ ④ メーソン

13

問 3 この時期には北海道で最初の鉄道が開業し、北海道開拓に貢献している。1880 年に着工し、蒸気機関車「弁慶号」による試運転を経て、同年 11 月に官営幌内鉄道が札幌まで開通した。同鉄道が着工された現在の都市はどこか。次の①～④から選びなさい。 (2 点)

① 江別市 ② 余市町 ③ 小樽市 ④ 函館市

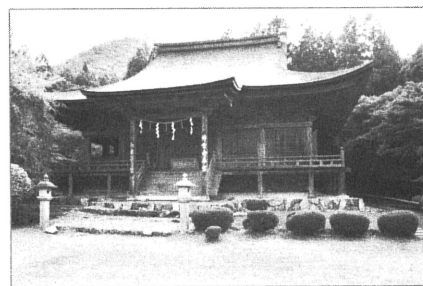
14

(11) 福井県小浜市は若狭町とともに、2015 年 4 月に「海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群～御食国若狭と鯖街道～」として文化庁から日本遺産に認定された。この小浜市は、かつての若狭国の中心であり、現在の福井県は若狭国と越前国によって構成されている。この説明に関連する問 1～問 4 の各問いに答えなさい。

問 1 小浜には、江戸時代に小浜藩が置かれ、小浜藩の藩医の子であり、自身も小浜藩医となった人物に杉田玄白がいる。杉田玄白が前野良沢らと、オランダから伝えられた『ターヘル＝アナトミア』を翻訳して出版したものはどれか。次の①～④から選びなさい。(2点)

- ①『解体新書』 ②『西洋紀聞』 ③『ハルマ和解』 ④『蘭学階梯』

問 2 この写真は神宮寺（若狭神宮寺）である。神宮寺では毎年 3 月 2 日に「お水送り」の神事が行われている。このお香水により「お水取り」が行われる奈良の寺院はどこか。次の①～④から選びなさい。(2点)



- ① 興福寺 ② 東大寺 ③ 法隆寺 ④ 薬師寺

問 3 この神宮寺（若狭神宮寺）は現存する数少ない神宮寺の 1 つであり、全国にあった多くの神宮寺は、明治時代の初めに起こった廃仏毀釈により破壊された。1868 年に出され、廃仏毀釈の激化に影響を与えたといわれるものはどれか。次の①～④から選びなさい。(3点)

- ① 王政復古の大号令 ② 神仏分離令 ③ 大教宣布の詔 ④ 大政奉還

問 4 現在の越前市を中心に良質のものが古くから生産されていたが、福井藩（越前藩）が専売制を敷いた生産品は何か。次の①～④から選びなさい。(2点)

- ① 藍玉 ② 藺草 ③ 黒砂糖 ④ 和紙

2 日本の歴史(世界との関わりを含む)について、それぞれの問いに答えなさい。

(1) 次の A~C の写真は、どの時代と関係が深いか。次の①~④から最も関係の深い時代を選びなさい。
(各 2 点×3)

A (銅鐸)



B (埴輪)



C (土偶)



① 旧石器時代

② 古墳時代

③ 縄文時代

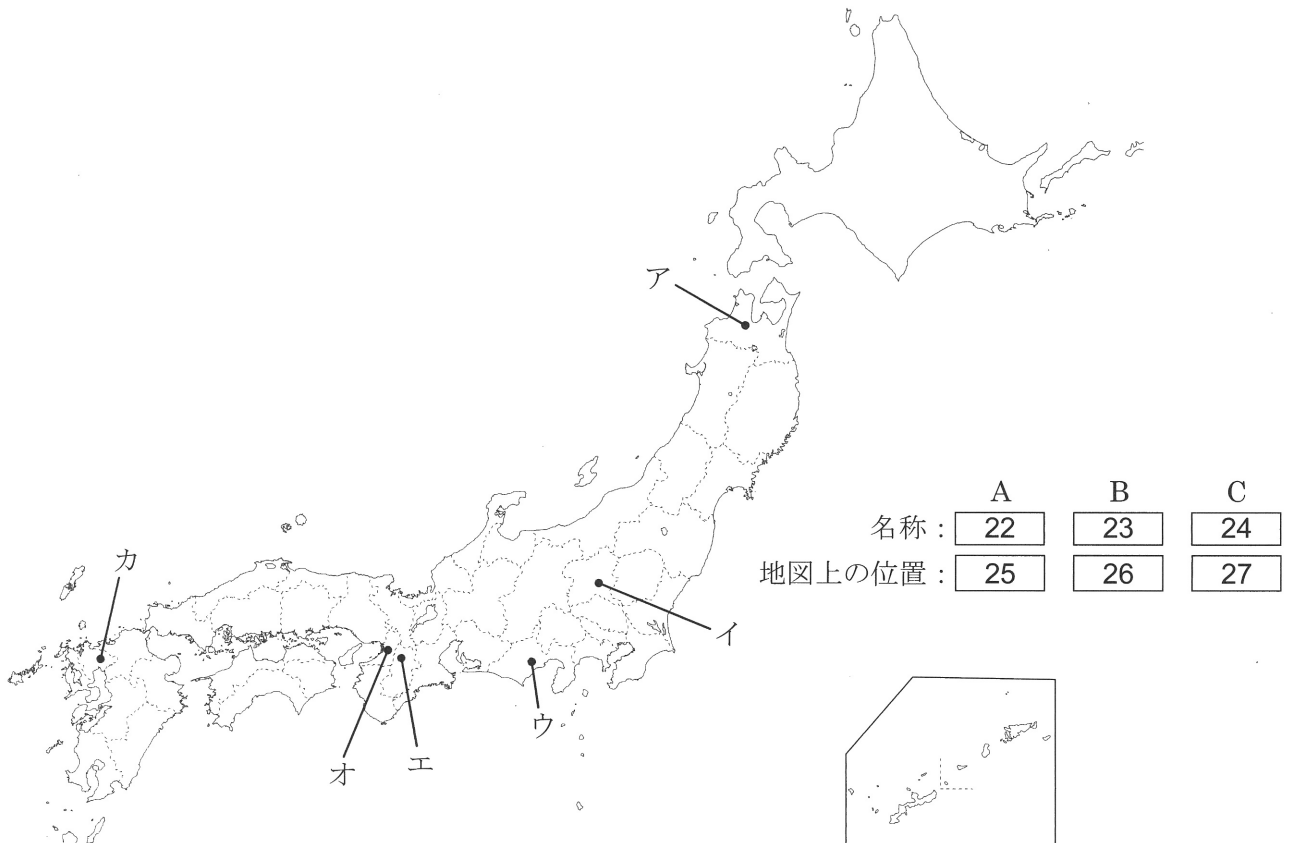
④ 弥生時代

A	19
B	20
C	21

(2) 次の A~C の記述の内容に当てはまる古墳・遺跡の名称を①~⑥から選び、それらの古墳・遺跡の地図上の位置を地図上のア~カから選びなさい。
(各 2 点×6)

- A 長期間にわたって定住生活が営まれていた縄文時代の最大級の集落跡で、竪穴住居跡、大人の墓、子どもの墓、大型掘立柱建物跡、貯蔵穴、道路跡などが見つかった。
- B 国内最大の前方後円墳で、5 世紀頃に述べ 680 万人が約 15 年かけてつくったと推定され、仁徳天皇陵であると治定されている。
- C 弥生時代における最大級の環濠集落跡で、物見やぐら、竪穴住居、祭殿など多くの建物が復元されている。

① 岩宿遺跡 ② 三内丸山遺跡 ③ 大仙陵古墳 ④ 登呂遺跡 ⑤ 箸墓古墳 ⑥ 吉野ヶ里遺跡



- (3) 中国の漢（後漢・東漢）の歴史書『後漢書』東夷伝によれば、倭の奴国王が 1 世紀中ごろ後漢に使いを送り、光武帝から印綬を授けられたとある。「漢委奴国王」と印されたその金印が発見された場所を①～④から選び、金印が保管されている博物館を①～④から選びなさい。 (各 3 点×2)

発見場所：

- ① 長崎県壱岐島 ② 福岡県志賀島 ③ 長崎県平戸島 ④ 福岡県能古島

博物館名：

- ① 一支国博物館（壱岐市） ② 九州国立博物館（太宰府市）
 ③ 福岡市博物館（福岡市） ④ 長崎歴史文化博物館（長崎市）

- (4) 次の記述から、空欄に当てはまるものを①～④から選びなさい。 (3 点)

は、645 年中大兄皇子（後の天智天皇）とともに蘇我氏を倒して、天皇を中心とする中央集権国家の建設を目指し、政治の改革（大化の改新）を進めた。 の臨終に際し、天智天皇から大織冠位と藤原の姓を賜り、藤原氏隆盛の基礎を築いた。

- ① 橘諸兄 ② 中臣鎌足 ③ 長屋王 ④ 和気清麻呂

- (5) 以下の資料は、九州の御家人 竹崎季長が自らの元寇での活躍を記録するために作成した絵巻物（『蒙古襲来絵詞』）である。次の①～④の記述から誤っているものを選び、またこれらの戦いに関する遺構を①～④から選びなさい。 (各 3 点×2)



記述：

- ① 元軍は十数人が一組になって攻める集団戦法で、日本軍は 1 対 1 で戦う一騎打ち戦法であった。
 ② 元軍は、「てつはう（火薬を詰めた陶製の玉が大きな爆発音とともに破裂するもの）」という武器を使用した。
 ③ 元軍は 2 度日本に大軍を送り込み、この 2 度にわたる元軍の襲撃を元寇といい、それぞれの戦いは文永の役（1274 年）、弘安の役（1281 年）と呼ばれた。
 ④ 元寇があった当時の元の皇帝はチンギス=ハン（成吉思汗）であった。

遺構：

- ① 名護屋城跡 ② 防塁 ③ 防人 ④ 平戸城

- (6) 平安時代までの仏教は貴族を中心とした信仰であったが、鎌倉時代(12~14世紀)になって武士や民衆にも分かりやすい教えを説く新しい仏教が現れ、現代にも続いている。次の a~c の宗派と開祖(宗祖)並びに特徴的な教えの組み合わせのうち、正しいものだけをすべて選んでいる組み合わせを、次の①~④から選びなさい。(3点)

- a 浄土真宗(一向宗) — 親鸞 — 阿弥陀仏の教えを信じれば、悪人でも仏の慈悲で救われる(悪人正機)と説いた。
 b 浄土宗 — 法然 — 南無阿弥陀仏の念仏を唱えれば、誰でも救われるという教え。
 c 法華宗(日蓮宗) — 日蓮 — 南無妙法蓮華經の題目を唱えれば、国家も人も救われるという教え。

- ① a と b ② a と c ③ b と c ④ a と b と c

33

- (7) 下記の説明の中で、下線部 a~f のうち、誤っているものはどれか。次の①~⑥から選びなさい。(3点)

a 足利義詮の子で、室町幕府第三代将軍足利義満は、1392年 b 南北朝の合一を果たし、1401年中国の明と国交を回復し c 「日本国王」として冊封を受け、d 朱印船貿易を開いて室町幕府の最盛期を現出した。e 能楽の保護や金閣寺の建立などに見られるこの時代の文化を f 北山文化という。

- ① a ② b ③ c ④ d ⑤ e ⑥ f

34

- (8) この絵画は、円山応挙の描いた『長崎港図』である。中央下に扇型をした出島が正確に描かれている。出島は1634年に築造され、1636年にポルトガル人が収容された。しかし、翌1637年から1638年にかけておこった a 応仁の乱の後、ポルトガル船は来航禁止となる。そこで、それまで b 唐津にあったオランダ商館が出島に移され、長崎奉行の監視下に置かれた。オランダからは c 中国産の生糸などが日本にもたらされ、日本からは銅や俵物(煎りナマコ、干あわび、フカヒレなどの海産物)などが輸出された。また、オランダ商館長からは、江戸幕府に d オランダ風説書が提出され、それにより幕府は海外の事情を知ることができた。



- 問1 上記の説明の中で、下線部 a~d のうち、誤っているものの組み合わせとして適当なものはどれか。次の①~④から選びなさい。(3点)

- ① a と b ② b と c ③ c と d ④ 誤っているものはない

35

問 2 オランダ商館付きの医師として 1823 年に来日したシーボルトが、長崎郊外に開いた塾はどれか。
次の①～④から選びなさい。 (3 点)

- ① 気吹舎 ② 咸宜園 ③ 芝蘭堂 ④ 鳴滝塾

36

問 3 長崎に遊学し、オランダ人医師のもとで医学を学び、1838 年に大坂に適々齋塾 (適塾) を開いたのは誰か。次の①～④から選びなさい。 (3 点)

- ① 緒方洪庵 ② 佐久間象山 ③ 二宮尊徳 ④ 福沢諭吉

37

問 4 オランダから様々な技術がもたらされた長崎で生まれた高島秋帆はオランダ流の砲術を学び、それは江川太郎左衛門英龍に伝えられた。その後蘭学にも強い関心を示した江川太郎左衛門英龍が、現在の静岡県の韮山に築いたものはどれか。次の①～④から選びなさい。 (3 点)

- ① 台場 ② 造船所 ③ 反射炉 ④ 紡績工場

38

(9) 以下は伊達政宗に関連する記述である。問 1～問 3 の各問に答えなさい。

問 1 この絵画は、仙台藩主伊達政宗の命により 1613 年にメキシコ経由でヨーロッパに渡り、1620 年に帰国した伊達政宗の家臣の肖像画である。この人物は誰か。次の①～④から選びなさい。 (3 点)

- ① 高山右近 ② 田中勝介 ③ 支倉常長 ④ 山田長政

39



問 2 1590 年に伊達政宗は、豊臣秀吉と面会し秀吉に服属した。当時豊臣軍が北条軍と戦いを行っていた最中だったが、その戦いの舞台となった城はどこか。次の①～④から選びなさい。 (3 点)

- ① 小田原城 ② 春日山城 ③ 竹田城 ④ 松本城

40

問 3 伊達政宗は、藩の基盤を作るために積極的な新田開発を行った。あわせて治水事業を行うことで、米の輸送など水運も発達し、中継地点となる石巻が発達するきっかけとなった。この治水事業が行われた場所はどこか。次の①～④から選びなさい。 (3 点)

- ① 阿武隈川 ② 北上川 ③ 仙台港 ④ 松島湾

41